

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄							備考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ジョウショウガクエン 学校法人常翔学園							
フリガナ大学の名称	オオサカコウギョウダイガク 大阪工業大学 (Osaka Institute of Technology)							
大学本部の位置	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号							
大学の目的	本大学は、専門学術を教育研究し、深い教養と実践的応用力を身につけ、時代の要請に対応して国際的視野から知的・技術的創造を実現でき、確かな人間力を備え常に向上を心がける、心身ともにたくましい専門職業人を養成して、社会の発展に貢献するとともに、学術と文化の向上をはかることを目的とする。							
新設学部等の目的	我が国が目指す Society 5.0 の実現に向け、IT 人材の不足が懸念されている。特に、ビッグデータをビジネス上の価値に変えることのできる人材であるデータサイエンティストのニーズが産業界では強まっている。このような時代背景を踏まえ、情報科学部にデータサイエンス学科を増設する。これに併せて、近年の志願状況等を勘案し、同学部情報知能学科、ネットワークデザイン学科の入学定員を減じる。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	工学部 【Faculty of Engineering】	年	人	年次人	人		年月 第 年次	大阪府大阪市 旭区大宮五丁 目 16 番 1 号
	都市デザイン工学科 【Department of Civil Engineering and Urban Design】	4	100	3 年次 5	410	学士 (工学) 【Bachelor of Engineering】	昭和 24 年 4 月 第 1 年次	
	建築学科 【Department of Architecture】	4	150	3 年次 5	610	同上	昭和 24 年 4 月 第 1 年次	
	機械工学科 【Department of Mechanical Engineering】	4	140	3 年次 5	570	同上	昭和 25 年 4 月 第 1 年次	
	電気電子システム工学科 【Department of Electrical and Electronic Systems Engineering】	4	125	3 年次 5	510	同上	昭和 24 年 4 月 第 1 年次	
	電子情報システム工学科 【Department of Electronics and Information Systems Engineering】	4	110	3 年次 5	450	同上	昭和 34 年 4 月 第 1 年次	
	応用化学科 【Department of Applied Chemistry】	4	130	3 年次 5	530	同上	昭和 33 年 4 月 第 1 年次	
	環境工学科 【Department of Environmental Engineering】	4	75	3 年次 5	310	同上	平成 18 年 4 月 第 1 年次	
生命工学科 【Department of Biomedical Engineering】	4	70	3 年次 5	290	同上	平成 22 年 4 月 第 1 年次		

新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	※令和2年4月設置届出予定	
		年	人	年次人	人		年 月 第 年次			
新設学部等の概要	ロボティクス&デザイン工学部 【Faculty of Robotics and Design】	4	90	3年次 5	370	学士 (工学) 【Bachelor of Engineering】	平成29年4月 第1年次	大阪府大阪市 北区茶屋町1 番45号		
	ロボット工学科 【Department of Robotics】									
	システムデザイン工学科 【Department of System Design】									
	空間デザイン学科 【Department of Design and Architecture】	4	90	3年次 5	370	同上	平成29年4月 第1年次			
	情報科学部 【Faculty of Information Science and Technology】	4	70 (0)	-	280 (0)	学士 (情報学) 【Bachelor of Information Science and Technology】	令和3年4月 第1年次			大阪府枚方市 北山一丁目79 番1号
	データサイエンス学科 【Department of Data Science】									
	情報知能学科 【Department of Information and Computer Science】									
	情報システム学科 【Department of Information Systems】									
	情報メディア学科 【Department of Media Science】									
	ネットワークデザイン学科 【Department of Network Design】									
知的財産学部 【Faculty of Intellectual Property】	4							140	3年次 10	
知的財産学科 【Department of Intellectual Property】										
計		1,780 (1,740)	3年次 85	7,290 (7,130)						
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、 名称の変更等)	大阪工業大学 情報科学部 データサイエンス学科				(70)	(令和2年4月届出予定)				
	摂南大学 理工学部									
	生命科学科 [定員増]				(15)	(令和3年4月)				
	住環境デザイン学科 [定員増]				(15)	(令和3年4月)				
	建築学科 [定員増]				(10)	(令和3年4月)				
	機械工学科 [定員増]				(20)	(令和3年4月)				
	電気電子工学科 [定員増]				(15)	(令和3年4月)				
	都市環境工学科 [定員増]				(10)	(令和3年4月)				
	法学部 法律学科 [定員増]				(30)	(令和3年4月)				
	経済学部 経済学科 [定員増]				(30)	(令和3年4月)	(令和2年3月学則変更認可申請)			
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	—単位			
		講義	演習	実習	計					
	—	—科目	—科目	—科目	—科目					

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	人	人	人	人	人	人	人	人	
新設分	工学部	7	2	2	0	11	0	27	
	都市デザイン工学科	(7)	(2)	(2)	(0)	(11)	(0)	(27)	
	建築学科	6	7	2	0	15	0	33	
		(5)	(6)	(2)	(0)	(13)	(0)	(33)	
	機械工学科	10	2	4	0	16	0	12	
		(10)	(2)	(4)	(0)	(16)	(0)	(12)	
	電気電子システム工学科	8	5	2	0	15	0	13	
		(7)	(5)	(2)	(0)	(14)	(0)	(13)	
	電子情報システム工学科	7	3	1	0	11	0	10	
		(6)	(3)	(1)	(0)	(10)	(0)	(10)	
	応用化学科	6	7	1	0	14	0	8	
		(5)	(7)	(1)	(0)	(13)	(0)	(8)	
	環境工学科	5	4	0	0	9	0	26	
		(4)	(4)	(0)	(0)	(8)	(0)	(26)	
	生命工学科	5	5	0	0	10	0	24	
		(4)	(5)	(0)	(0)	(9)	(0)	(24)	
	ロボティクス&デザイン工学部	5	5	0	0	10	0	81	
	ロボット工学科	(5)	(5)	(0)	(0)	(10)	(0)	(81)	
システムデザイン工学科	7	2	1	0	10	0	84		
	(7)	(2)	(1)	(0)	(10)	(0)	(84)		
空間デザイン学科	5	6	0	0	11	0	127		
	(5)	(6)	(0)	(0)	(11)	(0)	(127)		
情報科学部	5	3	1	0	9	0	69		
データサイエンス学科	(5)	(3)	(1)	(0)	(9)	(0)	(47)		
情報知能学科	5	3	4	0	12	0	79		
	(5)	(3)	(4)	(0)	(12)	(0)	(79)		
情報システム学科	6	4	5	0	15	0	83		
	(6)	(4)	(5)	(0)	(15)	(0)	(83)		
情報メディア学科	7	6	3	0	16	0	74		
	(7)	(6)	(3)	(0)	(16)	(0)	(74)		
ネットワークデザイン学科	5	5	3	0	13	0	77		
	(5)	(5)	(3)	(0)	(13)	(0)	(77)		
知的財産学部	11	5	0	0	16	0	33		
知的財産学科	(11)	(5)	(0)	(0)	(16)	(0)	(33)		
計	110	74	29	0	213	0	—		
	(104)	(73)	(29)	(0)	(206)	(0)	(—)		
既設分	一般教育科	6	9	1	0	16	0	34	
		(6)	(9)	(1)	(0)	(16)	(0)	(34)	
	総合人間学系教室	5	4	3	0	12	0	46	
		(5)	(4)	(3)	(0)	(12)	(0)	(46)	
教務部 教職教室	3	2	1	0	6	0	0		
	(3)	(2)	(1)	(0)	(6)	(0)	(0)		
計	14	15	5	0	34	0	—		
	(14)	(15)	(5)	(0)	(34)	(0)	(—)		
合計	124	89	34	0	247	0	—		
	(118)	(88)	(34)	(0)	(240)	(0)	(—)		

教員以外の職員の概要	職 種		専 任	兼 任	計					
			人	人	人					
	事 務 職 員		167 (167)	65 (65)	232 (232)					
	技 術 職 員		16 (16)	0 (0)	16 (16)					
	図 書 館 専 門 職 員		4 (4)	33 (33)	37 (37)					
	そ の 他 の 職 員		1 (1)	0 (0)	1 (1)					
計		188 (188)	98 (98)	286 (286)						
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
	校 舎 敷 地	149,065.00 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	149,065.00 m <sup>2</sup>	借用面積：323.44 m <sup>2</sup> 借用期間：3年（昭和41年以来継続）				
	運 動 場 用 地	101,333.13 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	101,333.13 m <sup>2</sup>	借用面積：17,921.13 m <sup>2</sup> 借用期間：3年（昭和15年以来継続）				
	小 計	250,398.13 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	250,398.13 m <sup>2</sup>	借用面積：1,034.03 m <sup>2</sup> 借用期間：3年（昭和51年以来継続）				
	そ の 他	1,034.03 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	1,034.03 m <sup>2</sup>					
	合 計	251,432.16 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	251,432.16 m <sup>2</sup>					
校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計					
		170,024.86 m <sup>2</sup> (170,024.86 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	0 m <sup>2</sup> (0 m <sup>2</sup> )	170,024.86 m <sup>2</sup> (170,024.86 m <sup>2</sup> )					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設					
	92 室	362 室	115 室	16 室 (補助職員 19人)	4 室 (補助職員 3人)	大学全体				
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		大学全体		288 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点			
	大学全体	352,187 [59,872] (346,112 [58,839])	187 [138] (187 [138])	107 [105] (107 [105])	12,787 (12,712)	63,216 (63,216)	95 (95)			
	計	352,187 [59,872] (346,112 [58,839])	187 [138] (187 [138])	107 [105] (107 [105])	12,787 (12,712)	63,216 (63,216)	95 (95)			
図書館		面積	閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体			
		8,661.35 m <sup>2</sup>	1,196		495,445					
体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
		7,790.34 m <sup>2</sup>	該当なし							
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体
		教員1人当り研究費等	813千円	813千円	813千円	813千円	813千円	—千円	—千円	
		共同研究費等	172,825千円	172,825千円	172,825千円	172,825千円	172,825千円	—千円	—千円	
		図書購入費	58,000千円	58,000千円	58,000千円	58,000千円	58,000千円	—千円	—千円	
	設備購入費	373,840千円	373,840千円	373,840千円	373,840千円	373,840千円	—千円	—千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	工学部	1,640千円	1,490千円	1,490千円	1,490千円	—千円	—千円			
	ロボティクス&デザイン工学部	1,690千円	1,590千円	1,590千円	1,590千円	—千円	—千円			
	情報科学部	1,640千円	1,490千円	1,490千円	1,490千円	—千円	—千円			
	知的財産学部	1,320千円	1,170千円	1,170千円	1,170千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			補助金、手数料等を充当							

既設大学等の状況	大学の名称	大阪工業大学大学院								所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学員数	編入学員数	収容員数	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
	工学研究科 博士前期課程						1.12			大阪府大阪市 旭区大宮五丁目 16番1号	平成29年4月から、工学研究科 都市デザイン工学専攻、生体医工学専攻、電気電子工学専攻の博士後期課程の学生募集を停止。
	建築・都市デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	0.88	平成29年度			
	電気電子・機械工学専攻	2	50	—	100	修士 (工学)	1.21	平成29年度			
	化学・環境・生命工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.21	平成29年度			
	工学研究科 博士後期課程						0.55				
	都市デザイン工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和42年度			
	生体医工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成19年度			
	電気電子工学専攻	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和42年度			
	建築・都市デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.33	平成29年度			
	電気電子・機械工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.66	平成29年度			
	化学・環境・生命工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.66	平成29年度			
	ロボティクス&デザイン工学研究科 博士前期課程						1.13			大阪府大阪市 北区茶屋町 1番45号	
	ロボティクス&デザイン工学専攻	2	30	—	60	修士 (工学)	1.13	平成29年度			
	ロボティクス&デザイン工学研究科 博士後期課程						0.16				
	ロボティクス&デザイン工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.16	平成29年度			
	情報科学研究科 博士前期課程						0.79			大阪府枚方市 北山一丁目 79番1号	
	情報科学専攻	2	40	—	80	修士 (情報学)	0.79	平成12年度			
	情報科学研究科 博士後期課程						0.00				
	情報科学専攻	3	5	—	15	博士 (情報学)	0.00	平成14年度			
	知的財産研究科 専門職学位課程						1.06			大阪府大阪市 旭区大宮五丁目 16番1号	
	知的財産専攻	2	30	—	60	知的財産修士 (専門職)	1.06	平成17年度			

既設大学等の状況	大学の名称	大阪工業大学							所在地				
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度					
		年	人	年次人	人		倍						
	工学部						1.00						
	都市デザイン工学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.00	昭和24年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	平成29年4月から、工学部空間デザイン学科、ロボット工学科の学生募集及び平成31年4月からの3年次編入学募集を停止。			
	空間デザイン学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成18年度					
	建築学科	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	昭和24年度		平成29年4月から、入学定員を次のとおり変更。			
	機械工学科	4	140	3年次5	570	学士(工学)	0.98	昭和25年度		工学部			
	ロボット工学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	平成22年度		都市デザイン工学科			
	電気電子システム工学科	4	125	3年次5	510	学士(工学)	1.01	昭和24年度		90→100(+10)			
	電子情報システム工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.02	昭和34年度		建築学科			
	応用化学科	4	130	3年次5	530	学士(工学)	0.99	昭和33年度		140→150(+10)			
	環境工学科	4	75	3年次5	310	学士(工学)	1.03	平成18年度		機械工学科			
	生命工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	0.99	平成22年度		130→140(+10)			
	ロボティクス&デザイン工学部						1.01			電気電子システム工学科			
	ロボット工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.00	平成29年度	大阪府大阪市北区茶屋町1番45号	115→125(+10)			
	システムデザイン工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.04	平成29年度		電子情報通信工学科			
	空間デザイン学科	4	100	3年次5	410	学士(工学)	1.00	平成29年度		100→110(+10)			
	情報科学部						1.01			応用化学科			
	情報知能学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.99	平成8年度	大阪府枚方市北山一丁目79番1号	120→130(+10)			
	情報システム学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	0.99	平成8年度		環境工学科			
	情報メディア学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.02	平成14年度		70→75(+5)			
	ネットワークデザイン学科	4	105	3年次5	430	学士(情報学)	1.03	平成19年度		生命工学科			
	知的財産学部						1.05			65→70(+5)			
	知的財産学科	4	140	3年次10	580	学士(知的財産学)	1.05	平成15年度	大阪府大阪市旭区大宮五丁目16番1号	情報科学部			
										コンピュータ科学科			
										95→105(+10)			
										情報システム学科			
										95→105(+10)			
										情報メディア学科			
										95→105(+10)			
										情報ネットワーク学科			
										95→105(+10)			

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学大学院							
	学部等の名称	修業年限 年	入学員 人	編入学員 年次人	収容員 人	学位又は 学は称号	定員 超過率 倍	開設 年度 年度	所在地
既設大学等の状況	薬学研究科 博士課程						0.81		大阪府枚方市 長尾峠町 45番1号
	医療薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学)	0.81	平成24年度	
	理工学研究科 博士前期課程						0.88		大阪府寝屋川市 池田中町 17番8号
	社会開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.91	平成元年度	
	生産開発工学専攻	2	12	—	24	修士 (工学)	0.87	平成26年度	
	生命科学専攻	2	10	—	20	修士 (理学)	0.85	平成26年度	
	理工学研究科 博士後期課程						0.25		
	創生工学専攻	3	2	—	6	博士 (工学)	0.16	平成20年度	
	生命科学専攻	3	2	—	6	博士 (理学)	0.33	平成28年度	
	経済経営学研究科 修士課程						0.00		
	経済学専攻	2	5	—	10	修士 (経済学)	0.00	平成26年度	
	経営学専攻	2	5	—	10	修士 (経営学)	0.00	平成26年度	
	法学研究科 修士課程						0.20		
	法律学専攻	2	5	—	10	修士 (法学)	0.20	平成9年度	
	国際言語文化研究科 修士課程						0.20		
	国際言語文化専攻	2	5	—	10	修士 (文学)	0.20	平成11年度	
看護学研究科 修士課程						0.41		大阪府枚方市 長尾峠町 45番1号	
看護学専攻	2	6	—	12	修士 (看護学)	0.41	平成28年度		

既設大学等の状況	大学の名称	摂南大学							
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍	年度	
	理工学部						1.01		
	生命科学科	4	90	3年次5	370	学士(理学)	0.99	平成22年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号
	住環境デザイン学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.03	平成22年度	
	建築学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.04	昭和50年度	
	機械工学科	4	110	3年次5	450	学士(工学)	1.02	昭和50年度	
	電気電子工学科	4	90	3年次5	370	学士(工学)	1.00	昭和50年度	
	都市環境工学科	4	70	3年次5	290	学士(工学)	1.02	平成22年度	
	外国語学部						1.07		
	外国語学科	4	220	3年次5	890	学士(文学)	1.07	昭和57年度	
	経営学部						1.06		
	経営学科	4	170	3年次4	688	学士(経営学)	1.07	平成18年度	
	経営情報学科	4	100	3年次4	408	学士(経営学)	1.06	昭和57年度	
	薬学部						1.03		
	薬学科(6年制)	6	220	—	1,320	学士(薬学)	1.03	平成18年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号
	法学部						1.05		
	法律学科	4	250	3年次5	1,010	学士(法学)	1.05	昭和63年度	大阪府寝屋川市池田中町17番8号
	経済学部						1.05		
	経済学科	4	250	3年次4	1,008	学士(経済学)	1.05	平成22年度	
	看護学部						1.03		
	看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	1.03	平成24年度	大阪府枚方市長尾峠町45番1号
	農学部						—		
	農業生産学科	4	80	—	80	学士(農学)	—	令和2年度	
	応用生物科学科	4	80	—	80	学士(農学)	—	令和2年度	
	食品栄養学科	4	80	—	80	学士(農学)	—	令和2年度	
	食農ビジネス学科	4	100	—	100	学士(農学)	—	令和2年度	

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学大学院								
	学部等の名称	修業年限 年	入学定員 人	編入学定員 年次人	収容定員 人	学位又は 学は称号	定員超過率 倍	開設 年度	所在地	
既設大学等の状況	看護学研究科 博士前期課程 看護学専攻	2	10	—	20	修士 (看護学)	0.00	平成15年度	広島県呉市 広古新開五丁目 1番1号	
	看護学研究科 博士後期課程 看護学専攻	3	3	—	9	博士 (看護学)	0.00	平成24年度		
	医療・福祉科学研究科 博士前期課程 医療工学専攻	2	10	—	20	修士 (医療工学)	1.05	平成21年度		広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36
	医療・福祉科学研究科 博士後期課程 医療工学専攻	3	2	—	6	博士 (医療工学)	1.66	平成21年度		
	医療・福祉科学研究科 修士課程 医療福祉学専攻	2	5	—	10	修士 (医療福祉学)	0.30	平成21年度		
	医療経営学専攻	2	5	—	10	修士 (医療経営学)	0.20	平成21年度		
	心理科学研究科 博士後期課程 臨床心理学専攻	3	2	—	6	博士 (臨床心理学)	0.16	平成21年度		
	心理科学研究科 修士課程 コミュニケーション学専攻	2	—	—	—	修士 (コミュニケーション学)	—	平成21年度		
	心理科学研究科 専門職学位課程 実践臨床心理学専攻	2	20	—	40	臨床心理修士 (専門職)	0.52	平成21年度	広島県呉市 広古新開五丁目 1番1号	
	薬学研究科 博士課程 医療薬学専攻	4	2	—	8	博士 (薬学)	0.62	平成24年度		

平成31年4月から、心理科学研究科コミュニケーション学専攻の修士課程の学生募集を停止。

既設大学等の状況	大学の名称	広島国際大学							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度		
	保健医療学部 診療放射線学科	4年	70人	—	280人	学士 (診療放射線学)	1.03 1.07	平成10年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年4月から、入学定員を次のとおり変更。
	医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻	4	100	—	490	学士 (臨床工学) (臨床検査学)	1.01	平成25年度		保健医療学部 医療技術学科 130→100(−30)
	救急救命学科	4	50	—	50	学士 (救急救命学)	—	令和2年度		令和2年4月から、入学定員を次のとおり変更。
	総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科	4	180	—	570	学士 (理学療法学) (作業療法学) (言語聴覚療法学) (義肢装具学)	1.06 1.11	平成25年度		総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 130→180(+50) (義肢装具学専攻をリハビリテーション支援学科から移行)
	理学療法学専攻 作業療法学専攻 言語聴覚療法学専攻 義肢装具学専攻	4	—	—	—	学士 (義肢装具学)	—	平成25年度		令和2年4月から、総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科の学生募集を停止。
	医療福祉学部 医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育学専攻	4	—	—	—	学士 (医療福祉学)	—	平成10年度		令和2年4月から、医療福祉学部医療福祉学科の学生募集及び令和4年4月からの3年次編入学募集を停止。
	医療経営学部 医療経営学科	4	—	—	—	学士 (医療経営学)	—	平成23年度	広島県広島市中区 鞆町 1番5号	令和2年4月から、医療福祉学部医療福祉学科の学生募集及び令和4年4月からの3年次編入学募集を停止。
	心理科学部 臨床心理学科	4	—	—	—	学士 (臨床心理学)	—	平成13年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年4月から、医療経営学部医療経営学科の学生募集を停止。
	心理学部 心理学科	4	—	—	—	学士 (心理学)	—	平成27年度		平成27年4月から、心理学部臨床心理学科の学生募集及び平成29年4月からの3年次編入学募集を停止。
	看護学部 看護学科	4	120	3年次 10	500	学士 (看護学)	1.04 1.04	平成15年度	広島県呉市 広古新開五丁目 1番1号	令和2年4月から、心理学部心理学科の学生募集及び令和4年4月からの3年次編入学募集を停止。
	薬学部 薬学科(6年制)	6	120	—	720	学士 (薬学)	0.87 0.87	平成18年度		令和2年4月から、心理学部心理学科の学生募集及び令和4年4月からの3年次編入学募集を停止。
	医療栄養学部 医療栄養学科	4	—	—	—	学士 (医療栄養学)	—	平成26年度		令和2年4月から、医療栄養学部医療栄養学科の学生募集を停止。
	健康科学部 医療福祉学科 医療福祉学専攻 介護福祉学専攻 保育福祉学専攻	4	100	—	100	学士 (医療福祉学)	—	令和2年度	広島県東広島市 黒瀬学園台 555番地36	令和2年4月から、医療栄養学部医療栄養学科の学生募集を停止。
	医療経営学科	4	90	—	90	学士 (医療経営学)	—	令和2年度		
	心理学科	4	100	—	100	学士 (心理学)	—	令和2年度		
	医療栄養学科	4	60	—	60	学士 (医療栄養学)	—	令和2年度		
	健康スポーツ学部 健康スポーツ学科	4	70	—	70	学士 (健康スポーツ学)	—	令和2年度		
附属施設の概要	名称：八幡工学実験場 目的：工学分野教育 所在地：京都府八幡市美濃山一ノ谷4 設置年月：昭和61年12月 規模等：土地 28,687.88 m <sup>2</sup> 、建物 4,911.12 m <sup>2</sup>									

## 学校法人常翔学園 設置認可等に関する組織の移行表

令和2年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和3年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
<b>大阪工業大学</b>				<b>大阪工業大学</b>				
<b>工学部</b>	<b>900</b>	<b>40</b>	<b>3,680</b>	<b>工学部</b>	<b>900</b>	<b>40</b>	<b>3,680</b>	
都市デザイン工学科	100	5	410	都市デザイン工学科	100	5	410	
建築学科	150	5	610	建築学科	150	5	610	
機械工学科	140	5	570	機械工学科	140	5	570	
電気電子システム工学科	125	5	510	電気電子システム工学科	125	5	510	
電子情報システム工学科	110	5	450	電子情報システム工学科	110	5	450	
応用化学科	130	5	530	応用化学科	130	5	530	
環境工学科	75	5	310	環境工学科	75	5	310	
生命工学科	70	5	290	生命工学科	70	5	290	
<b>ロボティクス&amp;デザイン工学部</b>	<b>280</b>	<b>15</b>	<b>1,150</b>	<b>ロボティクス&amp;デザイン工学部</b>	<b>280</b>	<b>15</b>	<b>1,150</b>	
ロボット工学科	90	5	370	ロボット工学科	90	5	370	
システムデザイン工学科	90	5	370	システムデザイン工学科	90	5	370	
空間デザイン学科	100	5	410	空間デザイン学科	100	5	410	
<b>情報科学部</b>	<b>420</b>	<b>20</b>	<b>1,720</b>	<b>情報科学部</b>	<b>460</b>	<b>20</b>	<b>1,880</b>	
情報知能学科	105	5	430	データサイエンス学科	70	-	280	学科の設置(届出)
情報システム学科	105	5	430	情報知能学科	90	5	370	定員変更(△15)
情報メディア学科	105	5	430	情報システム学科	105	5	430	
ネットワークデザイン学科	105	5	430	情報メディア学科	105	5	430	
<b>知的財産学部</b>	<b>140</b>	<b>10</b>	<b>580</b>	ネットワークデザイン学科	90	5	370	定員変更(△15)
知的財産学科	140	10	580	<b>知的財産学部</b>	<b>140</b>	<b>10</b>	<b>580</b>	
				知的財産学科	140	10	580	
<b>計</b>	<b>1,740</b>	<b>85</b>	<b>7,130</b>	<b>計</b>	<b>1,780</b>	<b>85</b>	<b>7,290</b>	
<b>大阪工業大学大学院</b>				<b>大阪工業大学大学院</b>				
<b>工学研究科</b>	<b>116</b>	<b>-</b>	<b>238</b>	<b>工学研究科</b>	<b>116</b>	<b>-</b>	<b>238</b>	
建築・都市デザイン工学専攻(M)	30	-	60	建築・都市デザイン工学専攻(M)	30	-	60	
建築・都市デザイン工学専攻(D)	2	-	6	建築・都市デザイン工学専攻(D)	2	-	6	
電気電子・機械工学専攻(M)	50	-	100	電気電子・機械工学専攻(M)	50	-	100	
電気電子・機械工学専攻(D)	2	-	6	電気電子・機械工学専攻(D)	2	-	6	
化学・環境・生命工学専攻(M)	30	-	60	化学・環境・生命工学専攻(M)	30	-	60	
化学・環境・生命工学専攻(D)	2	-	6	化学・環境・生命工学専攻(D)	2	-	6	
<b>ロボティクス&amp;デザイン工学研究科</b>	<b>32</b>	<b>-</b>	<b>66</b>	<b>ロボティクス&amp;デザイン工学研究科</b>	<b>32</b>	<b>-</b>	<b>66</b>	
ロボティクス&デザイン工学専攻(M)	30	-	60	ロボティクス&デザイン工学専攻(M)	30	-	60	
ロボティクス&デザイン工学専攻(D)	2	-	6	ロボティクス&デザイン工学専攻(D)	2	-	6	
<b>情報科学研究科</b>	<b>45</b>	<b>-</b>	<b>95</b>	<b>情報科学研究科</b>	<b>45</b>	<b>-</b>	<b>95</b>	
情報科学専攻(M)	40	-	80	情報科学専攻(M)	40	-	80	
情報科学専攻(D)	5	-	15	情報科学専攻(D)	5	-	15	
<b>知的財産研究科</b>	<b>30</b>	<b>-</b>	<b>60</b>	<b>知的財産研究科</b>	<b>30</b>	<b>-</b>	<b>60</b>	
知的財産専攻(P)	30	-	60	知的財産専攻(P)	30	-	60	
<b>計</b>	<b>223</b>	<b>-</b>	<b>459</b>	<b>計</b>	<b>223</b>	<b>-</b>	<b>459</b>	

令和2年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和3年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
<b>摂南大学</b>				<b>摂南大学</b>				
<b>理工学部</b>	<b>500</b>	<b>30</b>	<b>2,060</b>	<b>理工学部</b>	<b>585</b>	<b>30</b>	<b>2,400</b>	
生命科学科	90	5	370	生命科学科	105	5	430	定員変更 (15)
住環境デザイン学科	70	5	290	住環境デザイン学科	85	5	350	定員変更 (15)
建築学科	70	5	290	建築学科	80	5	330	定員変更 (10)
機械工学科	110	5	450	機械工学科	130	5	530	定員変更 (20)
電気電子工学科	90	5	370	電気電子工学科	105	5	430	定員変更 (15)
都市環境工学科	70	5	290	都市環境工学科	80	5	330	定員変更 (10)
<b>外国語学部</b>	<b>220</b>	<b>5</b>	<b>890</b>	<b>外国語学部</b>	<b>220</b>	<b>5</b>	<b>890</b>	
外国語学科	220	5	890	外国語学科	220	5	890	
<b>経営学部</b>	<b>270</b>	<b>8</b>	<b>1,096</b>	<b>経営学部</b>	<b>270</b>	<b>8</b>	<b>1,096</b>	
経営学科	170	4	688	経営学科	170	4	688	
経営情報学科	100	4	408	経営情報学科	100	4	408	
<b>薬学部</b>	<b>220</b>	<b>-</b>	<b>1,320</b>	<b>薬学部</b>	<b>220</b>	<b>-</b>	<b>1,320</b>	
薬学科	220	-	1,320	薬学科	220	-	1,320	
<b>法学部</b>	<b>250</b>	<b>5</b>	<b>1,010</b>	<b>法学部</b>	<b>280</b>	<b>5</b>	<b>1,130</b>	
法律学科	250	5	1,010	法律学科	280	5	1,130	定員変更 (30)
<b>経済学部</b>	<b>250</b>	<b>4</b>	<b>1,008</b>	<b>経済学部</b>	<b>280</b>	<b>4</b>	<b>1,128</b>	
経済学科	250	4	1,008	経済学科	280	4	1,128	定員変更 (30)
<b>看護学部</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>400</b>	<b>看護学部</b>	<b>100</b>	<b>-</b>	<b>400</b>	
看護学科	100	-	400	看護学科	100	-	400	
<b>農学部</b>	<b>340</b>	<b>-</b>	<b>1,360</b>	<b>農学部</b>	<b>340</b>	<b>-</b>	<b>1,360</b>	
農業生産学科	80	-	320	農業生産学科	80	-	320	
応用生物科学科	80	-	320	応用生物科学科	80	-	320	
食品栄養学科	80	-	320	食品栄養学科	80	-	320	
食農ビジネス学科	100	-	400	食農ビジネス学科	100	-	400	
<b>計</b>	<b>2,150</b>	<b>52</b>	<b>9,144</b>	<b>計</b>	<b>2,295</b>	<b>52</b>	<b>9,724</b>	

<b>摂南大学大学院</b>			
<b>薬学研究科</b>	<b>4</b>	<b>-</b>	<b>16</b>
医療薬学専攻 (D)	4	-	16
<b>理工学研究科</b>	<b>38</b>	<b>-</b>	<b>80</b>
社会開発工学専攻 (M)	12	-	24
生産開発工学専攻 (M)	12	-	24
生命科学専攻 (M)	10	-	20
創生工学専攻 (D)	2	-	6
生命科学専攻 (D)	2	-	6
<b>経済経営学研究科</b>	<b>10</b>	<b>-</b>	<b>20</b>
経済学専攻 (M)	5	-	10
経営学専攻 (M)	5	-	10
<b>法学研究科</b>	<b>5</b>	<b>-</b>	<b>10</b>
法律学専攻 (M)	5	-	10
<b>国際言語文化研究科</b>	<b>5</b>	<b>-</b>	<b>10</b>
国際言語文化専攻 (M)	5	-	10
<b>看護学研究科</b>	<b>6</b>	<b>-</b>	<b>12</b>
看護学専攻 (M)	6	-	12
<b>計</b>	<b>68</b>	<b>-</b>	<b>148</b>

<b>摂南大学大学院</b>			
<b>薬学研究科</b>	<b>4</b>	<b>-</b>	<b>16</b>
医療薬学専攻 (D)	4	-	16
<b>理工学研究科</b>	<b>38</b>	<b>-</b>	<b>80</b>
社会開発工学専攻 (M)	12	-	24
生産開発工学専攻 (M)	12	-	24
生命科学専攻 (M)	10	-	20
創生工学専攻 (D)	2	-	6
生命科学専攻 (D)	2	-	6
<b>経済経営学研究科</b>	<b>10</b>	<b>-</b>	<b>20</b>
経済学専攻 (M)	5	-	10
経営学専攻 (M)	5	-	10
<b>法学研究科</b>	<b>5</b>	<b>-</b>	<b>10</b>
法律学専攻 (M)	5	-	10
<b>国際言語文化研究科</b>	<b>5</b>	<b>-</b>	<b>10</b>
国際言語文化専攻 (M)	5	-	10
<b>看護学研究科</b>	<b>6</b>	<b>-</b>	<b>12</b>
看護学専攻 (M)	6	-	12
<b>計</b>	<b>68</b>	<b>-</b>	<b>148</b>

令和2年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	令和3年度	入学定員	3年次編入学定員	収容定員(完成年度)	変更の事由
<b>広島国際大学</b>				<b>広島国際大学</b>				
<b>保健医療学部</b>	<b>220</b>	-	<b>880</b>	<b>保健医療学部</b>	<b>220</b>	-	<b>880</b>	
診療放射線学科	70	-	280	診療放射線学科	70	-	280	
医療技術学科 (臨床工学専攻) (臨床検査学専攻)	100	-	400	医療技術学科 (臨床工学専攻) (臨床検査学専攻)	100	-	400	
救急救命学科	50	-	200	救急救命学科	50	-	200	
<b>総合リハビリテーション学部</b>	<b>180</b>	-	<b>720</b>	<b>総合リハビリテーション学部</b>	<b>180</b>	-	<b>720</b>	
リハビリテーション学科 (理学療法学専攻) (作業療法学専攻) (言語聴覚療法学専攻) (義肢装具学専攻)	180	-	720	リハビリテーション学科 (理学療法学専攻) (作業療法学専攻) (言語聴覚療法学専攻) (義肢装具学専攻)	180	-	720	
<b>看護学部</b>	<b>120</b>	<b>10</b>	<b>500</b>	<b>看護学部</b>	<b>120</b>	<b>10</b>	<b>500</b>	
看護学科	120	10	500	看護学科	120	10	500	
<b>薬学部</b>	<b>120</b>	-	<b>720</b>	<b>薬学部</b>	<b>120</b>	-	<b>720</b>	
薬学科	120	-	720	薬学科	120	-	720	
<b>健康科学部</b>	<b>350</b>	-	<b>1,400</b>	<b>健康科学部</b>	<b>350</b>	-	<b>1,400</b>	
医療福祉学科 (医療福祉学専攻) (介護福祉学専攻) (保育福祉学専攻)	100	-	400	医療福祉学科 (医療福祉学専攻) (介護福祉学専攻) (保育福祉学専攻)	100	-	400	
医療経営学科	90	-	360	医療経営学科	90	-	360	
心理学科	100	-	400	心理学科	100	-	400	
医療栄養学科	60	-	240	医療栄養学科	60	-	240	
<b>健康スポーツ学部</b>	<b>70</b>	-	<b>280</b>	<b>健康スポーツ学部</b>	<b>70</b>	-	<b>280</b>	
健康スポーツ学科	70	-	280	健康スポーツ学科	70	-	280	
<b>計</b>	<b>1,060</b>	<b>10</b>	<b>4,500</b>	<b>計</b>	<b>1,060</b>	<b>10</b>	<b>4,500</b>	

<b>広島国際大学大学院</b>			
<b>看護学研究科</b>	<b>13</b>	-	<b>29</b>
看護学専攻 (M)	10	-	20
看護学専攻 (D)	3	-	9
<b>医療・福祉科学研究科</b>	<b>22</b>	-	<b>46</b>
医療工学専攻 (M)	10	-	20
医療工学専攻 (D)	2	-	6
医療福祉学専攻 (M)	5	-	10
医療経営学専攻 (M)	5	-	10
<b>心理科学研究科</b>	<b>22</b>	-	<b>46</b>
臨床心理学専攻 (D)	2	-	6
実践臨床心理学専攻 (P)	20	-	40
<b>薬学研究科</b>	<b>2</b>	-	<b>8</b>
医療薬学専攻 (D)	2	-	8
<b>計</b>	<b>59</b>	-	<b>129</b>

<b>広島国際大学大学院</b>			
<b>看護学研究科</b>	<b>13</b>	-	<b>29</b>
看護学専攻 (M)	10	-	20
看護学専攻 (D)	3	-	9
<b>医療・福祉科学研究科</b>	<b>22</b>	-	<b>46</b>
医療工学専攻 (M)	10	-	20
医療工学専攻 (D)	2	-	6
医療福祉学専攻 (M)	5	-	10
医療経営学専攻 (M)	5	-	10
<b>心理科学研究科</b>	<b>22</b>	-	<b>46</b>
臨床心理学専攻 (D)	2	-	6
実践臨床心理学専攻 (P)	20	-	40
<b>薬学研究科</b>	<b>2</b>	-	<b>8</b>
医療薬学専攻 (D)	2	-	8
<b>計</b>	<b>59</b>	-	<b>129</b>

## 校地校舎等の図面

### 1 都道府県内における位置関係の図面

著作権により添付省略

#### 1) 出典

Google マップ〔グーグル株式会社〕

#### 2) 引用元

<https://www.google.co.jp/maps/>

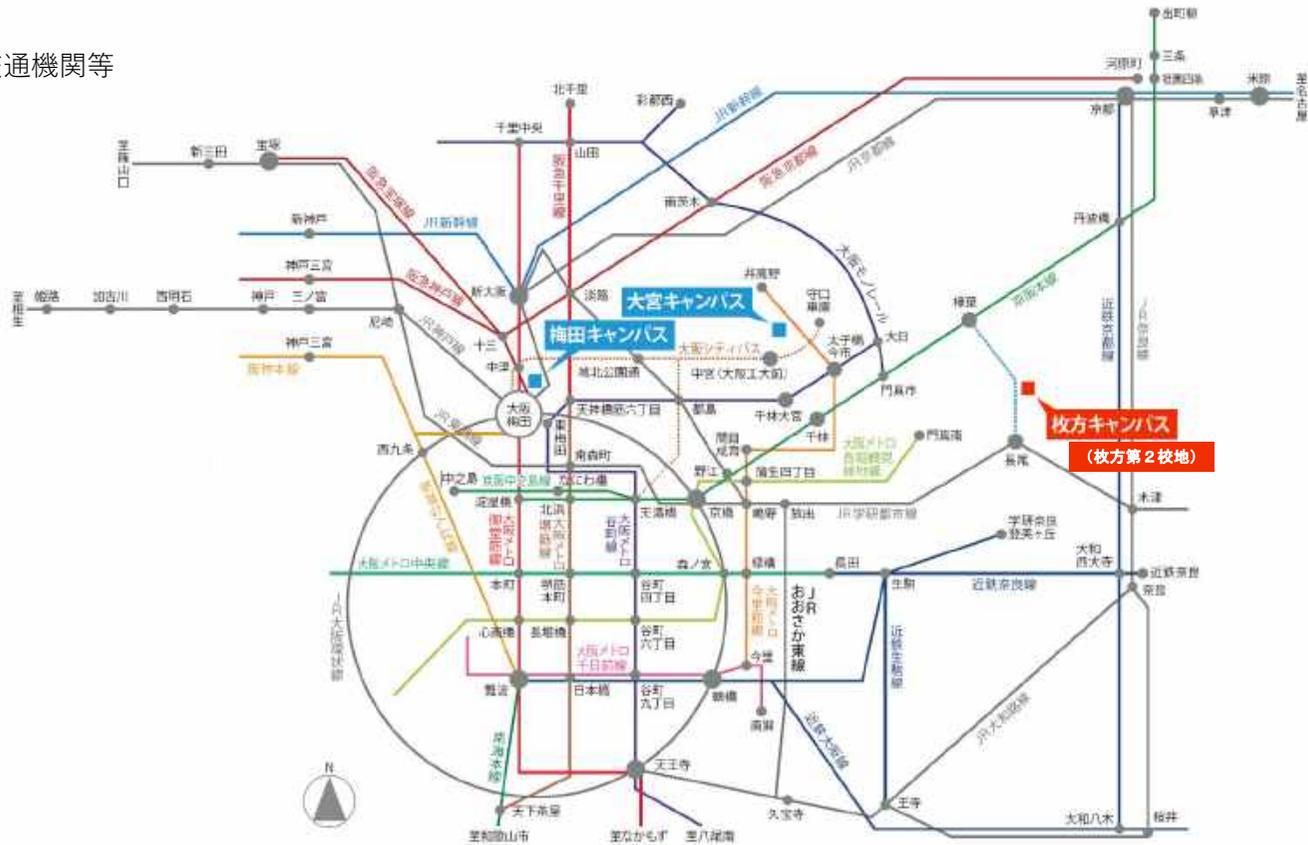
#### 3) 引用範囲

地図

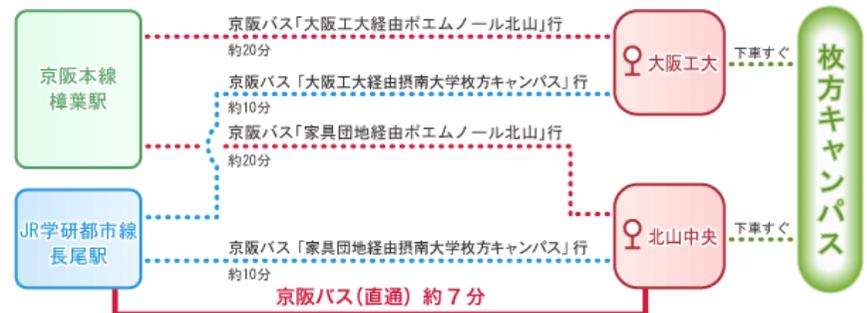
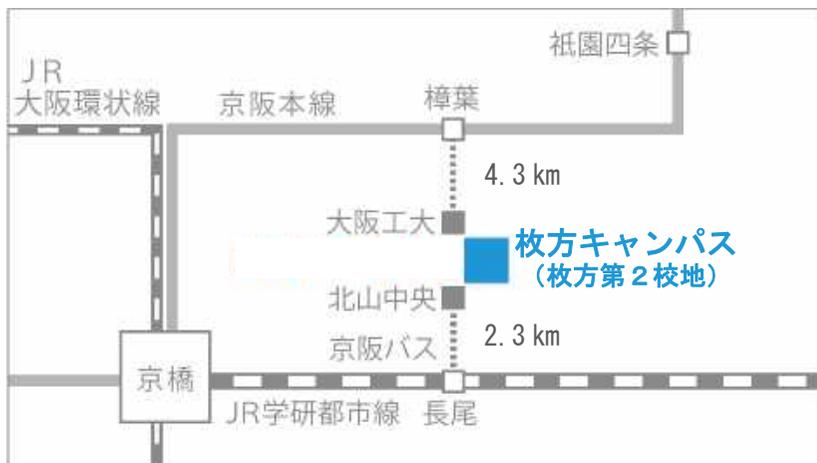
#### 4) その他の説明

大阪府内における本学の位置関係を示すため、大阪・京都・奈良の広域地図上に枚方キャンパスの位置を示すポイントを表示し、「枚方キャンパス（枚方第2校地）」のコメントを付した。

## 2 最寄り駅からの距離、交通機関等

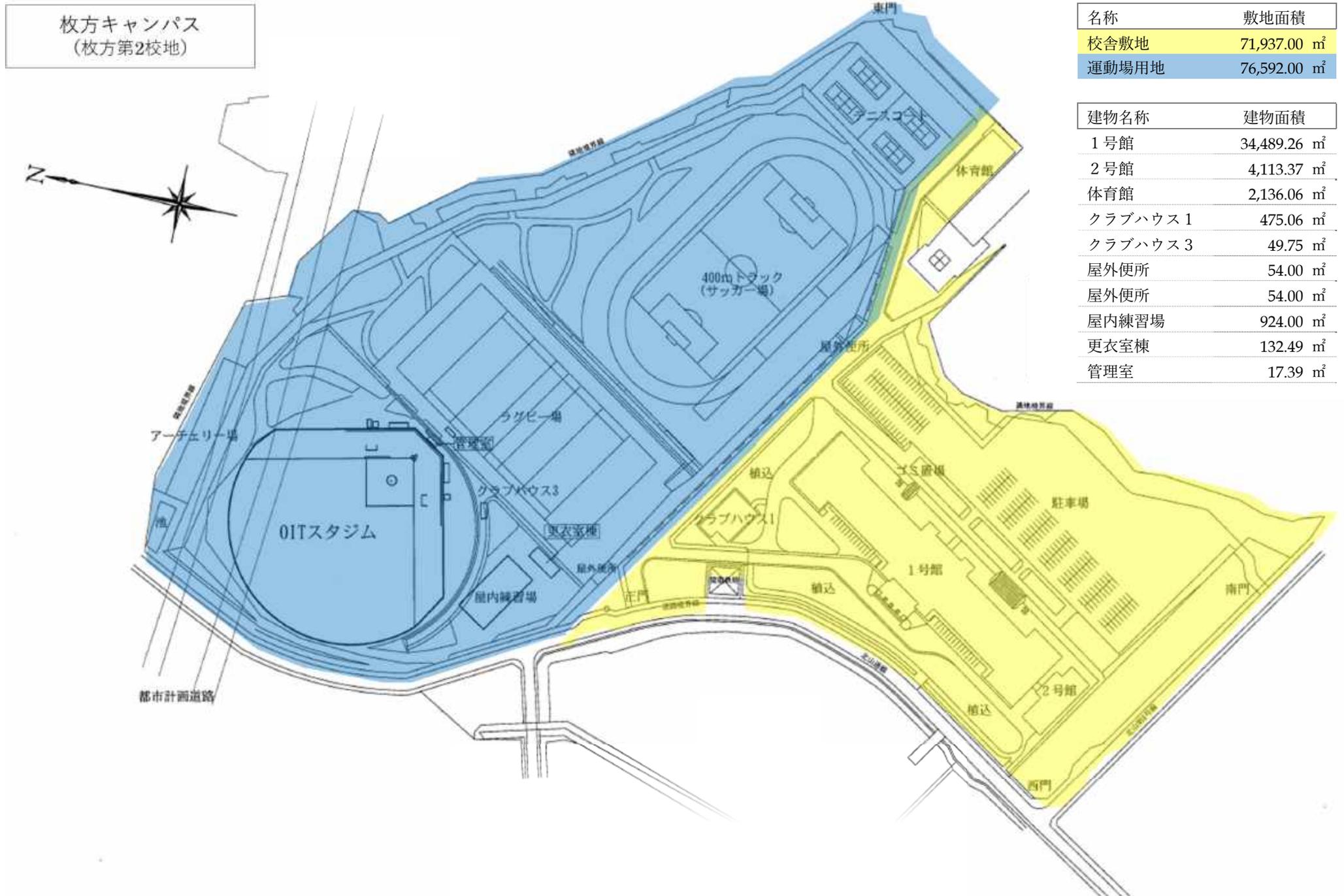


枚方キャンパスへのアクセス



※樟葉駅には、特急・快速急行・急行・準急が停車します(曜日や時間帯によって異なります)  
 樟葉駅までの所要時間: 大阪・淀屋橋駅、京都・三条駅から特急・快速急行・急行・準急で25～40分  
 ※長尾駅には快速が停車します。  
 長尾駅までの所要時間: 大阪・京橋駅から快速で約25分、奈良駅から約35分  
 ※京阪バスは、直通便を含め朝夕には毎時4～6便運行しています(直通便の運行は授業期間内の平日)。

### 3 校舎等配置図



枚方キャンパス  
(枚方第2校地)

名称	敷地面積
校舎敷地	71,937.00 m <sup>2</sup>
運動場用地	76,592.00 m <sup>2</sup>

建物名称	建物面積
1号館	34,489.26 m <sup>2</sup>
2号館	4,113.37 m <sup>2</sup>
体育館	2,136.06 m <sup>2</sup>
クラブハウス1	475.06 m <sup>2</sup>
クラブハウス3	49.75 m <sup>2</sup>
屋外便所	54.00 m <sup>2</sup>
屋外便所	54.00 m <sup>2</sup>
屋内練習場	924.00 m <sup>2</sup>
更衣室棟	132.49 m <sup>2</sup>
管理室	17.39 m <sup>2</sup>

# 学 則

## 1. 変更後の学則

○大阪工業大学学則

昭和24年3月25日  
学園102

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 本大学は、専門学術を教育研究し、深い教養と実践的応用力を身につけ、時代の要請に対応して国際的視野から知的・技術的創造を実現でき、確かな人間力を備え常に向上を心がける、心身ともにたくましい専門職業人を養成して、社会の発展に貢献するとともに、学術と文化の向上をはかることを目的とする。

#### (自己評価等)

第2条 本大学は、前条に規定する目的を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検および評価を行う。

2 前項の点検および評価に関することは、別に定める。

### 第2章 組織

#### (設置学部および設置学科)

第3条 本大学に、つぎの学部および学科を置く。

学部	学科
工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電子情報システム工学科 応用化学科 環境工学科 生命工学科
ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科 システムデザイン工学科 空間デザイン学科
情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科 情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科
知的財産学部	知的財産学科

#### (教育研究上の目的)

第3条の2 工学部は、地球環境に配慮しながら、専門技術の基礎ならびに人間力を基盤として幅広い協働によるものづくりを実践でき、常に向上を目指す心身ともにたくましい技術者を育成することを目的とする。

2 ロボティクス&デザイン工学部は、工学的な知識・技術を人間中心の視点から活用し、持続可能で豊かな社会の形成や発展に貢献できる専門職業人を育成することを目的とする。

3 情報科学部は、情報通信に関する知識や技術を学び、広い視野と倫理観を持って社会や産業活動の情報化とその発展に貢献する健全な技術者あるいは専門職業人を育成することを目的とする。

4 知的財産学部は、健全な人間性、知的能力および国際感覚を有することにより、21世紀の産業社会において活躍する者にして、知的財産の保護と活用を推進することに貢献できる職業人を養成することを目的とする。

(収容定員)

第4条 本大学の学科別入学定員および収容定員は、つぎのとおりとする。

学部	学科	入学定員		収容定員
			3年次編入 学定員	
工学部	都市デザイン工学科	100名	5名	410名
	建築学科	150名	5名	610名
	機械工学科	140名	5名	570名
	電気電子システム工学科	125名	5名	510名
	電子情報システム工学科	110名	5名	450名
	応用化学科	130名	5名	530名
	環境工学科	75名	5名	310名
	生命工学科	70名	5名	290名
	計	900名	40名	3,680名
ロボティクス &デザイン工 学部	ロボット工学科	90名	5名	370名
	システムデザイン工学科	90名	5名	370名
	空間デザイン学科	100名	5名	410名
	計	280名	15名	1,150名
情報科学部	データサイエンス学科	70名	—	280名
	情報知能学科	90名	5名	370名
	情報システム学科	105名	5名	430名
	情報メディア学科	105名	5名	430名
	ネットワークデザイン学科	90名	5名	370名
	計	460名	20名	1,880名
知的財産学部	知的財産学科	140名	10名	580名

(大学院)

第5条 本大学に、大学院を置く。

2 大学院については、大学院学則に定める。

(職員組織)

第6条 本大学に、学長、学部長、教授、准教授、講師、助教、助手および研究職員ならびに事務職員を置く。

2 本大学に、必要に応じて副学長を置くことができる。

3 本大学には、前2項のほか、教務部長、学生部長、図書館長、情報センター長、学長室長、入試部長および就職部長その他必要な職員を置く。

(各職員の職務)

第7条 学長は、学務を統括し、所属職員を統督する。

2 副学長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の重要な事項についての校務を掌る。

3 学部長は、学長を補佐し、その命を受けて本大学の教学運営業務を遂行し、各学部内の業務を処理するとともに、各学部にも所属する教育系職員を指揮監督する。

4 教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の特に優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

5 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の優れた知識、能力および実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

6 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。

7 助教は、専攻分野について、教育上、研究上または実務上の知識および能力を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する。

8 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

9 研究職員は、教授、准教授もしくは講師の職務を補佐し、または指導を受けて研究に従事する。

- 10 事務職員は、本大学の管理運営業務にあたるほか、学生の学修指導および厚生補導に従事する。
- 11 前条第3項の職員の職務については、職制に関する規定に定める。

(大学・大学院運営会議)

第8条 本大学に、大学・大学院運営会議を置く。

- 2 大学・大学院運営会議は、学長、副学長、研究科長、学部長、教務部長、学生部長、図書館長、情報センター長、学長室長、入試部長、就職部長、国際交流センター長、教育センター長、研究支援・社会連携センター長および研究支援・社会連携センター副センター長をもって組織し、本大学の重要な事項を審議する。
- 3 その他大学・大学院運営会議について必要な事項は、大学・大学院運営会議規定に定める。  
(教授会)

第9条 本大学の各学部に教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長および当該学部の教授をもって構成し、当該学部のつぎの事項について審議する。
  - イ 学則に関すること
  - ロ 諸規定の制定・改廃に関すること
  - ハ 教務に関すること
  - ニ 学生の入学、卒業および転学部・転科に関すること
  - ホ 学長が諮問した事項に関すること
- 3 その他各学部の教授会について必要な事項は、各学部の教授会規定に定める。  
(委員会)

第10条 本大学に、本大学の重要な事項を審議する組織として、つぎの委員会を置く。

- イ 自己評価・IR委員会
  - ロ 工学部教員選考委員会
  - ハ ロボティクス&デザイン工学部教員選考委員会
  - ニ 情報科学部教員選考委員会
  - ホ 知的財産学部教員選考委員会
  - へ 入試委員会
  - ト 教務委員会
  - チ 教職課程委員会
  - リ 学生委員会
  - ヌ 就職委員会
  - ル 図書館運営委員会
  - ヲ 人権侵害防止委員会
  - ワ 個人情報保護委員会
  - カ FD委員会
  - ヨ 教員活動評価委員会
- 2 自己評価・IR委員会は、自己点検・評価、外部評価、認証評価機関による第三者評価、内部質保証に関する事項を審議する。
  - 3 工学部教員選考委員会は、工学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
  - 4 ロボティクス&デザイン工学部教員選考委員会は、ロボティクス&デザイン工学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
  - 5 情報科学部教員選考委員会は、情報科学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
  - 6 知的財産学部教員選考委員会は、知的財産学部の教員の採用および昇任の資格審査ならびに研修に関する事項を審議する。
  - 7 入試委員会は、学長の諮問に応じて各学部の入学者選抜についての企画調整、その他重要な事項を審議する。
  - 8 教務委員会は、学長の諮問に応じて教務に関する重要な事項の審議ならびに各学部間の連絡調整を行う。
  - 9 教職課程委員会は、学長の諮問に応じて教職課程に関する重要な事項の審議ならびに各学部間の連絡調整を行う。
  - 10 学生委員会は、学長の諮問に応じて学生の厚生補導、表彰、懲戒その他重要な事項の審議および各

学部間の連絡調整を行う。

- 11 就職委員会は、学長の諮問に応じて就職に関する重要な事項の審議および各学部間の連絡調整を行う。
- 12 図書館運営委員会は、学長の諮問に応じて図書館の運営に関し必要な事項を審議する。
- 13 人権侵害防止委員会は、本大学における人権侵害の防止に関し必要な事項を審議する。
- 14 FD委員会は、本大学における授業の内容、方法等の改善を図るため、組織的な研修および研究に関する事項を審議する。
- 15 個人情報保護委員会は、本大学における個人情報の保護に関し必要な事項を審議する。
- 16 教員活動評価委員会は、本大学における教員活動評価に関する事項を審議する。
- 17 その他委員会について必要な事項は、各委員会規定に定める。

### 第3章 学年、学期および休業日

(学年)

第11条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(学期)

第12条 学年をつぎの2学期に区分する。

- イ 前期 4月1日から9月30日まで
  - ロ 後期 10月1日から翌年3月31日まで
- 2 必要がある場合、学長は、前項に定める前期の終期および後期の始期を変更することができる。
  - 3 第1項に定める各学期を前半および後半に分けることができる。

(休業日)

第13条 休業日は、つぎのとおりとする。ただし、休業日に授業等を行うことがある。

- イ 日曜日および国民の祝日に関する法律に定める休日
  - ロ 本学園創立記念日 10月30日
  - ハ 春期休業日 3月21日から3月31日まで
  - ニ 夏期休業日 8月1日から9月14日まで
  - ホ 冬期休業日 12月25日から翌年1月7日まで
- 2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。
  - 3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

### 第4章 修業年限および在学年数

(修業年限)

第14条 修業年限は、4年とする。

(在学年数の制限)

第15条 在学年数は、8年を超えることができない。

### 第5章 入学

(入学時期)

第16条 入学時期は、学年の始めとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学長は、学年の途中においても、第12条に定める学期の区分に従い、入学させることができる。その場合の学年は、第11条にかかわらず、10月1日に始まり翌年9月30日に終わるものとする。

(入学資格)

第17条 本大学に入学できる者は、つぎの各号のいずれかに該当する者とする。

- イ 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- ロ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- ハ 学校教育法施行規則第150条に定められた者

(編入学)

第18条 本大学に編入学を志願する者があるときは、選考のうえ原則として第3年次に編入学を許可する。

- 2 編入学できる者は、つぎの各号のいずれかに該当する者とする。

- イ 大学を卒業した者
- ロ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ハ 大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した後に退学した者

- ニ 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
- ホ 学校教育法施行規則第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了もしくは卒業した者
- ヘ 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者
- ト 高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者
- チ 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
- リ 本学において、個別の入学資格審査により、前各号と同等以上の学力があると認めた場合で、20歳に達した者

3 その他編入学については、編入学規定に定める。  
（転入学）

第18条の2 本大学に転入学を志願する者があるときは、選考のうえこれを許可することがある。

- 2 転入学できる者は、大学に在籍している者とする。
- 3 その他転入学については、転入学規定に定める。  
（出願手続）

第19条 本大学に入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料および別に定める書類を添えて願出しなければならない。

（入学者の選考）

第20条 入学者の選考は、教授会の議を経て学長がこれを行う。

（入学手続および入学許可）

第21条 前条の選考に合格した者は、指定の期日までに、別に定める学費を納入し、所定の手続を完了しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。
- 3 前項により入学を許可された者は、入学宣誓式に出席し、かつ、入学の宣誓をしなければならない。  
（保証人）

第22条 保証人は、独立の生計を営む成年者とし、父母またはこれに代わる親族としなければならない。

- 2 保証人は、当該学生の誓約に対し、責任を負わなければならない。
- 3 保証人が、死亡などのため、その資格を失ったときは、新たに保証人を定め届け出なければならない。

## 第6章 教育課程および履修方法

（授業科目）

第23条 工学部については、各授業科目をキャリア形成の基礎、工学の基礎、専門科目、数理科学と教育およびその他連携科目に分け、これを4年間に配当し、編成する。

- 2 ロボティクス&デザイン工学部については、各授業科目を共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、専門横断科目および専門科目に分け、これを4年間に配当し、編成する。
- 3 情報科学部については、各授業科目を共通科目、キャリア科目、専門科目、自由科目に分け、これを4年間に配当し、編成する。なお、自由科目については、情報科学部履修規定に定める。
- 4 知的財産学部については、各授業科目を導入領域、教養領域、専門領域、展開領域およびその他連携領域に分け、これを4年間に配当し、編成する。
- 5 授業科目は、必修科目、選択必修科目および選択科目とする。

（授業の方法）

第23条の2 授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかによりまたはこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業を、外国において履修させることができる。
- 4 第1項の授業の一部を、校舎および附属施設以外の場所で行うことができる。

（授業科目および単位）

第24条 各学科の授業科目および単位数は、別表第1のとおり定める。

- 2 単位数の計算基準は、つぎのとおりとする。

イ 講義および演習については、15時間または30時間の授業時間をもって1単位とする。

ロ 実験および実習については、30時間または45時間の授業時間をもって1単位とする。

- 3 前項にかかわらず、講義および演習と実験、実習を組み合わせる行う授業科目については、その組み合わせに応じて、15時間から45時間の範囲で、本大学が定める授業時間をもって1単位とする。

(卒業に必要な単位数)

第25条 卒業に必要な単位は、つぎのとおりとする。

工学部	キャリア形成の基礎20単位〔人文社会科学10単位、外国語8単位(英語6単位を含む)、体育2単位〕ならびに工学の基礎26単位および所属する学科の専門科目70単位を含めて合計124単位
ロボティクス&デザイン工学部	共通教養科目20単位(外国語8単位含む)、工学関連科目18単位、専門横断科目および専門科目76単位、その他(共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目)10単位を含め、合計124単位
情報科学部	イ データサイエンス学科 共通科目36単位(人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位を含む)、キャリア科目2単位および専門科目86単位を含めて合計124単位 ロ 情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科 共通科目36単位(人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系12単位以上を含む。人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位必要)、キャリア科目2単位および所属する学科の専門科目86単位を含めて合計124単位
知的財産学部	導入領域8単位、教養領域20単位(英語科目8単位および一般科目12単位を含む)、専門領域74単位(基幹科目28単位、知的財産法科目12単位、技術&専門科目14単位、探究科目6単位、研究科目4単位を含む)、展開領域14単位(実践英語科目2単位を含む)を含めて合計124単位

(履修の方法および制限)

第26条 履修の方法および履修の制限については、各学部の履修規定に定める。

#### 第7章 単位の授与

(単位の授与)

第27条 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、設計製図、演習、実験、実習等については、試験によらないことがある。

(他大学授業科目の履修および大学以外の教育施設等における学修ならびに単位認定)

第28条 教育上有益と認めるときは、他の大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学生に当該大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前項に関し、その他文部科学大臣が別に定める学修については、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定に定める。

4 前3項により修得した単位について、学部長は教授会の議を経て、30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位とみなすことができる。

(入学前の既修得単位の認定)

第29条 教育上有益と認めるときは、新たに第1年次に入学した者が本大学に入学する前に大学または短期大学等において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、30単位を超えない範囲で入学前既修得単位認定取扱規定により認定することができる。

2 教育上有益と認めるときは、編入学および転入学した者が本大学に入学する前に大学または短期大学等において修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、62単位を超えない範囲で

入学前既修得単位認定取扱規定により認定することができる。

- 3 教育上有益と認めるときは、学生が本大学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修のうちその他文部科学大臣が別に定める学修を、大学以外の教育施設等における学修のうち文部科学大臣が定める学修に係る単位認定取扱規定により認定することができる。

(成績の評価)

第30条 成績の評価は、「A、B、C、D、F、\*、G」をもって表し、「A、B、C、D、G」を合格とし「F、\*」を不合格とする。

- 2 授業科目の成績は、その授業の方法、内容および年間の計画ならびに成績評価の基準をあらかじめ学生に明示し、当該基準にしたがって行うものとする。

第8章 卒業および学位の授与

(卒業)

第31条 工学部および情報科学部については、4年以上在学し、第25条に定める単位を修得し、かつ、卒業研究に合格した者に、学長は教授会の議を経て卒業を許可する。

- 2 ロボティクス&デザイン工学部については、4年以上在学し、第25条に定める単位(卒業研究を含む)を修得した者に、学長は教授会の議を経て卒業を許可する。
- 3 知的財産学部については、4年以上在学し、第25条に定める単位を修得し、かつ、達成度確認テストおよび卒業研究に合格した者に、学長は教授会の議を経て卒業を許可する。
- 4 前項の規定にかかわらず、本学の学生として3年以上在学し、大学院への進学を希望している者で、学部の定める卒業要件を満たし、かつ、優秀な成績を修めたと認めた場合、学部長が推薦し教授会の議を経て、学長は卒業を認めることができる。
- 5 第1項の規定により卒業の要件として修得すべき124単位のうち、第23条の2第2項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

(学位の授与)

第32条 本大学を卒業した者には、学士の学位を授与する。

- 2 その他学位の授与については、学位規定に定める。

第9章 休学、退学、除籍、復学、再入学、転学部等

(休学)

第33条 病気その他やむを得ない理由により、長期にわたり修学できないときは、所定の休学願により学部長に願い出て休学することができる。

(休学命令)

第34条 病気その他修学することが適当でないと認められる者については、所属学部長は休学を命じることができる。

(休学期間)

第35条 休学の期間は、原則として当該期または当該学年の末までとする。ただし、学部長が特別の理由があると認めた者については、引き続き翌学年度末までの休学を許可することがある。

(休学期間の制限)

第36条 休学期間は、通算して4年を超えることができない。

- 2 休学期間は、在学年数に算入しない。

(退学)

第37条 病気その他やむを得ない理由により、退学しようとするときは、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第38条 つぎの各号のいずれかに該当する者は、学長が除籍する。

- イ 学費を所定の期日までに納入しない者
- ロ 休学者で在籍料を所定の期日までに納入しない者
- ハ 第15条の在学年数を超えた者
- ニ 休学期間満了になっても復学を願い出ない者
- ホ 他の大学、短期大学または高等専門学校に在籍していることが明らかになった者(第51条に定める特別履修生として入学を許可された者を除く)
- ヘ 死亡が確認された者

(復学)

第39条 休学者の復学については、復学規定に定める。

(再入学)

第40条 退学した者または除籍された者が再入学を願い出た場合は、学長は教授会の議を経て許可することができる。

2 その他再入学については、再入学規定に定める。

(転学部等)

第41条 転学部または転科を志願する者があるときは、志願先に欠員のある場合に限り、志願先の教授会の議を経て学長が許可することができる。

2 転学部または転科した者がすでに修得した単位の取扱いについては、学部長が別に定める。

3 その他転学部または転科については、転学部・転科規定に定める。

第10章 賞罰

(表彰)

第42条 学生として表彰に価する行為があった者には、学生委員会の議を経て学長が表彰することができる。

2 その他表彰については、学生表彰規定に定める。

(懲戒)

第43条 本大学の学則もしくは諸規定に違反し、または学生の本分に反する行為を行った者には、学生委員会の議を経て学長が懲戒する。

2 懲戒は、譴責、停学および放學とする。

3 放學は、つぎの各号のいずれかに該当する者に対して行う。

イ 性行不良で改善の見込みがないと認められた者

ロ 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

4 その他懲戒については、学生懲戒規定に定める。

第11章 学費

(学費)

第44条 学費は、入学金、授業料および教育充実費とし、その額は、別表第2—1のとおり定める。

(学費の納入等)

第45条 学費は、所定の期日までに納入しなければならない。

2 学費の納入については、学費納入規定に定める。

3 既に納入された学費は、返戻しない。ただし、学費納入規定に定めのある場合は、この限りでない。

(休学中の学費)

第46条 休学中の学費は、休学を許可された期の翌期から免除する。ただし、別表第2—4に定める在籍料を納入しなければならない。

2 その他休学中の学費等の取扱いについては、学費納入規定に定める。

第12章 奨学制度

(奨学制度)

第47条 学業、人物ともに優秀で経済的理由などにより就学困難と認められた者に対し、奨学金を給付することがある。

2 その他奨学金については、学内奨学規定に定める。

第13章 教育職員免許状

(教育職員免許状)

第48条 教育職員免許状の取得を志望する者のために、教育職員免許法に基づき、教科及び教職に関する科目を置く。

2 本大学において、取得できる教育職員免許状の種類および免許教科は、別表第3のとおりとする。

3 前項の免許状を取得するための授業科目、単位の履修方法等については、履修規定による。

第14章 公開講座

(公開講座)

第49条 市民の教養を高め、地域社会の教育文化の向上に資するため、公開講座を設けることがある。

第15章 科目等履修生、特別履修生および研究生

(科目等履修生)

第50条 本大学において、特定の授業科目の履修を志願する者があるときは、本大学の教育に支障のない場合に限り、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 授業科目を履修し、試験に合格した者には、所定の単位を与える。

- 3 履修料は、別表第2—2のとおり定める。
- 4 その他科目等履修生については、科目等履修生規定に定める。  
(特別履修生)

第51条 他の大学の学生で、本大学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、本大学の教育に支障のない場合に限り、当該大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、特別履修生として入学を許可することがある。

- 2 履修料は、別表第2—2のとおり定める。
- 3 その他特別履修生については、特別履修生規定に定める。  
(研究生)

第52条 本大学において、特定の専門事項について研究することを志願する者があるときは、本大学の教育研究に支障のない場合に限り、学長は教授会の議を経て研究生として入学を許可することができる。

- 2 研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
- 3 研究期間は、6カ月または1年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。
- 4 研究料は、別表第2—3のとおり定める。
- 5 その他研究生については、研究生規定に定める。

#### 第16章 外国人留学生および帰国学生

##### (外国人留学生)

第53条 外国の国籍を有する者で、原則として大学入学を目的として入国許可を受けて入国し、本大学に入学を志願する者があるときは、学長は特別に選考のうえ教授会の議を経て外国人留学生として入学を許可することができる。

- 2 その他外国人留学生の入学については、外国人留学生入学規定に定める。  
(帰国学生)

第54条 帰国生徒で、本大学に入学を志願する者があるときは、学長は特別に選考のうえ教授会の議を経て帰国学生として入学を許可することができる。

- 2 その他帰国生徒の入学については、外国人留学生入学規定による。

#### 第17章 付置研究所等

##### (付置研究所等)

第55条 本大学に図書館、情報センター、実験場、研究センターその他の附属施設を置く。これらに関する規定は、別にこれを定める。

#### 第18章 その他

##### (施行細則)

第56条 本学則施行に必要な細則は、別に定める。

##### (学則の改廃)

第57条 本学則の改廃は、教授会および大学・大学院運営会議の意見を聴き、学長の承認を得て、理事会の議を経て理事長がこれを行う。

##### 付 則

- 1 本学則は、昭和24年3月25日から施行する。

2

イ この改正学則は、2021年4月1日から施行する。

ロ 2020年度以前の情報科学部の入学者に開設する授業科目および卒業に必要な単位数ならびに教職課程については、なお従前の例による。

ハ 2018年度以前の工学部の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数ならびに教職課程については、学部長が別に定めるもののほか、なお従前の例による。

ニ 工学部機械工学科の「エンジニアリングプラクティス」の授業科目については、2012年度入学者から適用する。

ホ 2019年度以前の入学者の学費については、なお従前の例による。

ヘ 2019年度以前の知的財産学部知的財産学科の入学者の修得すべき授業科目および卒業に必要な単位数については、なお従前の例による。ただし、知的財産学部長は、これらの者の修得すべき授業科目の実施について、必要な措置を講じることができる。

ト 2018年度以前のロボティクス&デザイン工学部の入学者の教職課程については、なお従前の例による。

チ 第3条の規定にかかわらず、工学部空間デザイン学科および工学部ロボット工学科は、2017年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

リ 第3条の規定にかかわらず、工学部電子情報通信工学科、情報科学部コンピュータ科学科および情報科学部情報ネットワーク学科は、2019年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

#### 別表第1 教育課程表

注1 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目

2 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

3 教職課程においては、注1、2は、教育職員免許状の取得に必要な必修科目等を示す

#### I 工学部

##### 1 キャリア形成の基礎

	授業科目	単位数
人文社会科学	世界と人間	2
	文章表現基礎	2
	哲学	2
	倫理学	2
	美術史	2
	文学	2
	日本語の歴史	2
	法学（日本国憲法）	2
	経済学	2
	歴史学	2
	心理学	2
	日本の伝統と文化	2
	国際関係論	2
	※日本の文化と社会Ⅰ	2
※日本の文化と社会Ⅱ	2	
外国語	ベーシック・イングリッシュa	1
	ベーシック・イングリッシュb	1
	オーラル・コミュニケーションⅠa	1
	オーラル・コミュニケーションⅠb	1
	オーラル・コミュニケーションⅡa	1
	オーラル・コミュニケーションⅡb	1
	工学コミュニケーション英語基礎a	1
	工学コミュニケーション英語基礎b	1
	キャリア・イングリッシュⅠa	1
	キャリア・イングリッシュⅠb	1
	キャリア・イングリッシュⅡa	1
	キャリア・イングリッシュⅡb	1
	英語プレゼンテーションa	1
	英語プレゼンテーションb	1
	中国語コミュニケーション	1
	中国語と現代中国事情	1
	海外語学研修	2
	※日本語Ⅰ	2
	※日本語Ⅱ	2
	体育	健康体育Ⅰ
健康体育Ⅱ		1
生涯スポーツⅠ		1
生涯スポーツⅡ		1

注) 授業科目名の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

2 工学の基礎

イ 都市デザイン工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学 I	2
	解析学 I 演習	1
	解析学 II	2
	解析学 II 演習	1
	解析学 III	2
	解析学 III 演習	1
	線形代数学 I	2
	線形代数学 II	2
	微分方程式 I	2
	微分方程式 II	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
生物科学	2	
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	デザイン探求演習 (PBL)	1
	宇宙・地球・生命一探究演習 (PBL)	1

ロ 建築学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学 I	2
	解析学 I 演習	1
	解析学 II	2
	解析学 II 演習	1
	解析学 III	2
	解析学 III 演習	1
	線形代数学 I	2
	線形代数学 II	2
	微分方程式 I	2
	微分方程式 II	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2

	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	デザイン探求演習 (PBL)	1
	宇宙・地球・生命一探究演習 (PBL)	1

ハ 機械工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学 I	2
	解析学 I 演習	1
	解析学 II	2
	解析学 II 演習	1
	解析学 III	2
	解析学 III 演習	1
	線形代数学 I	2
	線形代数学 II	2
	微分方程式 I	2
	微分方程式 II	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
生物科学	2	
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	エンジニアリング探求演習 (PBL)	1
	宇宙・地球・生命一探究演習 (PBL)	1

ニ 電気電子システム工学科

授業科目		単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	エンジニアリング探求演習（PBL）	1
	宇宙・地球・生命一探究演習（PBL）	1

ホ 電子情報システム工学科

授業科目		単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
化学	2	

	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	エンジニアリング探求演習 (PBL)	1
	宇宙・地球・生命一探究演習 (PBL)	1

へ 応用化学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学 I	2
	解析学 I 演習	1
	解析学 II	2
	解析学 II 演習	1
	解析学 III	2
	解析学 III 演習	1
	線形代数学 I	2
	線形代数学 II	2
	微分方程式 I	2
	微分方程式 II	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
生物科学	2	
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	サイエンス探求演習 (PBL)	1
	宇宙・地球・生命一探究演習 (PBL)	1

ト 環境工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
	化学	2
	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理Ⅰ	1
	基礎情報処理Ⅱ	1
	品質管理	2
	確率と統計Ⅰ	2
	確率と統計Ⅱ	2
淀川学	淀川と人間	1
	淀川と環境	1
OITリソース	サイエンス探求演習（PBL）	1
	宇宙・地球・生命一探究演習（PBL）	1

チ 生命工学科

	授業科目	単位数
自然科学	解析学Ⅰ	2
	解析学Ⅰ演習	1
	解析学Ⅱ	2
	解析学Ⅱ演習	1
	解析学Ⅲ	2
	解析学Ⅲ演習	1
	線形代数学Ⅰ	2
	線形代数学Ⅱ	2
	微分方程式Ⅰ	2
	微分方程式Ⅱ	2
	物理学a	2
	物理学b	2
	物理学c	2
	物理学d	2
	物理学実験	2
化学	2	

	地球科学	2
	生物科学	2
工学マネジメント	工学倫理	2
	ものづくりマネジメント 技術を活かす経営	2
	知的財産法概論	2
	基礎情報処理 I	1
	基礎情報処理 II	1
	品質管理	2
	確率と統計 I	2
	確率と統計 II	2
	淀川学	淀川と人間
	淀川と環境	1
OITリソース	サイエンス探求演習 (PBL)	1
	宇宙・地球・生命—探究演習 (PBL)	1

### 3 専門科目

#### イ 都市デザイン工学科

	授業科目	単位数
共通領域	都市デザイン工学入門	2
	都市デザイン工学演習 I	●2
	都市デザイン工学演習 II	●2
	プロジェクト演習	●1
	測量学	●2
	測量学実習	●2
	応用測量学	2
	応用測量学実習	2
	基礎製図	2
	CAD/CG演習	■1
	上下水道システム工学	2
	建設行政	2
	技術者論理	●2
	特別講義 I	2
	特別講義 II	2
	建築・都市設計演習	2
	防災・減災工学	2
	デザイン・計画領域	景観工学
景観工学演習		■1
空間情報学		2
空間デザイン学		2
計画学a		●2
計画学a演習		■1
計画学b		2
社会資本計画学		2
交通計画学		2
都市・地域計画		2
構造領域	構造力学a	●2
	構造力学a演習	■1
	構造力学b	●2
	構造力学b演習	■1
	構造力学c	2
	構造力学c演習	■1

	橋梁工学	2
	複合構造学	2
コンクリート・材料領域	建設材料学	●2
	鉄筋コンクリート工学	2
	鉄筋コンクリート工学演習	■1
	コンクリート構造学	2
	プレストレストコンクリート工学	2
	応用コンクリート工学	2
地盤領域	土質力学a	●2
	土質力学a演習	■1
	土質力学b	●2
	土質力学b演習	■1
	地盤防災工学	2
	地盤施工学	2
	道路工学	2
河川・海岸領域	水理学a	●2
	水理学a演習	■1
	水理学b	●2
	水理学b演習	■1
	河川工学	2
	水系保全学	2
	海岸工学	2
建築士関連科目	建築環境工学	2
	建築法規	2
	建築生産	2
	建築設備	2
	建築・都市設計製図Ⅰ	2
	建築・都市設計製図Ⅱ	2

注) 建築士関連科目の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

[卒業に必要な単位数]

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕 . . . . . 20単位

工学の基礎 . . . . . 26単位

都市デザイン工学科の専門科目

必修科目 . . . . . 29単位

選択科目（選択必修科目で6単位を含む） . . . . . 41単位

その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目） . . . . . 8単位

(合計) 124単位

ロ 建築学科

	授業科目	単位数
基幹	静定構造力学演習	●2
	材料力学演習	●2
	設計演習Ⅰ	●3
	設計演習Ⅱ	●3
	設計演習Ⅲ	●3
	建築演習Ⅰ	●2
	建築演習Ⅱ	●2
建築設計・計画	建築計画Ⅰ	■2
	建築計画Ⅱ	■2

	建築計画Ⅲ	■2
	建築計画Ⅳ	■1
	建築計画Ⅴ	■1
	地区設計論	■1
	地区計画論	■1
	都市計画論Ⅰ	1
	都市計画論Ⅱ	1
	ランドスケープデザイン	1
	建築史Ⅰ	■2
	建築史Ⅱ	■2
	建築史Ⅲ	■1
	建築史Ⅳ	■1
	意匠論	1
	建築法規A	■1
	建築法規B	■1
	CAD/CG演習Ⅰ	2
	CAD/CG演習ⅡA	1
	CAD/CG演習ⅡB	1
	CGプレゼンテーション演習Ⅰ	1
	CGプレゼンテーション演習Ⅱ	1
建築環境工学・設備	建築環境工学Ⅰ演習	■2
	建築環境工学Ⅱ演習	■2
	建築環境工学Ⅲ演習	■2
	建築設備Ⅰ	■2
	建築設備ⅡA	■1
	建築設備ⅡB	■1
構造力学・建築一般構造	構造力学アドバンス	2
	不静定構造力学Ⅰ演習	■2
	不静定構造力学Ⅱ	■1
	塑性力学	■1
	建築振動論Ⅰ	1
	建築振動論Ⅱ	1
	鋼構造Ⅰ	■2
	鋼構造Ⅱ	■2
	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	■2
	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	■1
	鉄筋コンクリート構造Ⅲ	■1
	建築基礎構造Ⅰ	■1
	建築基礎構造Ⅱ	■1
	構造計画	2
建築材料・生産	建築材料Ⅰ	■2
	建築材料Ⅱ	■2
	建築施工	■2
	建築経済Ⅰ	■1
	建築経済Ⅱ	■1
共通	設計基礎演習Ⅰ	■2
	設計基礎演習Ⅱ	■2
	建築概論	2
	建築構法	■2
	木構造	■2

	絵画演習	2
	測量学Ⅰ・同演習	1
	測量学Ⅱ・同演習	1
	建築倫理	1
	建築学アドバンスⅠ	1
	建築学アドバンスⅡ	1
	特別講義	1
卒業研究		●4

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕	20単位
工学の基礎	26単位
建築学科の専門科目	
必修科目	17単位
選択科目	53単位
・共通分野で選択必修科目6単位以上を修得していること（ただし、設計基礎演習Ⅰまたは設計基礎演習Ⅱのいずれかを含む）	
・「建築設計・計画分野」で選択必修科目13単位以上を修得していること（ただし、建築法規Aまたは建築法規Bのいずれかを含む）	
・「建築環境工学・設備分野」で選択必修科目6単位以上修得していること（ただし、建築環境工学Ⅰ演習、建築環境工学Ⅱ演習、建築環境工学Ⅲ演習から4単位および建築設備Ⅰ、建築設備ⅡA、建築設備ⅡBから2単位を含む）	
・「構造力学・建築一般構造分野」で選択必修科目10単位以上を修得していること	
・「建築材料・生産分野」で選択必修科目4単位以上を修得していること（ただし、建築材料Ⅰまたは建築材料Ⅱのいずれかを含み、かつ建築施工、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱから2単位を含む）	
・建築計画Ⅳ、建築計画Ⅴ、建築史Ⅲ、建築史Ⅳ、地区設計論、地区計画論、建築設備ⅡA、建築設備ⅡB、鉄筋コンクリート構造Ⅱ、鉄筋コンクリート構造Ⅲ、建築基礎構造Ⅰ、建築基礎構造Ⅱ、建築経済Ⅰ、建築経済Ⅱのうち9単位以上を修得すること	
・別に定める建築士受験資格に係る指定科目から60単位以上を修得していること	
その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	8単位
（合計）	124単位

ハ 機械工学科

	授業科目	単位数
共通	機械基礎ゼミナール	1
	機械工学入門a	2
	機械工学入門b	2
	機械工作実習a	●2
	機械工作実習b	●2
	機械工学実験a	●1
	機械工学実験b	●1
	機械情報工学演習Ⅰ	1
	機械情報工学演習Ⅱ	1
	計算力学	2
	実験計画法	2
	先端技術論	2
	航空・宇宙工学	2
	自動車工学	2

	機械工学演習Ⅰ	1
	機械工学演習Ⅱ	1
	機械工学演習Ⅲ	1
	機械工学演習Ⅳ	1
	エンジニアリングプラクティス	4
	工学コミュニケーション英語応用	2
設計・製作系	製図学	2
	CAD/CAM概論	2
	設計製図Ⅰ	●1
	設計製図Ⅱ	●1
	設計演習a	2
	設計演習b	2
	3次元CAD演習	2
	機械製作法Ⅰ	2
	機械製作法Ⅱ	●2
	機械設計法	●2
	生産システム工学	2
	機械材料	●2
	材料力学・機械力学系	材料力学Ⅰ
材料力学Ⅱ		●2
材料力学Ⅲ		2
材料強度学		2
機械力学Ⅰ		●2
機械力学Ⅱ		●2
振動工学		2
熱・流体系	熱力学	●2
	熱工学	●2
	流れ学	●2
	流体力学	●2
	流体機械	2
	内燃機関	2
計測・制御系	計測と制御Ⅰ	2
	計測と制御Ⅱ	2
	センシング工学	2
	基礎電気回路	2
	メカトロニクス	2
	ロボット工学	2
	システム制御理論	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕 . . . . . 20単位

工学の基礎 . . . . . 26単位

機械工学科の専門科目

必修科目 . . . . . 30単位

選択科目 . . . . . 40単位

その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目） . . . . . 8単位

（合計） . . . . . 124単位

その他の要件

◇発展コース

- ・工学倫理、エンジニアリング探究演習（PBL）、実験計画法、エンジニアリングプラクティス、工学コミュニケーション英語応用、計測と制御Ⅰを修得していること
- ・工学の基礎9単位以上（解析学Ⅱまたは解析学Ⅲから2単位、解析学Ⅱ演習または解析学Ⅲ演習から1単位、線形代数学Ⅰまたは線形代数学Ⅱから2単位、基礎情報処理Ⅰ1単位、基礎情報処理Ⅱ1単位および物理学実験2単位を含む）を修得していること

◇実践コース

エンジニアリング探究演習（PBL）、機械工学演習Ⅰ、機械工学演習Ⅱ、機械工学演習Ⅲ、機械工学演習Ⅳ、3次元CAD演習を修得していること

また、設計演習a、設計演習bのいずれかを修得していること

ニ 電気電子システム工学科

	授業科目	単位数
電気電子基礎	電気電子システム入門	■2
	電磁気学Ⅰ	●2
	電磁気学Ⅱ	●2
	電磁気学Ⅲ	■2
	電磁界理論	2
	電気数学	■2
	基礎電気計測	■2
	計算機プログラミング	■2
	技術者倫理	2
	実験・演習・設計	電気電子システム実験a
電気電子システム実験b		●3
電気電子システム実験c		●3
電気電子システムPBL		2
電機設計／CAD製図		2
電気電子回路	電気回路Ⅰ	●2
	電気回路Ⅱ	●2
	電気回路Ⅲ	■2
	電気回路Ⅳ	■2
	電子回路工学Ⅰ	■2
	電子回路工学Ⅱ	2
	アナログ電子回路	2
	デジタル電子回路	■2
材料・物性・デバイス	電気電子材料	■2
	電子デバイス工学	2
	電子物性論	■2
	LSI工学	2
	センサ工学	2
	プラズマエレクトロニクス	2
	オプトエレクトロニクス	2
エネルギー・電気機器	電力システムⅠ	■2
	電力システムⅡ	2
	エネルギー変換工学	2
	高電圧・パルスパワー工学	2
	電気法規および施設管理	2
	電機システムⅠ	■2
	電機システムⅡ	2
	パワーエレクトロニクス	2
	電気応用	2
システム科学・通信	情報通信工学	2

	ネットワーク工学	2
	アンテナ・伝送工学	2
	電波・通信法規	2
	システム工学	2
	計算機ハードウェア	2
	計算機ソフトウェア	2
	制御工学Ⅰ	■2
	制御工学Ⅱ	2
	ロボット工学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕	20単位
工学の基礎	26単位
電気電子システム工学科の専門科目	
必修科目	17単位
選択科目（選択必修科目で20単位を含む）	53単位
その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	8単位

(合計) 124単位

ホ 電子情報システム工学科

	授業科目	単位数
基幹科目	電子情報システム基礎演習	●1
	電子情報システム実験Ⅰ	●2
	電子情報システム実験Ⅱ	●2
	電子情報システム実験Ⅲ	●2
	エレクトロニクスプラクティス	●2
	電気回路Ⅰ	●2
	電気回路Ⅱ	●2
	電気磁気学Ⅰ	2
	電気磁気学Ⅱ	2
	基礎電子回路Ⅰ	2
	基礎電子回路Ⅱ	2
	固体エレクトロニクスⅠ	2
	コンピュータ基礎	2
	コンピュータアーキテクチャ	2
	情報通信基礎	2
	電気回路Ⅰ演習	1
	電気回路Ⅱ演習	1
	電気磁気学演習	1
	電子回路演習	1
	プログラミング・同演習	3
技術人材育成・資格関連科目	情報社会と倫理	2
	情報と職業	2
	電波・通信法規	2
エレクトロニクス系科目	電気計測	2
	電気磁気学Ⅲ	2
	レーザ工学	2
	光エレクトロニクス	2
	電気回路Ⅲ	2

	アナログ電子回路	2
	デジタル電子回路	2
	電子回路設計	2
	固体エレクトロニクスⅡ	2
	半導体デバイス基礎	2
	半導体デバイス工学	2
	量子エレクトロニクス入門	2
	制御工学	2
情報通信系科目	コンピュータシステム	2
	コンピュータグラフィクス	2
	メディア情報開発	2
	ネットワーク設計	2
	デジタル信号処理	2
	伝送理論	2
	通信方式Ⅰ	2
	通信方式Ⅱ	2
	ネットワーク工学	2
	電磁波工学	2
	無線通信工学	2
	情報理論	2
	映像・音響工学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕	20単位
工学の基礎	26単位
電子情報システム工学科の専門科目	
必修科目	13単位
選択科目	57単位
その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	8単位
（合計）	124単位

その他の要件

◇基幹コース

- ・必修科目を除く基幹科目から23単位を修得していること
- ・解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱを修得していること
- ・線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、微分方程式Ⅰ、応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、物理学実験の6科目のうち6単位以上を修得していること
- ・情報社会と倫理、エンジニアリング探求演習（PBL）を修得していること
- ・情報と職業、電波・通信法規、知的財産法概論、インターンシップ、品質管理の5科目のうち2単位以上を修得していること
- ・キャリアデザインを修得していること
- ・エレクトロニクス系科目から8単位以上を修得していること
- ・情報通信系科目から8単位以上を修得していること

◇実務コース

- ・必修科目を除く基幹科目から12単位を修得していること
- ・キャリアデザイン、情報社会と倫理、情報と職業、電波・通信法規、知的財産法概論、インターンシップ、品質管理の7科目のうち2単位以上を修得していること
- ・エレクトロニクス系科目から8単位以上を修得していること
- ・情報通信系科目から8単位以上を修得していること

～ 応用化学科

	授業科目	単位数
基幹科目	応用化学実験基礎	●2
	応用化学実験A	●2
	応用化学実験B	●2
	応用化学実験C	●2
	基礎化学演習a	●1
	基礎化学演習b	●1
	基礎化学演習c	●1
	応用化学演習a	●1
	応用化学演習b	●1
	応用化学演習c	●1
	化学概論a	●2
	化学概論b	●2
	無機化学Ⅰ	●2
	無機化学Ⅱ	●2
	物理化学Ⅰ	●2
	物理化学Ⅱ	●2
	有機化学Ⅰ	●2
	有機化学Ⅱ	●2
	有機化学Ⅲ	●2
	総合化学系科目	応用化学実験D
化学工学Ⅰ		2
化学工学Ⅱ		2
化学英語		2
応用化学探求		2
情報化学		2
量子化学		2
分子分光光学		2
電気化学		2
危険物取扱法		2
化学安全衛生管理		1
国際研究セミナー		2
国際インターンシップ		2
創成材料化学系科目		有機化学Ⅳ
	有機立体化学	2
	反応有機化学	2
	有機合成化学	2
	無機合成化学	2
	物性化学	2
	錯体・有機金属	2
	基礎高分子科学	2
	高分子化学	2
	高分子物性	2
	固体化学	2
	環境生命化学系科目	分析化学Ⅰ
分析化学Ⅱ		2
分子構造解析Ⅰ		2
分子構造解析Ⅱ		2
環境化学		2
環境計測		2

	資源化学	2
	有機工業化学	2
	生活化学	2
	生命有機化学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕	20単位
工学の基礎	26単位
応用化学科の専門科目	
必修科目	34単位
選択科目	36単位
その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	8単位

(合計) 124単位

ト 環境工学科

	授業科目	単位数
基幹科目	基礎ゼミナール	1
	環境工学入門	2
	環境量論基礎	●2
	環境統計解析	2
	環境基礎化学実験	1
	環境工学演習 I a	●2
	環境工学演習 I b	●2
	環境工学演習 II a	●2
	環境工学演習 II b	●2
	CAD製図・演習	3
	実践環境工学	2
	研究基礎演習	1
	環境倫理	2
	特別講義 I	2
	特別講義 II	2
環境エネルギー分野	エネルギー基礎	■2
	電気設備工学	2
	エネルギー機能材料	2
	移動現象論	2
	エネルギー変換工学	2
	グリーンテクノロジー	2
	空気調和制御・演習	3
	エネルギー有効利用技術	2
自然環境分野	環境化学	■2
	森林生態学	2
	環境分析	2
	大気環境学	2
	環境バイオテクノロジー	2
	水環境学	3
	自然生態系修復	2
	土壌環境学	2
資源循環分野	反応工学	■2
	廃棄物工学	2

	上下水システムⅠ	2
	上下水システムⅡ	2
	水質変換工学	2
	環境土木通論Ⅰ	2
	環境土木通論Ⅱ	2
	バイオマス利活用技術	2
	環境施設設計	2
	公衆衛生リスク通論	2
環境システム分野	環境システム工学	■2
	環境計画	2
	生産マネジメント	2
	地域環境マネジメント	2
	環境評価・経済性工学	2
	数値解析・演習	3
	蓄積・循環管理論	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕	20単位
工学の基礎	26単位
環境工学科の専門科目	
必修科目	10単位
選択科目（選択必修科目で6単位を含む）	60単位
その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	8単位

(合計) 124単位

チ 生命工学科

	授業科目	単位数
基幹科目	生物実験	●2
	化学実験	●2
	医工学実験	●2
	生命工学PBLⅠ	●2
	生命工学PBLⅡ	●2
	生命工学ゼミナール	●2
	生命工学研究ゼミナールⅠ	●2
	生命工学研究ゼミナールⅡ	●2
	キャリアデベロップメント	●2
	工学英語	●2
	生命数学演習	●1
	生命物理演習	●1
	人体生理学Ⅰ	■2
	人体生理学Ⅱ	■2
	生化学Ⅰ	■2
	生化学Ⅱ	■2
	電気工学基礎	■2
	微生物学	■2
	無機化学	■2
	有機化学Ⅰ	■2
	有機化学Ⅱ	■2
	遺伝子工学	2

	公衆衛生学	2
	食品衛生学	2
	食品化学工学	2
	食品加工学	2
	先端技術論	2
	バイオエレクトロニクス	2
	バイオメカニクス	2
	分析化学	2
医工学系	医工学概論	2
	高分子工学	2
	人工臓器	2
	生体システム工学	2
	生体物性工学	2
	生命計測工学	2
	バイオマテリアル	2
	生物化学工学	2
生命科学系	生命科学概論	2
	医薬概論	2
	免疫学	2
	機能性食品学	2
	細胞・組織工学	2
	生物情報工学	2
	生物物理学	2
	タンパク質工学	2

〔卒業に必要な単位数〕

キャリア形成の基礎〔人文社会科学10単位、外国語8単位（英語6単位を含む）、体育2単位を含む〕 . . . . . 20単位

工学の基礎 . . . . . 26単位

・解析学Ⅰ、解析学Ⅰ演習、解析学Ⅱ、解析学Ⅱ演習、解析学Ⅲ、解析学Ⅲ演習、線形代数学Ⅰ、線形代数学Ⅱ、微分方程式Ⅰ、微分方程式Ⅱ、確率と統計Ⅰ、確率と統計Ⅱから2単位以上修得していること

・物理学a、物理学b、物理学c、物理学d、物理学実験から2単位以上修得していること

・基礎情報処理Ⅰ、基礎情報処理Ⅱ、品質管理から1単位以上修得していること

・工学倫理およびキャリアデザインを修得していること

生命工学科の専門科目

必修科目 . . . . . 22単位

選択科目（選択必修科目で14単位を含む） . . . . . 48単位

その他（キャリア形成の基礎、工学の基礎、数理科学と教育、所属学科の専門科目、その他連携科目、他学科の専門科目および他学部の科目） . . . . . 8単位

（合計） 124単位

4 数理科学と教育

イ 都市デザイン工学科

		授業科目	単位数
数理科学 と教育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
現代幾何学		4	
現代解析学		4	

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ロ 建築学科

		授業科目	単位数
数理科学 と教育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
現代幾何学		4	
現代解析学		4	

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ハ 機械工学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
		現代幾何学	4
		現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ニ 電気電子システム工学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
		現代幾何学	4
		現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ホ 電子情報システム工学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	数学教育	現代代数学	4
		数学特論	4
		現代幾何学	4
		現代解析学	4

注) 数学教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

へ 応用化学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	理科教育	教職物理学	4
		地学Ⅰ	2
		地学Ⅱ	2
		地学実験	2
		生物学Ⅰ	2
生物学Ⅱ		2	
生物学実験		2	

注) 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

ト 環境工学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	理科教育	教職物理学	4
		化学実験	2
		地学Ⅰ	2
		地学Ⅱ	2
		地学実験	2
		生物学Ⅰ	2
		生物学Ⅱ	2
生物学実験		2	

注) 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

チ 生命工学科

		授業科目	単位数
数 理 科 学 と 教 育	数学	級数とフーリエ解析	2
		ベクトル解析	2
		線形代数学Ⅲ	2
		線形代数学Ⅳ	2
		複素解析Ⅰ	2
		複素解析Ⅱ	2
		応用数学Ⅰ	2
		応用数学Ⅱ	2
	化学	実践化学	2
	地学	地球システムと人間	2
	生物	環境生物学	2
	人間	人間発達と人権	2
		教育原論	2
		道徳教育	2
	理科教育	教職物理学	4
		地学Ⅰ	2
		地学Ⅱ	2
		地学実験	2
		生物学Ⅰ	2
		生物学Ⅱ	2

注) 理科教育の分野に区分した授業科目の単位は、卒業に必要な単位数には含めない。

5 その他連携科目

	授業科目	単位数
その他連携科目	キャリアデザイン	1
	キャリア形成支援	1
	インターンシップ	2
	グローバルテクノロジー論a	1
	グローバルテクノロジー論b	1
	OIT概論	1

6 教職課程（教科及び教職に関する科目）

イ 教科及び教科の指導法に関する科目

免許教科	授業科目	単位数	対象学科
数学	線形代数学Ⅰ	●2	都市デザイン工学科
	線形代数学Ⅱ	●2	
	線形代数学Ⅲ	2	
	線形代数学Ⅳ	2	
	現代代数学	■4	
	数学特論	4	
	複素解析Ⅰ	●2	
	複素解析Ⅱ	2	
	ベクトル解析	2	
	現代幾何学	■4	
	解析学Ⅰ	2	
	解析学Ⅰ演習	1	
	解析学Ⅱ	●2	
	解析学Ⅱ演習	●1	
	解析学Ⅲ	●2	
	解析学Ⅲ演習	●1	
	級数とフーリエ解析	2	
	応用数学Ⅰ	2	
	応用数学Ⅱ	2	
	微分方程式Ⅰ	2	
	微分方程式Ⅱ	2	
	現代解析学	■4	
	確率と統計Ⅰ	■2	
	確率と統計Ⅱ	■2	
	基礎情報処理Ⅰ	●1	
	基礎情報処理Ⅱ	●1	
	CAD/CG演習	1	
	数学科教育法a	●2	
	数学科教育法b	●2	
	数学科教育法c	2	
	数学科教育法d	2	
	線形代数学Ⅰ	●2	建築学科
	線形代数学Ⅱ	●2	
線形代数学Ⅲ	2		
線形代数学Ⅳ	2		
現代代数学	■4		
数学特論	4		
複素解析Ⅰ	●2		
複素解析Ⅱ	2		

ベクトル解析	2	
現代幾何学	■4	
解析学 I	2	
解析学 I 演習	1	
解析学 II	●2	
解析学 II 演習	●1	
解析学 III	●2	
解析学 III 演習	●1	
級数とフーリエ解析	2	
微分方程式 I	2	
微分方程式 II	2	
現代解析学	■4	
確率と統計 I	■2	
確率と統計 II	■2	
基礎情報処理 I	●1	
基礎情報処理 II	●1	
CAD/CG演習 I	2	
CAD/CG演習 II A	1	
CAD/CG演習 II B	1	
CGプレゼンテーション演習 I	1	
CGプレゼンテーション演習 II	1	
数学科教育法a	●2	
数学科教育法b	●2	
数学科教育法c	2	
数学科教育法d	2	
線形代数学 I	●2	機械工学科
線形代数学 II	●2	
線形代数学 III	2	
線形代数学 IV	2	
現代代数学	■4	
数学特論	4	
複素解析 I	●2	
複素解析 II	2	
ベクトル解析	2	
現代幾何学	■4	
解析学 I	2	
解析学 I 演習	1	
解析学 II	●2	
解析学 II 演習	●1	
解析学 III	●2	
解析学 III 演習	●1	
級数とフーリエ解析	2	
応用数学 I	2	
応用数学 II	2	
微分方程式 I	2	
微分方程式 II	2	
現代解析学	■4	
確率と統計 I	■2	
確率と統計 II	■2	
基礎情報処理 I	●1	

基礎情報処理 II	●1	電気電子システム工学科
CAD/CAM概論	2	
数学科教育法a	●2	
数学科教育法b	●2	
数学科教育法c	2	
数学科教育法d	2	
線形代数学 I	●2	
線形代数学 II	●2	
線形代数学 III	2	
線形代数学 IV	2	
現代代数学	■4	
数学特論	4	
複素解析 I	●2	
複素解析 II	2	
ベクトル解析	2	
現代幾何学	■4	
解析学 I	2	
解析学 I 演習	1	
解析学 II	●2	
解析学 II 演習	●1	
解析学 III	●2	
解析学 III 演習	●1	
級数とフーリエ解析	2	
微分方程式 I	2	
微分方程式 II	2	
応用数学 I	2	
応用数学 II	2	
電気数学	2	
現代解析学	■4	
確率と統計 I	■2	
確率と統計 II	■2	
基礎情報処理 I	●1	
基礎情報処理 II	●1	
計算機プログラミング	2	
計算機ハードウェア	2	
計算機ソフトウェア	2	
数学科教育法a	●2	
数学科教育法b	●2	
数学科教育法c	2	
数学科教育法d	2	
線形代数学 I	●2	電子情報システム工学科
線形代数学 II	●2	
線形代数学 III	2	
線形代数学 IV	2	
現代代数学	■4	
数学特論	4	
複素解析 I	●2	
複素解析 II	2	
ベクトル解析	2	
現代幾何学	■4	

	解析学 I	2	
	解析学 I 演習	1	
	解析学 II	●2	
	解析学 II 演習	●1	
	解析学 III	●2	
	解析学 III 演習	●1	
	級数とフーリエ解析	2	
	応用数学 I	2	
	応用数学 II	2	
	微分方程式 I	2	
	微分方程式 II	2	
	現代解析学	■4	
	確率と統計 I	■2	
	確率と統計 II	■2	
	基礎情報処理 I	1	
	基礎情報処理 II	1	
	数学科教育法a	●2	
	数学科教育法b	●2	
	数学科教育法c	2	
	数学科教育法d	2	
理科	物理学a	2	応用化学科
	物理学b	2	
	教職物理学	●4	
	物理学c	2	
	物理学d	2	
	有機化学 III	●2	
	無機化学 I	●2	
	化学	●2	
	実践化学	2	
	生物学 I	●2	
	生物学 II	●2	
	生物科学	2	
	環境生物学	2	
	地学 I	●2	
	地学 II	●2	
	地球科学	2	
	地球システムと人間	2	
	物理学実験	2	
	応用化学実験A	●2	
	応用化学実験B	●2	
	生物学実験	2	
	地学実験	2	
	理科教育法a	●2	
	理科教育法b	●2	
	理科教育法c	2	
	理科教育法d	2	
	物理学a	2	環境工学科
	物理学b	2	
	教職物理学	●4	
	物理学c	2	

物理学d	2	
環境分析	2	
環境化学	2	
化学	●2	
実践化学	2	
自然生態系修復	2	
森林生態学	2	
生物学 I	●2	
生物学 II	●2	
生物科学	2	
環境生物学	2	
地学 I	●2	
地学 II	●2	
地球科学	2	
地球システムと人間	2	
物理学実験	2	
化学実験	●2	
生物学実験	2	
地学実験	2	
理科教育法a	●2	
理科教育法b	●2	
理科教育法c	2	
理科教育法d	2	
生物物理学	2	生命工学科
物理学a	2	
物理学b	2	
教職物理学	●4	
物理学c	2	
物理学d	2	
生命物理演習	1	
無機化学	●2	
有機化学 I	●2	
有機化学 II	2	
分析化学	2	
化学	2	
実践化学	2	
人体生理学 I	2	
人体生理学 II	2	
生物学 I	●2	
生物学 II	●2	
生物科学	2	
環境生物学	2	
地学 I	●2	
地学 II	●2	
地球科学	2	
地球システムと人間	2	
物理学実験	2	
化学実験	●2	
生物実験	●2	
地学実験	2	

	理科教育法a	●2	
	理科教育法b	●2	
	理科教育法c	2	
	理科教育法d	2	
工業	工業概論	●2	都市デザイン工学科
	工業概論	●2	建築学科
	工業概論	●2	機械工学科
	工業概論	●2	電気電子システム工学科
	工業概論	●2	電子情報システム工学科
	工業概論	●2	応用化学科
	工業概論	●2	環境工学科
	工業概論	●2	生命工学科
	職業指導A	●2	全学科
	職業指導B	●2	
	工業科教育法a	●2	
	工業科教育法b	●2	
情報	情報社会と倫理	●2	電子情報システム工学科
	コンピュータ基礎	●2	
	デジタル信号処理	●2	
	デジタル電子回路	2	
	コンピュータアーキテクチャ	●2	
	情報理論	2	
	プログラミング・同演習	3	
	コンピュータシステム	●2	
	エレクトロニクスプラクティス	●2	
	情報通信基礎	●2	
	ネットワーク工学	●2	
	ネットワーク設計	2	
	コンピュータグラフィクス	●2	
	電子回路設計	2	
	メディア情報開発	●2	
	映像・音響工学	2	
	情報と職業	●2	
	情報科教育法a	●2	
情報科教育法b	●2		

ロ 教育の基礎的理解に関する科目

授業科目	単位数
教育原論	●2
教職入門	●2
教育行政	●2
教育心理学	●2
特別支援教育	●2
教育課程論	●2

ハ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

授業科目	単位数
道徳教育	2
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	●2
教育方法論	●2

生徒指導と進路指導	●2
教育相談	●2

## ニ 教育実践に関する科目

授業科目	単位数
中学校教育実習	5
高等学校教育実習	3
教職実践演習（中・高）	●2

## ホ 大学が独自に設定する科目

授業科目	単位数
人間発達と人権	●2
道徳教育	2
福祉教育概論	2

〔要件〕

- 1 各教科の教育法は、中学校教諭一種免許状（以下「中一種免」という）では8単位、高等学校教諭一種免許状（以下「高一種免」という）では4単位以上（各教育法a・bを含む）を修得しなければならない。
- 2 中一種免を取得しようとする者は、「道徳教育」および「福祉教育概論」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。なお、高一種免を取得しようとする者が「道徳教育」を修得した場合は、その単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位とする。
- 3 教育実習は、中一種免については「中学校教育実習」、高一種免については「高等学校教育実習」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。各教育実習には事前および事後指導の1単位を含む。

## II ロボティクス&デザイン工学部

### 1 共通教養科目（全学科共通）

区分	授業科目	単位数	
共通教養科目	人文社会科学	文章表現基礎Ⅰa	1
		文章表現基礎Ⅰb	1
		文章表現基礎Ⅱa	1
		文章表現基礎Ⅱb	1
		哲学	1
		倫理学	1
		美術史	1
		日本語の歴史	1
		憲法a	1
		憲法b	1
		経済学	1
		歴史学	1
		心理学	1
		※日本の文化と社会	1
		人文社会特殊講義	2
		体育	健康体育Ⅰ
健康体育Ⅱ	1		
外国語	プラクティカル・イングリッシュa	1	
	プラクティカル・イングリッシュb	1	
	アカデミック・イングリッシュa	1	
	アカデミック・イングリッシュb	1	
	オーラル・イングリッシュa	1	
	オーラル・イングリッシュb	1	

		ベーシック・プレゼンテーション	1	
		ビジネス・イングリッシュa	1	
		ビジネス・イングリッシュb	1	
		アカデミック・プレゼンテーション	1	
		プロフェッショナル・イングリッシュ	1	
		海外語学研修	2	
		※日本語 I a	1	
		※日本語 I b	1	
		※日本語 II a	1	
		※日本語 II b	1	
		キャリア形成	キャリアデザイン	1
			インターンシップ	2

注) 授業科目名の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

## 2 工学関連科目 (全学科共通)

区分		授業科目	単位数
工学関連科目	数理科目	解析学 I	2
		解析学 II	2
		解析学 III	2
		線形代数学 I	2
		線形代数学 II	2
		確率・統計学	2
		物理数学 I	2
		物理数学 II	2
		物理学 I	2
		物理学 II	2
		物理学実験	2
	工学マネジメント科目	工学倫理	2
		知的財産法概論	2
ものづくりマネジメント (技術を生かす経営)		2	

## 3 その他連携科目 (全学科共通)

区分	授業科目	単位数
その他連携科目	グローバルテクノロジー論a	1
	グローバルテクノロジー論b	1
	OIT概論	1

## 4 専門横断科目

### イ ロボット工学科

区分		授業科目	単位数
専門横断科目	デザイン思考関連科目	デザイン思考工学概論	2
		デザイン思考実践演習	●1
		ものづくりデザイン演習	2
		ものづくりデザイン思考実践演習 I	●2
		ものづくりデザイン思考実践演習 II	●1
	計算機技術演習科目	基礎情報処理	1
		プログラミング演習 I	●1
		プログラミング演習 II	1
		プログラミング演習 III	1
		プログラミング演習 IV	1
	プログラミング特別演習	●1	

ロ システムデザイン工学科

区分		授業科目	単位数
専門横断科目	デザイン思考関連科目	デザイン思考工学概論	2
		デザイン思考実践演習	●1
		ものづくりデザイン演習	2
		ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ	●2
		ものづくりデザイン思考実践演習Ⅱ	●1
	計算機技術演習科目	基礎情報処理	1
		プログラミング演習Ⅰ	●1
		プログラミング演習Ⅱ	1
		プログラミング演習Ⅲ	1
		プログラミング演習Ⅳ	1
	プログラミング特別演習	●1	

ハ 空間デザイン学科

区分		授業科目	単位数
専門横断科目	デザイン思考関連科目	デザイン思考工学概論	2
		デザイン思考実践演習	●1
		ものづくりデザイン演習	2
		ものづくりデザイン思考実践演習Ⅰ	●2
		ものづくりデザイン思考実践演習Ⅱ	●1
	計算機技術演習科目	基礎情報処理	1
		プログラミング演習Ⅰ	●1
		プログラミング演習Ⅱ	1
		プログラミング演習Ⅲ	1
		プログラミング演習Ⅳ	1
	プログラミング特別演習	●1	

5 専門科目

イ ロボット工学科

区分		授業科目	単位数
専門科目	機電系科目	計測工学	2
		材料力学	●2
		センサ工学	2
		電気回路Ⅰ	●2
		電気回路Ⅱ	2
		電磁気学	2
		デジタル電子回路	2
		基礎機械力学	2
		アナログ電子回路	2
		システム系科目	形式言語とオートマトン
	離散数学		2
	計算機アーキテクチャ		2
	制御工学Ⅰ		●2
	制御工学Ⅱ		2
	信号処理		2
	メカトロニクス		2
	統計解析		2
	画像工学		2
	数値計算法		2

	実験・演習科目	システム工学	2
		ヒューマンインタフェース	2
		ラピッドプロトタイピング	2
		ロボット工学実験Ⅰa	●1
		ロボット工学実験Ⅰb	●1
		ロボット工学実験Ⅱa	●1
		ロボット工学実験Ⅱb	●1
		電気CAD演習	1
		機械CAD演習	1
	メカトロニクス系科目	機械材料	2
		図学	2
		設計製図	2
		構造力学	2
		機構学	●2
		パワーエレクトロニクス	2
		現代制御理論	2
		機械力学	●2
		振動工学	2
		アクチュエータ工学	2
		モーションコントロール	2
卒業研究	卒業研究	●4	

〔卒業に必要な単位数〕

共通教養科目〔外国語8単位含む〕	20単位
工学関連科目	18単位
専門横断科目および専門科目	76単位
必修科目	24単位
選択科目	52単位
その他（共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	10単位

(合計) 124単位

ロ システムデザイン工学科

区分	授業科目	単位数	
専門科目	機電系科目	計測工学	2
		材料力学	2
		センサ工学	2
		電気回路Ⅰ	●2
		電気回路Ⅱ	2
		電磁気学	2
		デジタル電子回路	●2
		基礎機械力学	2
		アナログ電子回路	2
	システム系科目	形式言語とオートマトン	2
		離散数学	●2
		計算機アーキテクチャ	2
		制御工学Ⅰ	●2
		制御工学Ⅱ	2
	信号処理	2	
	メカトロニクス	2	
	統計解析	2	

		画像工学	2
		数値計算法	2
		システム工学	2
		ヒューマンインタフェース	2
		ラピッドプロトタイピング	2
	実験・演習科目	システムデザイン工学実験 I a	●1
		システムデザイン工学実験 I b	●1
		システムデザイン工学実験 II a	●1
		システムデザイン工学実験 II b	●1
		電気CAD演習	1
		機械CAD演習	1
	IoTものづくり系科目	データ構造とアルゴリズム	●2
		オブジェクト指向プログラミング	2
		ソフトウェア設計	2
		組み込みシステム	2
		人工知能概論	2
		クラウドコンピューティング	2
		映像・音響工学	2
		マルチモーダル対話システム	2
		現代デザイン史	2
デザイン工学概論		2	
ユーザビリティエンジニアリング		2	
卒業研究	卒業研究	●4	

〔卒業に必要な単位数〕

共通教養科目〔外国語8単位含む〕	20単位
工学関連科目	18単位
専門横断科目および専門科目	76単位
必修科目	24単位
選択科目	52単位
その他（共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	10単位

(合計)

124単位

#### ハ 空間デザイン学科

区分	授業科目	単位数
専門科目	デザイン共通科目	
	設計製図演習	●2
	造形演習A	2
	造形演習B	2
	CG基礎演習	2
	CAD演習 I	2
	CAD演習 II	2
	総合デザイン演習	●2
	色彩計画	2
	インテリアデザイン計画	2
	知の技法	2
	造形力学 I・同演習	3
	造形力学 II・同演習	3
	構造デザイン	2
	構造材料・構造実験	2
デザイン論 I	●2	

		デザイン論Ⅱ	●2
		デザイン論Ⅲ	2
		空間デザイン論	●2
		文化テクノロジー論	2
	空間デザイン系科目	空間デザイン基礎演習	■2
		空間デザイン演習Ⅰ	■2
		空間デザイン演習Ⅱ	■2
		空間デザイン演習Ⅲ	■1
		空間デザイン演習Ⅳ	■2
		建築計画Ⅰ	2
		建築計画Ⅱ	2
		都市環境デザイン	2
		日本建築史	2
		西洋建築史	2
		近代建築史	2
		建築構造学	2
		建築環境工学Ⅰ	2
		建築環境工学Ⅱ	2
		建築法規	2
		建築施工	2
		建築材料	2
		建築設備	2
		建築設計方法論	2
	プロダクトデザイン系科目	プロダクトデザイン基礎演習	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	■2
		プロダクトデザイン演習Ⅲ	■1
		プロダクトデザイン演習Ⅳ	■2
		プロダクト材料工学	2
		コミュニケーションデザイン論	2
		コンテンツ応用論	2
		情報デザイン論	2
		デザインマネジメント	2
		製品プロデュース論	2
		ユーザビリティ工学	2
		人間工学	2
		デザイン史	2
	卒業研究	卒業研究	●4

〔卒業に必要な単位数〕

共通教養科目〔外国語8単位含む〕	20単位
工学関連科目	18単位
専門横断科目および専門科目	76単位
必修科目	20単位
選択必修科目	9単位
選択科目	47単位
その他（共通教養科目、工学関連科目、その他連携科目、所属学科の専門横断科目および専門科目、他学科の専門科目および他学部の科目）	10単位

（合計）

124単位

6 教職課程（教科及び教職に関する科目）

イ 教科及び教科の指導法に関する科目

免許教科	授業科目	単位数	対象学科
工業	工業概論	●2	ロボット工学科
	工業概論	●2	システムデザイン工学科
	工業概論	●2	空間デザイン学科
	職業指導A	●2	全学科
	職業指導B	●2	
	工業科教育法a	●2	
	工業科教育法b	●2	

ロ 教育の基礎的理解に関する科目

授業科目	単位数
教育原論	●2
教職入門	●2
教育行政	●2
教育心理学	●2
特別支援教育	●2
教育課程論	●2

ハ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

授業科目	単位数
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	●2
教育方法論	●2
生徒指導と進路指導	●2
教育相談	●2

ニ 教育実践に関する科目

授業科目	単位数
高等学校教育実習	●3
教職実践演習（中・高）	●2

ホ 大学が独自に設定する科目

授業科目	単位数
人間発達と人権	●2
道徳教育	2

注 「高等学校教育実習」には事前および事後指導の1単位を含む。

III 情報科学部

1 共通科目（各学科共通）

区分	授業科目	単位数	
総合人間学系	人文社会科学	哲学基礎	■2
		社会学基礎	2
		情報社会論	■2
		倫理学基礎	2
		応用倫理学	■2
		日本の歴史	2
		人類の歴史	■2
		文学基礎	■2
		観る文学	2

		言語学基礎	2	
		日本国憲法	2	
		法学基礎	2	
		情報法学	■2	
		経済学基礎	■2	
		現代経済論	2	
		心理学基礎	2	
		人間発達と人権	2	
	外国語	英語表現 (basic 1) a	1	
		英語表現 (basic 1) b	1	
		英語の語法	2	
		口語英語 I a	1	
		口語英語 I b	1	
		英語による情報技術 II	2	
		英語表現 (basic 2) a	1	
		英語表現 (basic 2) b	1	
		口語英語 II a	1	
		口語英語 II b	1	
		英語による情報技術 I a	1	
		英語による情報技術 I b	1	
		英語演習	1	
		海外語学研修	2	
		※日本語 I	2	
		※日本語 II	2	
		健康・スポーツ科学	基礎スポーツ科学a	1
			基礎スポーツ科学b	1
	健康科学		2	
	スポーツ科学実習		1	
	総合理学系	科学技術史	科学史	2
		物理	物理学基礎	■2
			物理現象の数理	2
			力学	2
電磁気学			2	
現代物理学入門			■2	
化学		化学基礎	2	
		環境情報科学	2	
地学		地球科学基礎	2	
		地球環境	■2	
生物		生命科学基礎	2	
		情報生命科学	■2	
総合		視る自然科学	2	

注) 授業科目名の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

## 2 キャリア科目 (各学科共通)

区分	授業科目	単位数
キャリア科目	基礎ゼミナール	1
	キャリアステップ	1
	キャリアデザイン I	1
	キャリアデザイン II	1
	グローバルテクノロジー論	1
	OIT概論	1

### 3 専門科目

#### イ データサイエンス学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	●2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	●2
	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	2
	数理計画法	2
	確率・統計	●2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	2
	プログラミング基礎	2
	テクニカルライティング	●2
	情報処理基礎	2
	コンピュータリテラシー	2
	データサイエンス入門	●2
	データ構造とアルゴリズム	■2
	実験計画法	2
	統計解析	●2
	多変量解析	2
	IoT概論	■2
	教育心理学	2
	基幹科目	データベースシステム
オペレーションズ・リサーチ		2
情報技術者論		●2
情報ゼミナール		●2
システム工学		2
情報セキュリティの基礎		2
経営システム論Ⅰ		●2
データマイニング		■2
テキストマイニング		1
ビジュアルプログラミング論		2
ソフトウェア工学		■2
人工知能		2
パターン認識		2
機械学習		●2
発想法と問題解決		1
応用科目		モデリングとシミュレーション
	経営システム論Ⅱ	2
	情報科学実践演習（国際PBL）	1
	マーケティング論	■2
	数理ファイナンス	■2
	ロジスティクス	2
	企業会計論	2
	教育工学	■2
	教育方法論	2
	情報科教育法a	2
	工業経営論	■2

	投資意思決定論	2
	経営戦略論	2
演習科目	C演習 I	●3
	C演習 II	■3
	J a v a 演習	■3
	データサイエンス実践演習 I	●2
	データサイエンス実践演習 II	●2
	データサイエンス実践演習 III	■2
	価値創造演習	■2

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目（人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位を含む）

・・ 36単位

キャリア科目・・ 2単位

データサイエンス学科の専門科目 必修科目・・ 29単位

選択科目（選択必修科目12単位を含む）・・ 57単位

(合計) 124単位

ロ 情報知能学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学 I	■2
	線形数学 II	2
	微積分学 I	■2
	微積分学 II	2
	情報数学	■2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	確率・統計	■2
専門基礎	コンピュータ入門	●2
	情報通信ネットワーク	■2
	プログラミング基礎	2
	テクニカルライティング	●2
	デジタル回路	●2
	情報処理基礎	2
	プログラミング入門	2
	データ構造とアルゴリズム I	■2
	アセンブリ言語	●2
	ソフトウェア工学 I	■2
	組み込みシステム基礎	●2
	コンピュータリテラシー	2
	基幹科目	オートマトンと形式言語
計算機アーキテクチャ		●2
プロセッサ設計		■2
集積回路工学		■2
データ構造とアルゴリズム II		2
システムプログラム		2
オペレーティングシステム		●2
プログラミング言語論		■2
データベースシステム		■2
ソフトウェア工学 II		■2

	Unixプログラミング	2
	情報技術者論	●2
	情報ゼミナール	●2
	インターフェース・センサ回路	2
	情報セキュリティの基礎	■2
応用科目	知能制御工学基礎	2
	集積回路設計	2
	画像処理	2
	信号処理	2
	コンピュータグラフィックス I	2
	知能情報処理	2
	知能制御工学	2
	情報科学実践演習（国際PBL）	1
演習科目	C演習 I	●3
	C演習 II	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	情報科学演習 I	●2
	情報科学演習 II	●2
	情報科学演習 III	●2
	知能制御工学演習	1
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目（人文社会科学（コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む）12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系（コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目6単位を含む）12単位以上を含む）

（人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要）・・・・・・・・・・ 36単位

キャリア科目・・ 2単位

情報知能学科の専門科目

必修科目・・ 27単位

選択科目（選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59単位

（合計） 124単位

#### ハ 情報システム学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学 I	■2
	線形数学 II	2
	微積分学 I	■2
	微積分学 II	2
	情報数学	■2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	数理計画法	2
	確率・統計	■2
	専門基礎	コンピュータ入門
情報通信ネットワーク		■2
プログラミング基礎		2
オートマトンと形式言語		■2

	テクニカルライティング	●2
	デジタル回路	2
	情報処理基礎	2
	計算機アーキテクチャ	●2
	データ構造とアルゴリズム I	■2
	システムプログラム	2
	オペレーティングシステム	●2
	アセンブリ言語	2
	コンピュータリテラシー	2
	Unixシステム入門	2
基幹科目	データ構造とアルゴリズム II	2
	プログラミング言語論	■2
	データベースシステム	●2
	ソフトウェア工学 I	●2
	ソフトウェア工学 II	■2
	ヒューマンインタフェース	2
	ネットワーク設計	■2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	情報技術者論	●2
	情報システムの計画策定	■2
	情報ゼミナール	●2
	システム工学	■2
	情報セキュリティの基礎	■2
	経営システム論 I	2
応用科目	情報検索	2
	人工知能	2
	コンピュータグラフィックス I	2
	構造化文書処理	2
	高信頼システム	2
	モデリングとシミュレーション	2
	Webサービス論	2
	経営システム論 II	2
	情報システム学特別講義	2
	情報科学実践演習 (国際PBL)	1
演習科目	C演習 I	●3
	C演習 II	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	情報システム基礎演習	●2
	情報システム専門演習	●2
	情報システム応用演習	■2
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目 (人文社会科学 (コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む) 12単位  
以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系 (コンピュータ・サイエ  
ンスコースは選択必修科目6単位を含む) 12単位以上を含む)

(人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要) . . . . . 36単位

キャリア科目 . . . . . 2単位

情報システム学科の専門科目

必修科目 . . . . . 23単位

選択科目（選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63単位

(合計)

124単位

ニ 情報メディア学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学Ⅰ	■2
	線形数学Ⅱ	2
	微積分学Ⅰ	■2
	微積分学Ⅱ	2
	情報数学	■2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	数理計画法	2
	確率・統計	■2
	専門基礎	コンピュータ入門
情報通信ネットワーク		■2
オートマトンと形式言語		■2
テクニカルライティング		●2
デジタル回路		2
情報処理基礎		2
プログラミング入門		2
計算機アーキテクチャ		●2
情報セキュリティの基礎		■2
データ構造とアルゴリズムⅠ		■2
データ構造とアルゴリズムⅡ		2
システムプログラム		2
オペレーティングシステム		●2
プログラミング言語論		■2
アセンブリ言語		2
データベースシステム		■2
ソフトウェア工学Ⅰ		■2
ソフトウェア工学Ⅱ		■2
コンピュータリテラシー		2
基幹科目		メディアデータ論
	コンピュータグラフィックスⅠ	■2
	人間情報学	2
	ヒューマンインタフェース	2
	画像情報処理Ⅰ	■2
	音響処理	■2
	感性情報処理	2
	色彩学	2
	情報技術者論	●2
	情報ゼミナール	●2
応用科目	コンピュータグラフィックスⅡ	2
	構造化文書処理	2
	画像情報処理Ⅱ	2
	CAD	2
	音声情報処理	2
	メディアインタフェース	2

	Webデザイン	2
	情報科学実践演習（国際PBL）	1
演習科目	アニメーション演習	1
	情報メディア入門	●1
	C演習 I	●3
	C演習 II	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	情報メディア演習 I	●2
	情報メディア演習 II	●2
	情報メディア演習 III	●2
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目（人文社会科学（コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む）12単位  
以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系（コンピュータ・サイエ  
ンスコースは選択必修科目6単位を含む）12単位以上を含む）

（人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要）・・・・・・・・・・ 36単位

キャリア科目・・ 2単位

情報メディア学科の専門科目

必修科目・・ 22単位

選択科目（選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは  
41単位を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64単位

（合計） 124単位

ホ ネットワークデザイン学科

区分	授業科目	単位数
数理科学	線形数学 I	■2
	線形数学 II	2
	微積分学 I	■2
	微積分学 II	2
	情報数学	■2
	微分方程式	2
	グラフ理論	■2
	数理計画法	2
	確率・統計	■2
	専門基礎	コンピュータ入門
情報通信ネットワーク		●2
テクニカルライティング		●2
デジタル回路		2
情報処理基礎		2
計算機アーキテクチャ		●2
データ構造とアルゴリズム I		■2
オペレーティングシステム		●2
Unix入門		1
データベースシステム		■2
ソフトウェア工学 I		■2
ネットワークデザイン入門		●1
通信理論		■2
コンピュータリテラシー		2
デジタル信号処理		2

	プログラミングリテラシー（入門）	1
	プログラミングリテラシー（読解）	1
	情報セキュリティの基礎	■2
基幹科目	Webサイト制作	2
	モバイルコミュニケーション	2
	ネットワーク設計	■2
	サーバ構築管理	2
	ネットワークアプリケーション	■2
	情報技術者論	●2
	情報ゼミナール	●2
	情報セキュリティの応用	2
応用科目	オートマトンと形式言語	■2
	データ構造とアルゴリズムⅡ	2
	システムプログラム	2
	プログラミング言語論	■2
	ソフトウェア工学Ⅱ	■2
	構造化文書処理	2
	ヒューマンインタフェース	2
	メディア通信概論	2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	モデリングとシミュレーション	2
	情報科学実践演習（国際PBL）	1
演習科目	C演習Ⅰ	●3
	C演習Ⅱ	■3
	Java演習	■3
	ソフトウェア工学演習	■2
	ネットワークデザイン基礎演習	●2
	ネットワークデザイン専門演習	●2
	ネットワーク・セキュリティ演習	2
	CSプロジェクト演習	■1

〔卒業に必要な単位数〕

共通科目（人文社会科学（コンピュータ・サイエンスコースは選択必修科目8単位を含む）12単位  
以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系（コンピュータ・サイエ  
ンスコースは選択必修科目6単位を含む）12単位以上を含む）

（人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要）・・・・・・・・・・ 36単位

キャリア科目・・ 2単位

ネットワークデザイン学科の専門科目

必修科目・・ 22単位

選択科目（選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは  
39単位を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64単位

（合計） 124単位

4 教職課程（教科及び教職に関する科目）

イ 教科及び教科の指導法に関する科目

(1) データサイエンス学科

免許教科	授業科目	単位数
数学	情報数学	●2
	数理計画法	2
	データ構造とアルゴリズム	2
	線形数学Ⅰ	●2

	線形数学Ⅱ	●2
	グラフ理論	2
	微積分学Ⅰ	●2
	微積分学Ⅱ	●2
	微分方程式	2
	確率・統計	●2
	統計解析	2
	多変量解析	2
	実験計画法	2
	コンピュータリテラシー	●2
	プログラミング基礎	2
	システム工学	2
	機械学習	2
	モデリングとシミュレーション	2
	人工知能	2
	数学科教育法a	●2
	数学科教育法b	●2
	数学科教育法c	2
	数学科教育法d	2
情報	応用倫理学	2
	情報社会論	●2
	情報法学	2
	経営システム論Ⅱ	2
	コンピュータ入門	●2
	C演習Ⅰ	●3
	Java演習	3
	C演習Ⅱ	3
	データサイエンス実践演習Ⅱ	2
	データベースシステム	2
	ソフトウェア工学	●2
	教育工学	2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	データサイエンス実践演習Ⅲ	2
	情報通信ネットワーク	●2
	情報セキュリティの基礎	2
	ビジュアルプログラミング論	●2
	パターン認識	2
	データマイニング	2
	テキストマイニング	1
	情報技術者論	●2
	情報科教育法a	●2
	情報科教育法b	●2

(2) 情報知能学科

免許教科	授業科目	単位数
数学	情報数学	●2
	データ構造とアルゴリズムⅠ	2
	データ構造とアルゴリズムⅡ	2
	線形数学Ⅰ	●2
	線形数学Ⅱ	●2
	グラフ理論	2

	微積分学Ⅰ	●2
	微積分学Ⅱ	●2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	確率・統計	●2
	コンピュータ入門	●2
	プログラミング基礎	2
	オートマトンと形式言語	2
	インターフェース・センサ回路	2
	プログラミング入門	2
	Unixプログラミング	2
	プログラミング言語論	2
	数学科教育法a	●2
	数学科教育法b	●2
	数学科教育法c	2
	数学科教育法d	2
情報	応用倫理学	2
	情報社会論	●2
	情報法学	2
	デジタル回路	●2
	計算機アーキテクチャ	●2
	プロセッサ設計	2
	集積回路工学	2
	集積回路設計	2
	システムプログラム	●2
	オペレーティングシステム	2
	アセンブリ言語	2
	知能制御工学	2
	知能制御工学基礎	2
	コンピュータリテラシー	2
	C演習Ⅰ	3
	Java演習	3
	C演習Ⅱ	●3
	ソフトウェア工学演習	2
	知能制御工学演習	1
	データベースシステム	●2
	ソフトウェア工学Ⅰ	●2
	ソフトウェア工学Ⅱ	2
	組み込みシステム基礎	2
	情報通信ネットワーク	●2
	情報セキュリティの基礎	2
	信号処理	2
	コンピュータグラフィックスⅠ	●2
	画像処理	●2
	情報科学演習Ⅰ	●2
	情報科学演習Ⅱ	2
	情報技術者論	●2
	情報科教育法a	●2
	情報科教育法b	●2

## (3) 情報システム学科

免許教科	授業科目	単位数
数学	情報数学	●2
	数理計画法	2
	データ構造とアルゴリズム I	2
	データ構造とアルゴリズム II	2
	線形数学 I	●2
	線形数学 II	●2
	グラフ理論	2
	微積分学 I	●2
	微積分学 II	●2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	確率・統計	●2
	コンピュータ入門	●2
	プログラミング基礎	2
	オートマトンと形式言語	2
	Unixシステム入門	2
	プログラミング言語論	2
	人工知能	2
	モデリングとシミュレーション	2
	システム工学	2
	数学科教育法a	●2
	数学科教育法b	●2
	数学科教育法c	2
	数学科教育法d	2
情報	応用倫理学	2
	情報社会論	●2
	情報法学	2
	経営システム論 II	2
	デジタル回路	●2
	計算機アーキテクチャ	●2
	システムプログラム	●2
	オペレーティングシステム	2
	アセンブリ言語	2
	コンピュータリテラシー	2
	C演習 I	3
	Java演習	3
	C演習 II	●3
	ソフトウェア工学演習	2
	データベースシステム	●2
	情報検索	2
	ソフトウェア工学 I	●2
	ソフトウェア工学 II	2
	オペレーションズ・リサーチ	2
	高信頼システム	2
	情報システムの計画策定	2
	情報システム専門演習	2
	情報通信ネットワーク	●2
	情報セキュリティの基礎	2
	ネットワーク設計	2

	情報システム基礎演習	●2
	構造化文書処理	2
	コンピュータグラフィックス I	●2
	ヒューマンインタフェース	●2
	情報技術者論	●2
	情報科教育法a	●2
	情報科教育法b	●2

(4) 情報メディア学科

免許教科	授業科目	単位数
数学	情報数学	●2
	数理計画法	2
	データ構造とアルゴリズム I	2
	データ構造とアルゴリズム II	2
	線形数学 I	●2
	線形数学 II	●2
	グラフ理論	2
	微積分学 I	●2
	微積分学 II	●2
	周波数解析	2
	微分方程式	2
	確率・統計	●2
	コンピュータ入門	●2
	プログラミング入門	2
	オートマトンと形式言語	2
	プログラミング言語論	2
	画像情報処理 I	2
	画像情報処理 II	2
	CAD	2
	音声情報処理	2
	数学科教育法a	●2
	数学科教育法b	●2
	数学科教育法c	2
数学科教育法d	2	
情報	応用倫理学	2
	情報社会論	●2
	情報法学	2
	デジタル回路	●2
	計算機アーキテクチャ	●2
	メディアデータ論	2
	システムプログラム	●2
	オペレーティングシステム	2
	アセンブリ言語	2
	コンピュータリテラシー	2
	C演習 I	3
	Java演習	3
	C演習 II	●3
	ソフトウェア工学演習	2
	データベースシステム	●2
	ソフトウェア工学 I	●2
	ソフトウェア工学 II	2

	情報通信ネットワーク	●2
	情報セキュリティの基礎	2
	コンピュータグラフィックス I	●2
	コンピュータグラフィックス II	2
	構造化文書処理	2
	音響処理	2
	感性情報処理	2
	アニメーション演習	1
	色彩学	2
	Webデザイン	2
	ヒューマンインタフェース	●2
	情報メディア演習 I	●2
	情報メディア演習 II	●2
	情報メディア演習 III	●2
	情報技術者論	●2
	情報科教育法a	●2
	情報科教育法b	●2

(5) ネットワークデザイン学科

免許教科	授業科目	単位数
数学	情報数学	●2
	数理計画法	2
	データ構造とアルゴリズム I	2
	データ構造とアルゴリズム II	2
	線形数学 I	●2
	線形数学 II	●2
	グラフ理論	2
	微積分学 I	●2
	微積分学 II	●2
	微分方程式	2
	確率・統計	●2
	コンピュータ入門	●2
	プログラミングリテラシー (読解)	1
	オートマトンと形式言語	2
	Unix入門	1
	プログラミング言語論	2
	モデリングとシミュレーション	2
	数学科教育法a	●2
	数学科教育法b	●2
	数学科教育法c	2
数学科教育法d	2	
情報	応用倫理学	2
	情報社会論	●2
	情報法学	2
	デジタル回路	●2
	計算機アーキテクチャ	●2
	システムプログラム	●2
	オペレーティングシステム	2
	コンピュータリテラシー	2
	C演習 I	3
	Java演習	3

C演習Ⅱ	●3
ソフトウェア工学演習	2
データベースシステム	●2
ソフトウェア工学Ⅰ	●2
ソフトウェア工学Ⅱ	2
オペレーションズ・リサーチ	2
情報通信ネットワーク	●2
情報セキュリティの基礎	2
通信理論	●2
デジタル信号処理	2
モバイルコミュニケーション	2
ネットワーク設計	2
ネットワークアプリケーション	2
ネットワーク・セキュリティー演習	2
ネットワークデザイン専門演習	2
ヒューマンインタフェース	2
構造化文書処理	2
メディア通信概論	2
ネットワークデザイン基礎演習	●2
情報技術者論	●2
情報科教育法a	●2
情報科教育法b	●2

ロ 教育の基礎的理解に関する科目

授業科目	単位数
教育原論	●2
教職入門	●2
教育行政	●2
教育心理学	●2
特別支援教育	●2
教育課程論	●2

ハ 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

授業科目	単位数
道徳教育	2
特別活動・総合的な学習の時間の指導法	●2
教育方法論	●2
生徒指導と進路指導	●2
教育相談	●2

ニ 教育実践に関する科目

授業科目	単位数
中学校教育実習	5
高等学校教育実習	3
教職実践演習（中・高）	●2

ホ 大学が独自に設定する科目

授業科目	単位数
人間発達と人権	●2
道徳教育	2
福祉教育概論	2

## 〔要件〕

- 1 各教科の教育法は、中一種免では8単位、高一種免では4単位以上（各教育法a・bを含む）を修得しなければならない。
- 2 中一種免を取得しようとする者は、「道德教育」および「福祉教育概論」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。なお、高一種免を取得しようとする者が「道德教育」を修得した場合は、その単位数を「大学が独自に設定する科目」の単位とする。
- 3 教育実習は、中一種免については「中学校教育実習」、高一種免については「高等学校教育実習」を必ず履修し、単位を修得しなければならない。各教育実習には事前および事後指導の1単位を含む。

## IV 知的財産学部

## 1 導入領域

		授業科目	単位数
導入領域		基礎ゼミナール	2
		言語表現技術Ⅰ	2
		言語表現技術Ⅱ	2
		情報リテラシー	2
		健康体育Ⅰ	1
		健康体育Ⅱ	1

## 2 教養領域

		授業科目	単位数	
教養領域	英語科目	受信英語Ⅰ	1	
		受信英語Ⅱ	1	
		発信英語Ⅰ	1	
		発信英語Ⅱ	1	
		資格英語Ⅰ	1	
		資格英語Ⅱ	1	
		法学英語基礎Ⅰ	1	
		法学英語基礎Ⅱ	1	
		メディア英語Ⅰ	1	
		メディア英語Ⅱ	1	
		メディア英語Ⅲ	1	
		一般科目	言語表現技術応用	2
			哲学	2
	倫理学		2	
	美術史		2	
	文学		2	
	歴史学		2	
	心理学		2	
	社会学		2	
	日本の伝統と文化		2	
	化学		2	
	地球科学		2	
	生物科学		2	
	生涯スポーツⅠ		1	
	生涯スポーツⅡ		1	
	※日本語Ⅰ	2		
	※日本語Ⅱ	2		
※日本の文化と社会Ⅰ	2			
※日本の文化と社会Ⅱ	2			

注) 授業科目の前に※を付した科目は、外国人留学生を対象とする。

3 専門領域

		授業科目	単位数	
専門領域	基幹科目	産業社会と知的財産	2	
		法学入門	2	
		民法基礎 I	●2	
		民法基礎 II	2	
		民法応用 I	2	
		民法応用 II	2	
		民事訴訟法	2	
		憲法 I	2	
		憲法 II	2	
		行政法 I	2	
		行政法 II	2	
		国際関係法	2	
		刑法	2	
		企業法務概論	2	
		独占禁止法	2	
		経済学入門	2	
		企業経済学 I	2	
		企業経済学 II	2	
		会計学	2	
		ブランド&デザイン、ビジネス入門	●2	
		知的財産情報	2	
		知的財産法科目	知的財産法入門	2
			特許法・実用新案法 I	●2
	特許法・実用新案法 II		2	
	特許法・実用新案法 III		2	
	著作権法		2	
	商標法		2	
	国際知的財産法		2	
	意匠法		2	
	不正競争防止法		2	
	技術&専門科目		大阪技術学	2
		現代技術と産業	2	
		現代機械技術概論	2	
		現代化学概論	2	
		エレクトロニクス概論	2	
		バイオテクノロジー概論	2	
		情報技術知的財産論	2	
		工業デザインと知的財産	2	
		現代技術と特許	2	
		海外の知的財産制度概論	2	
		特許手続	2	
		マーケティングとブランド	2	
		ブランドマネジメント	2	
		デザインマネジメント	2	
		コンテンツマネジメント	2	
		ベンチャービジネス論	2	
イノベーションと企業戦略		2		
経営戦略論		2		
知的財産専門 I		2		
知的財産専門 II		2		

探求科目	特許意匠探求	6
	コンテンツ知的財産探求	6
	ブランド&デザイン知的財産探求	6
	国際知的財産探求	6
	知的財産経営探求	6
	地域知的財産探求	6
	研究科目	研究基礎演習

#### 4 展開領域

授業科目		単位数	
展開領域	実践英語科目	ビジネス英語	2
		英語プレゼンテーション	2
		知的財産専門英語 I	2
		知的財産専門英語 II	2
	展開科目	展開ゼミナールa	2
		展開ゼミナールb	2
		キャリア形成 I	2
		キャリア形成 II	2
		キャリア形成 III	2
		ライフステージと法	2
		中国語コミュニケーション	1
		中国語と現代中国事情	1
		知的財産中国語	2
		海外語学研修	2
		知的財産インターンシップ	2
		知的財産研修	2
		キャリアゼミナール	2

#### 5 その他連携領域

授業科目		単位数
その他連携領域	ブリッジイングリッシュa	1
	ブリッジイングリッシュb	1
	OIT概論	1
	インターンシップ	2
	知的財産総合入門 I	1
	知的財産総合入門 II	1
	知的財産総合応用 I	1
	知的財産総合応用 II	1
	知的財産総合応用 III	1

〔卒業に必要な単位数〕

導入領域	8単位
教養領域（英語科目8単位、一般科目12単位を含む）	20単位
専門領域	
必修科目	10単位
選択科目	64単位
（基幹科目28単位、知的財産法科目12単位、技術&専門科目14単位、探求科目6単位、研究科目4単位を含む）	
展開領域（実践英語科目2単位を含む）	14単位
その他（導入領域、教養領域、専門領域、展開領域、その他連携領域、他学部の科目）	8単位

（合計） 124単位

その他の要件

◇知的財産プロフェッショナルコース

特許法・実用新案法Ⅱ、著作権法、商標法、意匠法を修得していること

◇ブランド&デザインコース

著作権法、商標法、意匠法を修得していること

◇ビジネスマネジメントコース

企業経済学Ⅰ、企業経済学Ⅱ、イノベーションと企業戦略を修得していること

別表第2-1 (学費)

(単位：円)

種別	学部	工学部	ロボティクス &デザイン工 学部	情報科学部	知的財産学 部	備考
入学金		250,000	250,000	250,000	250,000	入学時納入
授業料		1,290,000	1,290,000	1,290,000	1,020,000	毎年度納入
教育充実費		100,000	150,000	100,000	50,000	1年次納入
		200,000	300,000	200,000	150,000	2年次以降納 入

学費の金額は、経済情勢の著しい変動があった場合、改定することがある。

別表第2-2 (履修料)

(単位：円)

学部	金額	備考
工学部	23,000	1単位あたり
ロボティクス&デザイン工 学部	23,000	
情報科学部	23,000	
知的財産学部	20,000	

別表第2-3 (研究料)

(単位：円)

種別	期間	6カ月	1年
研究料		180,000	360,000

別表第2-4 (在籍料)

(単位：円)

区分	金額
前期	60,000
後期	60,000

別表第3（教育職員免許状の種類および免許教科）

免許状の種類	免許教科	学部	学科
中学校教諭一種免許状	「数学」	工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科 電子情報システム工学科
		情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科 情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科
	「理科」	工学部	応用化学科 環境工学科 生命工学科
高等学校教諭一種免許状	「数学」 「工業」	工学部	都市デザイン工学科 建築学科 機械工学科 電気電子システム工学科
	「数学」 「情報」 「工業」	工学部	電子情報システム工学科
	「理科」 「工業」	工学部	応用化学科 環境工学科 生命工学科
	「工業」	ロボティクス &デザイン工 学部	ロボット工学科 システムデザイン工学科 空間デザイン学科
	「数学」 「情報」	情報科学部	データサイエンス学科 情報知能学科 情報システム学科 情報メディア学科 ネットワークデザイン学科

## 学則の変更の趣旨等を記載した書類

1. 学則変更（収容定員変更）の内容 .....	P.2
2. 学則変更（収容定員変更）の必要性 .....	P.2
2-1 情報科学部データサイエンス学科の設置	
2-2 情報科学部情報知能学科、ネットワークデザイン学科の収容定員減	
3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容 .....	P.4
3-1 教育課程の変更内容	
3-2 教育方法及び履修指導方法の変更内容	
3-3 教員組織の変更内容	
3-4 大学全体の施設・設備の変更内容	
資料 学則を変更する学科の教育課程等の概要 .....	P.9
1 情報科学部データサイエンス学科	
2 情報科学部情報知能学科	
3 情報科学部ネットワークデザイン学科	

## 1. 学則変更（収容定員変更）の内容

大阪工業大学学則第4条に記載の入学定員及び収容定員を、令和3（2021）年度から以下のとおり変更する。

<変更事由>

- (1) 情報科学部データサイエンス学科の設置
- (2) 情報科学部情報知能学科、ネットワークデザイン学科の収容定員減

（単位：人）

変更前 令和2（2020）年度					変更後 令和3（2021）年度				
学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員	学部	学科	入学定員	3年次編入学定員	収容定員
工学部	都市デザイン工学科	100	5	410	工学部	都市デザイン工学科	100	5	410
	建築学科	150	5	610		建築学科	150	5	610
	機械工学科	140	5	570		機械工学科	140	5	570
	電気電子システム工学科	125	5	510		電気電子システム工学科	125	5	510
	電子情報システム工学科	110	5	450		電子情報システム工学科	110	5	450
	応用化学科	130	5	530		応用化学科	130	5	530
	環境工学科	75	5	310		環境工学科	75	5	310
	生命工学科	70	5	290		生命工学科	70	5	290
	計	900	40	3,680		計	900	40	3,680
ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科	90	5	370	ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科	90	5	370
	システムデザイン工学科	90	5	370		システムデザイン工学科	90	5	370
	空間デザイン学科	100	5	410		空間デザイン学科	100	5	410
	計	280	15	1,150		計	280	15	1,150
情報科学部	情報知能学科	105	5	430	情報科学部	データサイエンス学科	70	-	280
	情報システム学科	105	5	430		情報知能学科	90	5	370
	情報メディア学科	105	5	430		情報システム学科	105	5	430
	ネットワークデザイン学科	105	5	430		情報メディア学科	105	5	430
	計	420	20	1,720		ネットワークデザイン学科	90	5	370
	計	460	20	1,880		計	460	20	1,880
知的財産学部	知的財産学科	140	10	580	知的財産学部	知的財産学科	140	10	580
合計		1,740	85	7,130	合計		1,780	85	7,290

## 2. 学則変更（収容定員変更）の必要性

### 2-1 情報科学部データサイエンス学科の設置

世界を取り巻く環境は、高齢化やエネルギー、地球温暖化、地域間格差、新しい産業の創出など社会的課題とともに経済的課題も抱えており、大きな変革期にある。一方で、ICTの急速な発展により、膨大なデータが日々生み出され、第4次産業革命が進展し、データ駆動型価値創造社会へと転換してきている。

このような状況の中で、我が国では、超高齢化などの課題先進国として、IoT（Internet of

Things)、ロボット、AI (Artificial Intelligence)、ビッグデータなど社会や経済の在り方に変革を及ぼす先端技術を、あらゆる産業や社会に取り入れ、イノベーションから新たな価値創造や人間中心の社会変革を行う、世界に先駆けた超スマート社会 Society5.0 の実現を目指している。

しかしながら、このような未来を創造できる人材が圧倒的に不足しており、「IT 人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」(平成 28 (2016) 年 6 月：経済産業省) 及び「IT 人材需給に関する調査」(平成 31 (2019) 年 3 月：経済産業省) でも指摘されているように、今後ますます深刻化が予想され、人材育成が急務となっている。特に、数理的思考に基づき、文理問わず、人文社会学・経済学・心理学・工学・医学・農学・教育学などの様々な学術領域と連携し、データから価値を創造し、社会課題やビジネス課題を解決する、データサイエンティストを育成することは、国家戦略として位置づけられている。

このような状況を受け、令和 3 年 (2021) 4 月、大阪工業大学情報科学部にデータサイエンス学科を開設する(設置位置は、情報科学部の設置地である枚方第 2 校地(大阪府枚方市))。

## 2-2 情報科学部情報知能学科、ネットワークデザイン学科の収容定員減

情報科学部既設学科の学生募集状況は、学部全体で見ると堅調に推移しており、年度により増減はあるが、志願者数の推移は右肩上がりの傾向にある。しかしながら、学科ごとに見ると、情報システム学科、情報メディア学科に比べて、情報知能学科(令和元(2019)年度コンピュータ科学科から名称変更)とネットワークデザイン学科(令和元(2019)年度情報ネットワーク学科から名称変更)の志願者数は少ない(下図参照)。また、入試における合格最低点も低くなっている。



このため、情報知能学科、ネットワークデザイン学科の入学定員を各 15 人減じ、現行の入学定員 105 人から 90 人とする。これによって、入学者の質を確保し、教育効果を向上させたい。

### 3. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

#### 3-1 教育課程の変更内容

収容定員変更に際し、情報科学部の既設4学科（情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科）の教育課程の変更は予定していない。また、データサイエンス学科の開設により、既設学科及び他学部の教育課程に影響を及ぼすことはなく、既設学科等の教育課程も従来と同等以上の内容が担保される。

#### ■情報科学部のカリキュラム編成方針

情報科学部では、自然と共生し、豊かで安心できる社会の実現をめざし、情報技術を自在に駆使して社会の発展に貢献する『情報プロフェッショナル』の育成を目標としている。そのため、ハードウェア・ソフトウェア・システムの専門技術力、論理的思考力やコミュニケーション能力を修得して各種のシステムを研究開発できる応用技術力を鍛えるとともに豊かな人間性を養うことを理念としている。

この理念に基づき、以下のような方針に基づいて必要な科目を開設し、主体的に学修できる科目運営を取り入れるとともに、科目間の連携を高めた体系的カリキュラムを編成している。

##### 1) 豊かな人間性を養う共通教育

総合人間学系と総合理学系に関する教育を通して幅広い教養を身につけ、社会の多様化や高度情報化に柔軟に対応できる能力を育成する。また、キャリアデザインに関する教育により、大学での学修の動機付けを促し、社会人基礎力を養う。

##### 2) 実践的な情報技術者を育成する専門教育

a) 情報科学の基礎となる「数理科学」では、情報数学、確率・統計などの数理科学的な能力を養い、学科共通的な「専門基礎」では専門科目を体系的に学ぶ上で必要となる基礎的能力を育成する。

b) 「情報知能」、「情報システム」、「情報メディア」、「情報ネットワーク」、「データサイエンス」の各分野の「基幹科目」、「応用科目」により専門性を高め、さらに「演習科目」での学修を通して専門分野を統合してシステムを設計、実装する能力を養う。

3) 4年次ではそれぞれの学科で学んだ内容の集大成として「卒業研究」を行い、論理的思考力、コミュニケーションやプレゼンテーションの総合的能力の育成を図るとともに、社会における情報技術の役割や情報技術者の責任などについても理解を深める。

#### ■データサイエンス学科専門科目

データサイエンス学科では、情報処理技術に加えて数理統計に関連する基礎知識と問題解決能力を身につけ、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナル人材を養成することを企図している。

この目的を達成するための教育課程は、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。

1) 数理科学科目群では、専門科目を学ぶ上で必要となる数学の基礎を固める。

2) 専門基礎科目群では、データサイエンスの意義やデータの収集、分析、活用に関する

- る基本的な技法ならびに、ソフトウェアの仕組み、プログラミング言語、プログラミング技術、ネットワークの仕組み等の情報科学に関する基礎的知識を身に付ける。
- 3) 基幹科目群では、大量のデータを収集し効果的に分析する技法ならびに情報システムを実際に構築するためのシステム技術を学び、システムの企画・計画を行うための技術を総合的に身に付ける。
  - 4) 応用科目群では、価値創造の対象となる企業や社会の仕組みと課題などについて理解し、かつ価値創造を提案するための幅広い素養を身に付ける。
  - 5) 演習科目群では、プログラミングの演習ならびにそれまでに学んできた知識を実践的な例題に適用する体験を通じて理解を深める。
  - 6) 卒業研究では、これまで学んだ専門知識を駆使し、協働しながら社会に新しい価値創造を企画・提案する実践的な能力を養う。

### 3-2 教育方法及び履修指導方法の変更内容

収容定員変更に際し、情報科学部の既設4学科（情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科）の教育方法及び履修指導方法の変更は予定していない。また、データサイエンス学科の開設により、既設学科及び他学部等の教育に影響を及ぼすことはなく、既設学科等の教育も従来と同等以上の内容が担保される。

情報科学部の授業は、共通科目、キャリア科目、専門科目に分類している。共通科目は、さらに総合人間学系と総合理学系に分けられている。総合人間学系の「人文社会科学」は情報科学部共通であり、多くの科目を2回ずつ開講している。「外国語」は収容定員減となる情報知能学科及びネットワークデザイン学科とデータサイエンス学科を合同で開講し、30～40人のグループに分けて実施する。「健康・スポーツ科学」の実習科目である「基礎スポーツ科学 a」及び「基礎スポーツ科学 b」は、学科単独で開講し、データサイエンス学科では25人程度の3グループを行って実施する。総合理学系の「物理学基礎」と「電磁気学」については授業を学科別で指定する。データサイエンス学科については学生を2つに分け、それぞれ情報知能学科とネットワークデザイン学科と合同で行い上限を130人程度としている。「物理現象の数理」や「力学」、「現代物理学入門」及び「化学」「地学」「生物」「総合」などの科目は学科指定ではないが、再履修者を含めて上限を150人程度となるように、同一科目を複数回開講する。

「基礎ゼミナール」は1年生だけを対象とした科目であり、情報科学部全学科横断で共同開講している。データサイエンス学科の1年生を3～4人ずつ19程度に分けて、他学科の学生を含めて1グループ22～24人程度に編成して実施する。「キャリアステップ」と「キャリアデザインⅠ」は単独で開講し、それぞれ20人程度と50人程度を見込んでいる。「キャリアデザインⅡ」は、他学科と共通で開講するが、50人を超えない程度になると想定している。

データサイエンス学科の専門科目のほとんどは、単独で開講するので他学科や他学部への影響はない。「情報技術者論」については学部合同での開講とし、「情報技術者論」は学部全体を2つのグループに分けるため1クラスが約230人程度となる。講義はオムニバス形式であるが、グループ討議では8人の教員が分担して実施する。「情報科学実践演習(国際PBL)」は夏季に行われる国際PBLに対応する科目で、情報科学部全学科横断で実施する。演習を主体とした科目であるが、海外から受け入れた学生との協働演習や海外の大学に赴いて行う協働演習が主な課題であり、その準備を含んだ内容について、講義と演習を行う。演習は、4～

6人程度のグループに分かれて実施する。1年生配当の特に重要である「微積分学Ⅰ」と「線形数学Ⅰ」については、2クラスに分けることにより40人を上限となるように実施する。「情報ゼミナール」はデータサイエンス学科の全教員で担当し、主に教授または准教授が指導するので、9人程度の8つのグループに分けて実施する。そのほかの講義科目については、70人を基準として再履修者を含めても90人を上限として実施することを想定している。演習科目については、「価値創造演習」を除くすべての科目は、ほとんどの学生が受講すると想定している。すべての演習にはPCが必要であるが、基本的にはBYOD(Bring Your Own Device)であり設備等に問題はない。「C演習Ⅰ」、「C演習Ⅱ」、「Java演習」については、教員のほかに複数の授業補助者を計画している。「データサイエンス実践演習Ⅰ」については、3つのグループに分かれて演習を実施する。「データサイエンス実践演習Ⅱ」及び「データサイエンス実践演習Ⅲ」は、2つのグループに分かれて演習を実施する。「価値創造演習」は夏季休暇中に集中講義形式で実施し、10～20人程度の参加を見込んでいる。

なお、情報科学部では学生の十分な授業外学修時間を確保するために、CAP制を導入し年間の履修登録科目の上限を44単位としている。ただし、編入学した学生が入学初年度に履修登録できる科目の上限は56単位としている。

### 3-3 教員組織の変更内容

入学定員70人のデータサイエンス学科が設置され、情報知能学科とネットワークデザイン学科の定員をそれぞれ105人から90人に減じることで、情報科学部として40人の定員増となる。これに対しデータサイエンス学科に専任教員9名(うち教授5名)を配置し、情報知能学科の専任教員14名から2名減らして12名(うち教授5名)とし、ネットワークデザイン学科の専任教員16名から3名減らして13名(うち教授5名)とする。その結果、情報科学部としては専任教員4名を増員するため、教育の質は担保できると考える。

データサイエンス学科では、情報処理技術に加えて数理統計に関連する基礎知識と問題解決能力を身につけることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナル人材を養成するために専任教員は9名(うち教授5名)を配置する。専門教育と研究対象は、「情報処理技術」、「数理統計」、「経営システム」の分野であり、専任教員は、工学、理学、情報学、数理学のいずれかの学位を有している。各教育内容における教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する専任教員を配置している。また当学科では、教育上主要と認める専門科目は必修科目としており、その一部に専任講師・兼任講師との共同担当部分及び兼任教員(情報科学部既設学科専任教員)とのオムニバス形式となる専門科目を含めるが、専任の教授または准教授を配置している。

情報知能学科では、「知能情報技術」とそれを機器やシステムに組み込むための「組み込みシステム技術」及びこれらの基盤となる「コンピュータサイエンス」に関する教育・研究を行い、人工知能に対応できる高度な情報技術者を育成するために、専任教員12名(うち教授5名)を配置する。定員削減に伴い教員数が2名減少するが、教育上必要とされる専門分野は専任教員12名で網羅されており問題はない。情報知能学科においても、教育上主要と認める専門科目は必修科目としており、その一部に専任講師・兼任教員との共同担当部分や兼任教員とのオムニバス形式となる専門科目を含めるが、専任の教授または准教授を配置している。

ネットワークデザイン学科では、ネットワークシステムを構築するための「ネットワークシステム技術」、ネットワークアプリケーション開発に必要な「コミュニケーションソフト

ウェア技術」、安全安心なネットワークとサービスに必須である高度な「情報セキュリティ技術」に関する教育・研究を行い、これらの主要要素技術を総合してデザインできる情報技術者を育成するために、専任教員 13 名（うち教授 5 名）を配置する。定員削減に伴い教員数が 3 名減少するが、教育上必要とされる専門分野は専任教員 13 名で網羅されており問題はない。ネットワークデザイン学科においても、教育上主要と認める専門科目は必修科目としており、その一部に専任講師・兼任講師との共同担当部分や兼任教員とのオムニバス形式となる専門科目を含めるが、専任の教授または准教授を配置している。

### 3-4 大学全体の施設・設備の変更内容

情報科学部データサイエンス学科の設置にあたり施設・設備の大きな変更は行わないが、新規採用等の専任教員研究室・ゼミ室の改造工事及び什器・PC等の購入を行い、専任教員の研究環境を整備する。データサイエンス学科の設置により収容定員は増員となるが、以下に記載のとおり、大学全体の教育に支障のない教育環境を担保している。

#### 1) 校地、運動場、学生の休息場所等の整備状況

本学は、大阪府大阪市に大宮校地〔工学部・知的財産学部・工学研究科・知的財産研究科〕（69,566.99 m<sup>2</sup>）、梅田校地〔ロボティクス&デザイン工学部、ロボティクス&デザイン工学研究科〕（4,648.29 m<sup>2</sup>）、京都府八幡市に八幡工学実験場（28,687.88 m<sup>2</sup>）及び今回新たにデータサイエンス学科を設置予定の枚方第 2 校地〔情報科学部・情報科学研究科〕（148,529.00 m<sup>2</sup>）を整備し、それぞれの教育研究を遂行してきた。大宮校地では新館の建設等より良いキャンパスへの整備を現在も進めている。枚方第 2 校地でもトイレの改装や照明の LED 化等環境にも配慮した整備を行っている。

運動場については、大宮校地に 24,741.13 m<sup>2</sup>、枚方第 2 校地に 76,592.00 m<sup>2</sup>を整備し、正課の体育や課外のスポーツ活動に役立っている。大宮校地には、ラグビー、アメリカンフットボール、陸上競技、サッカー、ソフトボール、テニス等の関連施設を整備し、枚方第 2 校地には、野球、陸上競技、サッカー、ラグビー、アーチェリー、テニス等の関連設備を整備している。

枚方第 2 校地は、全校地の中で最も運動場の面積が大きく、野球場として専用の OIT スタジアムを整備し、ラグビー場も天然芝グラウンドを整備している。

また枚方第 2 校地の学生の休息場所等の整備状況については、1 号館の中央部分のエントランスホールやリフレッシュコーナーにイスや飲料の自動販売機等を設置し、建物周辺にもベンチを設置して学生の休息に利用できる場所を整備している。

同 1 号館北側にはカフェテリア KITAYAMA、ポエム KITAYAMA と名付けた食堂を設けており、休息及び憩いの場を提供している。

また全館で無線 LAN を利用可能としている。

#### 2) 図書館

本学の図書館は、大宮校地の大宮本館、梅田校地の梅田分館と、情報科学部データサイエンス学科を設置する枚方校地の枚方分館で構成されている。各図書館は、図書館クラウドサービスにより情報を共有し、学内外からの相互利用（相互貸借及び文献複写等）を可能にしている。大宮校地、梅田校地に設置している工学部及びロボティクス&デザイン工学部は、学問領域において情報科学部と関連性を有しており、学園内定期連絡便により、大

宮本館、梅田分館所蔵資料についても原則翌開館日には資料が届く体制を取っている。また、同一法人の摂南大学、広島国際大学と図書館システムのデータを共有しており、相互貸借やオンラインで複写の申込みが可能となっている。

枚方分館の図書収納可能冊数は160,000冊である。今後も、新設学科での学習の基礎となる数学、統計学、情報科学領域を中心に既設学科と図書資料を共有し、年次進行に合わせて資料の整備・充実を図る予定である。

枚方分館は1号館3階にあり、ブックシェルフコーナー、ライブラリーパーク、ブラウジングパーク、AVパーク、リスニングコーナー、AIR (Activity Incubation Room) で構成されており、学生利用者等に供している。4階には学修支援の一環として、「ラーニングコモンズ」を設置し、授業や学習、グループや個人等多様な学習ニーズに応え、それぞれの学習スタイルに合わせた利用の場を提供している。

### 3) 校舎等施設

情報科学部の教育研究施設の整備状況は以下のとおりであり、学部の教育課程、個々の授業に適切なクラスサイズ等を実現するための十分な環境を整えており、時間割編成上も問題はない。

#### 情報科学部において使用する施設・設備

- ・共用：講義室23室、演習室12室、実験実習室4室、情報処理学習施設6室、語学学習施設3室、図書館（延床面積2,582.60 m<sup>2</sup>）1室
- ・データサイエンス学科専用：研究室9室、演習室9室
- ・情報知能学科専用：研究室12室、演習室12室
- ・情報システム学科専用：研究室15室、演習室10室
- ・情報メディア学科専用：研究室16室、演習室11室
- ・ネットワークデザイン学科専用：研究室13室、演習室10室

データサイエンス学科専用の研究室、演習室は1号館と2号館の3～6階に配置する。同学科でまとめるのではなく他学科と隔たりなく配置することで、他学科とのコミュニケーションの機会を円滑に提供できるように整備する。

以上

資料 学則を変更する学科の教育課程等の概要

教育課程等の概要																
(情報科学部データサイエンス学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目・総合人間学系	哲学基礎	2前		2		○								兼1		
	社会学基礎	2前		2		○								兼1		
	情報社会論	2後		2		○								兼1		
	倫理学基礎	1前・後		2		○								兼1		
	応用倫理学	2後		2		○								兼1		
	日本の歴史	2前		2		○								兼1		
	人類の歴史	1後		2		○								兼1		
	文学基礎	2前・後		2		○								兼1		
	観る文学	2前・後		2		○								兼1		
	言語学基礎	1前・後		2		○								兼1		
	日本国憲法	2前		2		○								兼1		
	法学基礎	2後		2		○								兼1		
	情報法学	3前		2		○								兼1		
	経済学基礎	2前・後		2		○								兼1		
	現代経済論	2後		2		○								兼1		
	心理学基礎	2前・後		2		○								兼1		
	人間発達と人権	1後		2		○								兼1		
小計(17科目)	—	0	34	0	—				0	0	0	0	0	兼9	—	
外国語	英語表現(basic1)a	1前		1		○								兼4		
	英語表現(basic1)b	1後		1		○								兼4		
	英語の語法	3前・後		2		○								兼3		
	口語英語 I a	1前		1		○								兼4		
	口語英語 I b	1後		1		○								兼4		
	英語による情報技術 II	3前・後		2		○								兼1		
	英語表現(basic2)a	2前		1		○								兼2		
	英語表現(basic2)b	2後		1		○								兼2		
	口語英語 II a	2前		1		○								兼1		
	口語英語 II b	2後		1		○								兼1		
	英語による情報技術 I a	2前		1		○								兼1		
	英語による情報技術 I b	2後		1		○								兼1		
	英語演習	3後		1			○							兼1		
	海外語学研修	1・2・3・4前・後		2				○						兼1	集中	
小計(16科目)	—	0	21	0	—				0	0	0	0	0	兼14	—	
健康・スポーツ科学	基礎スポーツ科学a	1前		1		○								兼2		
	基礎スポーツ科学b	2後		1		○								兼2		
	健康科学	3前		2		○								兼1		
	スポーツ科学実習	3前		1				○						兼1		
小計(4科目)	—	0	5	0	—				0	0	0	0	0	兼2	—	
共通科目・総合理学系	科学史	4前		2		○								兼1		
	小計(1科目)	—	0	2	0	—				0	0	0	0	0	兼1	—
	物理学基礎	1前		2		○								兼1		
	物理現象の数理	2前		2		○								兼1		
	力学	1前		2		○								兼1		
	電磁気学	1後		2		○								兼1		
	現代物理学入門	2後		2		○								兼1		
	小計(5科目)	—	0	10	0	—				0	0	0	0	0	兼2	—
	化学基礎	1前・後		2		○								兼1		
	環境情報科学	1後・2前		2		○								兼1		
小計(2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	兼2	—	
地学	地球科学基礎	1前		2		○								兼1		
	地球環境	1後		2		○								兼1		
	小計(2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	兼1	—
生物	生命科学基礎	1前		2		○								兼1		
	情報生命科学	1後		2		○								兼1		
	小計(2科目)	—	0	4	0	—				0	0	0	0	0	兼1	—
総合	視る自然科学	2後		2		○								兼5	オムニバス・共同(一部)	
	小計(1科目)	—	0	2	0	—				0	0	0	0	0	兼5	—

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部データサイエンス学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
キャリア科目	基礎ゼミナール	1前		1				○		1	1				兼17		
	キャリアステップ	1後		1					1								
	キャリアデザインⅠ	2前		1				○			1						
	キャリアデザインⅡ	2後		1				○									
	グローバルテクノロジー論	2前・後		1													
	OIT概論	1前		1					○	1							
	小計(6科目)	—	0	6	0			—	2	1	0	0	0	兼3	—		
専門科目	数理学	線形数学Ⅰ	1前	2				○			1					兼1	
		線形数学Ⅱ	3後		2			○								兼1	
		微積分Ⅰ	1前	2					○	1							
		微積分Ⅱ	3後		2				○							兼1	
		情報数学	2後		2				○			1					
		微分方程式	1後		2				○			1					
		グラフ理論	2前		2				○			1					
		数理計画法	3後		2				○	1							
		確率・統計	2前		2				○	1							
			小計(9科目)	—	6	12	0			—	2	1	1	0	0	兼1	—
専門基礎	コンピュータ入門	1前	2					○			1						
	情報通信ネットワーク	2前		2				○			1						
	プログラミング基礎	1後		2				○			1						
	テクニカルライティング	1後	2					○	1						兼1		
	情報処理基礎	1後		2				○	2						兼3		
	コンピュータリテラシー	1前		2				○	2						集中/オムニバス		
	データサイエンス入門	1前	2					○	1								
	データ構造とアルゴリズム	2前		2				○	1								
	実験計画法	3前		2				○			1						
	統計解析	2後	2					○	1								
	多変量解析	3前		2				○			1						
	IoT概論	1後		2				○		1							
	教育心理学	1後		2				○							兼1		
	小計(13科目)	—	8	18	0			—	5	1	1	0	0	兼5	—		
基幹科目	データベースシステム	2後		2				○	1								
	オペレーションズ・リサーチ	3前		2				○	1								
	情報技術者論	3後	2					○	1						兼9		
	情報ゼミナール	3後	2					○	5	3	1				オムニバス・共同(一部)		
	システム工学	2前		2				○							兼1		
	情報セキュリティの基礎	3前		2				○							兼1		
	経営システム論Ⅰ	2前	2					○	1								
	データマイニング	2後		2				○		1							
	テキストマイニング	2①・②		1				○		1							
	ビジュアルプログラミング論	2後		2				○	1								
	ソフトウェア工学	2後		2				○	1								
	人工知能	3前		2				○	1								
	パターン認識	2前		2				○	1								
	機械学習	2前	2					○		1							
発想法と問題解決	2①・②		1				○		1								
	小計(15科目)	—	8	20	0			—	5	3	1	0	0	兼10	—		

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部データサイエンス学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	応用科目	モデリングとシミュレーション	3後	2		○				1					兼3 オムニバス 兼9 集中/共同  兼1 兼1  兼3 集中/オムニバス 兼15 -
	経営システム論Ⅱ	3後	2		○										
	情報科学実践演習(国際PBL)	2前・後	1			○									
	マーケティング論	3前	2			○				1					
	数理ファイナンス	3後	2			○				1					
	ロジスティクス	3後	2			○				1					
	企業会計論	3前	2			○				1					
	教育工学	3後	2			○				1					
	教育方法論	2後	2			○									
	情報科教育法a	3前	2			○									
	工業経営論	2前	2			○				1					
	投資意思決定論	3後	2			○				1					
	経営戦略論	3後	2			○									
	小計(13科目)	-	0	25	0	-	-	-	4	2	0	0	0	0	
演習科目	C演習Ⅰ	1後	3			○				1				共同(一部)  集中	
	C演習Ⅱ	2前	3			○				1					
	Java演習	2後	3			○			1						
	データサイエンス実践演習Ⅰ	2後	2			○			2	1	1				
	データサイエンス実践演習Ⅱ	3前	2			○			1	1					
	データサイエンス実践演習Ⅲ	3後	2			○			1	1					
	価値創造演習	3後	2			○			1						
小計(7科目)	-	7	10	0	-	-	-	5	3	1	0	0	0		
合計(113科目)			-	29	177	0	-	-	5	3	1	0	0	0	兼69 -
学位又は称号		学士(情報学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
本大学に4年以上在学し、共通科目36単位(人文社会科学12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位を含む)、キャリア科目2単位および専門科目86単位(必修科目29単位、選択科目<選択必修科目12単位を含む>57単位)を含めて合計124単位以上修得すること。加えて、卒業研究(0単位)も合格すること。 [履修科目の登録の上限:44単位(年間)]							1学年の学期区分		2期(一部科目は4期)						
							1学期の授業期間		14週(一部科目は7週)						
							1時限の授業時間		100分						

教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部情報知能学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目・総合人間学系	人文社会科学	哲学基礎	2前	2		○										兼1	
		社会学基礎	2前	2		○										兼1	
		情報社会論	2後	2		○										兼1	
		倫理学基礎	1前・後	2		○										兼1	
		応用倫理学	2後	2		○										兼1	
		日本の歴史	2前	2		○										兼1	
		人類の歴史	1後	2		○										兼1	
		文学基礎	2前・後	2		○										兼1	
		観る文学	2前・後	2		○										兼1	
		言語学基礎	1前・後	2		○										兼1	
		日本国憲法	2前	2		○										兼1	
		法学基礎	2後	2		○										兼1	
		情報法学	3前	2		○										兼1	
		経済学基礎	2前・後	2		○										兼1	
		現代経済論	2後	2		○										兼1	
		心理学基礎	2前・後	2		○										兼1	
		人間発達と人権	1後	2		○										兼1	
	小計(17科目)	—	0	34	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼9	—	
外国語	英語表現(basic1)a	1前	1		○										兼4		
	英語表現(basic1)b	1後	1		○										兼4		
	英語の語法	3前・後	2		○										兼3		
	口語英語 I a	1前	1		○										兼4		
	口語英語 I b	1後	1		○										兼4		
	英語による情報技術 II	3前・後	2		○										兼2		
	英語表現(basic2)a	2前	1		○										兼2		
	英語表現(basic2)b	2後	1		○										兼2		
	口語英語 II a	2前	1		○										兼1		
	口語英語 II b	2後	1		○										兼1		
	英語による情報技術 I a	2前	1		○										兼1		
	英語による情報技術 I b	2後	1		○										兼1		
	英語演習	3後	1				○								兼1		
	海外語学研修	1・2・3・4前・後	2					○							兼1	集中	
日本語 I	1前	2			○									兼1			
日本語 II	1後	2			○									兼1			
	小計(16科目)	—	0	21	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼14	—	
健康・スポーツ科学	基礎スポーツ科学a	1前	1		○										兼3		
	基礎スポーツ科学b	2後	1		○										兼3		
	健康科学	3前	2		○										兼1		
	スポーツ科学実習	3前	1					○							兼1		
	小計(4科目)	—		5		—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼4	—	
共通科目・総合理学系	科学史	4前	2		○										兼1		
	小計(1科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
	物理学基礎	1前	2		○				1								
	物理現象の数理	2前	2		○				1								
	力学	1前	2		○				1								
	電磁気学	1後	2		○				1								
	現代物理学入門	2後	2		○				1								
	小計(5科目)	—	0	10	0	—	—	—	2	0	0	0	0	0	0	—	
	化学基礎	1前・後	2		○											兼1	
	環境情報科学	1後・2前	2		○											兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	地球科学基礎	1前	2		○											兼1	
	地球環境	1後	2		○											兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
	生命科学基礎	1前	2		○											兼1	
	情報生命科学	1後	2		○											兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
総合	視る自然科学	2後	2		○				2						兼3	オムニバス・共同(一部)	
小計(1科目)	—	0	2	0	—	—	—	2	0	0	0	0	0	兼3	—		

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部情報知能学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
キャリア科目	基礎ゼミナール	1前		1				○		5	3	4			兼18	集中 <small>集中/オムニバス・共同(一部)</small>
	キャリアステップ	1後		1					1							
	キャリアデザインⅠ	2前		1				○	1							
	キャリアデザインⅡ	2後		1				○								
	グローバルテクノロジー論	2前・後		1												
	OIT概論	1前		1					○	1						
	小計(6科目)	—	0	6	0			—	5	3	4	0	0	兼32	—	
専門科目 数理科学	線形数学Ⅰ	1前・後		2				○							兼2	—
	線形数学Ⅱ	3後		2				○							兼1	
	微積分Ⅰ	1前・後		2				○							兼3	
	微積分Ⅱ	3後		2				○	1						兼1	
	情報数学	2後		2				○							兼1	
	周波数解析	2前		2				○	1						兼1	
	微分方程式	1後		2				○			1				兼1	
	グラフ理論	2前		2				○							兼1	
	確率・統計	3前		2				○							兼1	
		小計(9科目)	—	0	18	0			—	1		1	0	0	兼6	
専門基礎	コンピュータ入門	1前	2					○	1						兼1	集中/オムニバス
	情報通信ネットワーク	2前		2				○								
	プログラミング基礎	1後		2				○		1						
	テクニカルライティング	1後	2					○	1							
	デジタル回路	1後	2					○	1							
	情報処理基礎	1後	2					○		1					兼4	
	プログラミング入門	1後	2					○		2						
	データ構造とアルゴリズムⅠ	2前		2				○			1					
	アセンブリ言語	2後	2					○		1						
	ソフトウェア工学Ⅰ	2後	2					○			1				兼1	
	組み込みシステム基礎	2前	2					○		1					兼1	
	コンピュータリテラシー	1前	2					○							兼1	
	小計(12科目)	—	10	14	0			—	2	3	1	0	0	兼8		
基幹科目	オートマトンと形式言語	3前		2				○			1					共同 <small>オムニバス・共同(一部)</small>
	計算機アーキテクチャ	2前	2					○		1						
	プロセッサ設計	3前		2				○			1					
	集積回路工学	3前		2				○	1							
	データ構造とアルゴリズムⅡ	3前		2				○							兼1	
	システムプログラム	3前		2				○							兼2	
	オペレーティングシステム	2後	2					○	1							
	プログラミング言語論	3後		2				○		1						
	データベースシステム	2後		2				○							兼1	
	ソフトウェア工学Ⅱ	3前		2				○							兼1	
	Unixプログラミング	3後		2				○							兼2	
	情報技術者論	3後	2					○	1	1					兼8	
	情報ゼミナール	3後	2					○	5	3	4					
	インターフェース・センサ回路	2前		2				○							兼1	
情報セキュリティの基礎	3前		2				○							兼1		
	小計(15科目)	—	8	22	0			—	5	3	4	0	0	兼16		
応用科目	知能制御工学基礎	3前		2				○		1						共同
	集積回路設計	3後		2				○	1						兼1	
	画像処理	3後		2				○			1					
	信号処理	3後		2				○			1					
	コンピュータグラフィックスⅠ	3後		2				○							兼1	
	知能情報処理	3後		2				○	1							
	知能制御工学	3後		2				○		1						
	情報科学実践演習(国際PBL)	2前・後		1				○			2				兼7	
	小計(8科目)	—	0	15	0			—	2	1	2	0	0	兼9		

## 教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部情報知能学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 演習科目	C演習Ⅰ	1後	3				○			1	1			兼1	共同
	C演習Ⅱ	2前		3			○				2				共同
	Java演習	2後		3			○		1	1					共同
	ソフトウェア工学演習	3前		2			○			1					共同
	情報科学演習Ⅰ	2後	2				○		1	3	2				共同
	情報科学演習Ⅱ	3前	2				○		1	1	4				共同
	情報科学演習Ⅲ	3後	2				○		2	2	2				共同
	知能制御工学演習	3後		1			○			1					
	CSプロジェクト演習	4前		1			○				1			兼3	集中/共同
小計(9科目)		—	9	10	0	—	—	3	3	4	0	0	兼4	—	
合計(109科目)		—	27	171	0	—	—	5	3	4	0	0	兼79	—	
学位又は称号		学士(情報学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
本大学に4年以上在学し、共通科目36単位(人文社会科学<コンピュータ・サイエンスコースは必修科目8単位を含む>12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系<コンピュータ・サイエンスコースは必修科目6単位を含む>12単位以上を含む<人文社会科学、総合理学系のいずれかは14単位が必要>)、キャリア科目2単位および専門科目86単位(必修科目27単位、選択科目<選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む>59単位)を含めて合計124単位以上修得すること。加えて、卒業研究(0単位)も合格すること。 [履修科目の登録の上限:44単位(年間)]							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		14週						
							1時限の授業時間		100分						

# 教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部ネットワークデザイン学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通科目・総合人間学系	人文社会科学	哲学基礎	2前	2		○										兼1	
		社会学基礎	2前	2		○										兼1	
		情報社会論	2後	2		○										兼1	
		倫理学基礎	1前・後	2		○										兼1	
		応用倫理学	2後	2		○										兼1	
		日本の歴史	2前	2		○										兼1	
		人類の歴史	1後	2		○										兼1	
		文学基礎	2前・後	2		○										兼1	
		観る文学	2前・後	2		○										兼1	
		言語学基礎	1前・後	2		○										兼1	
		日本国憲法	2前	2		○										兼1	
		法学基礎	2後	2		○										兼1	
		情報法学	3前	2		○										兼1	
		経済学基礎	2前・後	2		○										兼1	
		現代経済論	2後	2		○										兼1	
		心理学基礎	2前・後	2		○										兼1	
		人間発達と人権	1後	2		○										兼1	
	小計(17科目)	—	0	34	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼9	—	
外国語	英語表現(basic1)a	1前	1		○											兼4	
	英語表現(basic1)b	1後	1		○											兼4	
	英語の語法	3前・後	2		○											兼3	
	口語英語 I a	1前	1		○											兼4	
	口語英語 I b	1後	1		○											兼4	
	英語による情報技術 II	3前・後	2		○											兼1	
	英語表現(basic2)a	2前	1		○											兼1	
	英語表現(basic2)b	2後	1		○											兼1	
	口語英語 II a	2前	1		○											兼1	
	口語英語 II b	2後	1		○											兼1	
	英語による情報技術 I a	2前	1		○											兼1	
	英語による情報技術 I b	2後	1		○											兼1	
	英語演習	3後	1				○									兼1	
	海外語学研修	1・2・3・4前・後	2						○							兼1	集中
	日本語 I	1前	2		○										兼1		
	日本語 II	1後	2		○										兼1		
	小計(16科目)	—	0	21	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼13	—	
健康・スポーツ科学	基礎スポーツ科学a	1前	1		○					1	1					兼1	
	基礎スポーツ科学b	2後	1		○					1	1					兼1	
	健康科学	3前	2		○					1							
	スポーツ科学実習	3前	1					○			1						
	小計(4科目)	—		5		—	—	—	0	1	1	0	0	0	兼1	—	
共通科目・総合理学系	科学史	4前		2		○										兼1	
	小計(1科目)	—	0	2	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼1	—	
	物理学基礎	1前		2		○										兼1	
	物理現象の数理	2前		2		○										兼1	
	力学	1前		2		○										兼1	
	電磁気学	1後		2		○										兼1	
	現代物理学入門	2後		2		○										兼1	
	小計(5科目)	—	0	10	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	化学基礎	1前・後		2		○										兼1	
	環境情報科学	1後・2前		2		○										兼1	
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	0	0	0	0	0	兼2	—	
	地球科学基礎	1前		2		○				1							
	地球環境	1後		2		○				1							
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	—
	生命科学基礎	1前		2		○					1						
	情報生命科学	1後		2		○					1						
	小計(2科目)	—	0	4	0	—	—	—	0	1	0	0	0	0	0	0	—
総合	視る自然科学	2後		2		○				1	2					兼2	オムニバス・共同(一部)
小計(1科目)	—	0	2	0	—	—	—	1	2	0	0	0	0	0	兼2	—	



## 教 育 課 程 等 の 概 要

(情報科学部ネットワークデザイン学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 演習科目	C演習Ⅰ	1後	3				○			1	1				兼1 兼2 兼2 兼1 兼3 集中/共同
	C演習Ⅱ	2前		3			○				2				
	Java演習	2後		3			○			1	1				
	ソフトウェア工学演習	3前		2			○								
	ネットワークデザイン基礎演習	2後	2				○		3	2	1				
	ネットワークデザイン専門演習	3前	2				○		1	1	1				
	ネットワーク・セキュリティ演習	3後		2			○		1	1					
	CSプロジェクト演習	4前		1			○					1			
小計(8科目)	—	—	7	11	0	—	—	4	3	2	0	0	兼7	—	
合計(110科目)		—	22	175	0	—	—	5	5	3	0	0	兼77	—	
学位又は称号		学士(情報学)		学位又は学科の分野			工学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
本大学に4年以上在学し、共通科目36単位(人文社会科学<コンピュータ・サイエンスコースは必修科目8単位を含む>12単位以上、外国語8単位、健康・スポーツ科学2単位、総合理学系<コンピュータ・サイエンスコースは必修科目6単位を含む>12単位以上を含む<人文社会科学、総合理学系のいずれか>は14単位が必要)、キャリア科目2単位および専門科目86単位(必修科目22単位、選択科目<選択必修科目で総合コースは12単位、コンピュータ・サイエンスコースは39単位を含む>64単位)を含めて合計124単位以上修得すること。加えて、卒業研究(0単位)も合格すること。 [履修科目の登録の上限:44単位(年間)]							1学年の学期区分		2期(一部科目は4期)						
							1学期の授業期間		14週(一部科目は7週)						
							1時限の授業時間		100分						

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

- 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
  - 1-1 学生の確保の見通し
    - (1) 定員充足の見込み …………… P. 2
    - (2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 …………… P. 2
    - (3) 学生納付金の設定の考え方 …………… P. 5
  - 1-2 学生確保に向けた具体的な取組状況 …………… P. 5
- 2 人材需要の動向等社会の要請
  - (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要） …… P. 7
  - (2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 …………… P. 8

# 学生確保の見通し等を記載した書類

## 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### 1-1 学生の確保の見通し

#### (1) 定員充足の見込み

人工知能（AI）やIoT、ロボット、ビッグデータなどの情報技術革新への期待感などを背景に、情報分野を学べる学部・学科の人気の高まっている。本学情報科学部既設4学科及び類似する学部・学科等を持つ近隣他大学においてもその傾向は明らかで、情報分野における志願者数は右肩上がりに推移している。

令和3（2021）年4月に設置を計画している情報科学部データサイエンス学科に対する高校生のニーズ調査の結果においても、入学定員を超える入学意向があり、十分な志願者を確保できる見通しを得ている。

#### (2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

##### ① 私立大学の情報分野の入試志願者数・倍率の推移

河合塾が発行する進学情報誌『ガイドライン』（2019年10月号）によると、私立大学の情報分野の一般入試志願者は、平成27（2015）年度の137,263人から、令和元（2019）年度は223,766人と、この5年間で大きく増加している。志願倍率も平成27（2015）年度3.3倍が、令和元（2019）年度は4.7倍に上昇しており、受験生の人気の高まっていることがわかる。

【資料1】情報分野の志願者数等の推移（河合塾『ガイドライン』2019年10月号）

##### ② 情報科学部既設学科の入学志願状況等

情報分野の人気上昇の背景には、AIやIoTなど情報技術の発展や需要の高まりによる高校生の期待感向上が考えられる。本学情報科学部既設4学科においても、平成27（2015）年度～令和元（2019）年度の志願者数は、右肩上がりの傾向にある。今回、収容定員を減じる、情報知能学科及びネットワークデザイン学科においても、他の2学科に比して志願者数の伸びは少ないものの、増加傾向にある。

また、情報科学部の設置地である枚方キャンパスのオープンキャンパス来場者数についても安定して伸びている。

【資料2】情報科学部既設学科の志願者数、合格者数、入学者数、定員超過率の推移

【資料3】オープンキャンパス来場者数の推移（枚方キャンパス）

##### ③ 類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学の状況

本学の近隣他大学においても、データサイエンスについて学べる、あるいは類似する

学部・学科・コース新設の動きが活発であるが、募集人員を大きく上回る志願者があり受験生の高まるニーズに応えられていない。本学情報科学部にデータサイエンス学科を開設することは、受験生にとって選択肢が増えることになり、大学は相互に志願者を確保できると考えられる。なお、ここで全国状況ではなく近隣他大学のみを挙げた理由は、本学志願者の9割超が近畿2府5県に所在する高等学校出身者であることによる。

【資料4】類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学一覧

【資料5】類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学の志願状況

#### ④ 受験対象者へのアンケート調査

前述のとおり、本学既設学部・学科の過去5年の志願者の9割超が近畿2府5県に所在する高等学校出身者である。その実績を参考に、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県に所在する高等学校の2年生に調査を実施し、5,034人から回答を得た。

回答者の所属クラスは「理系クラス（理系コース）」が61.0%、「文系クラス（文系コース）」が16.8%であった。回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」が60.3%、「国公立大学に進学」が42.4%、「就職」が13.0%で、私立大学への進学志望者が多く、大阪工業大学がターゲットとする対象に調査を実施できていると考えられる。回答者の興味のある学問系統は、「工学」が39.9%で最も高い。次いで「理学」が24.4%、「経済・経営・商学」が15.8%と続く。

データサイエンス学科の特色に対する魅力度（「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の割合の合計値）は、すべての項目において6割を超えた。最も魅力度が高いのは、「データの分析結果から課題を見つけ、その有効な解決策や新たな知識を見出すことで、製造・販売・流通・教育・健康・スポーツ・防災・農業・食などのさまざまな分野の企業や社会に貢献する。」（72.2%）であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も27.9%で最も高い。次いで魅力度が高いのは、「社会や企業で得られた膨大（ぼうだい）で多様なデータを教材にして、AI（人工知能）やアプリを使った実践的なデータ分析を学ぶ。」（71.1%）である。以下、「経営や仕事の現場において、AIをはじめとするIT（情報技術）とデータ分析を駆使して、データサイエンスに裏付けられた改善を推進したり、新たな価値を生み出すことができる人材を育成する。」（67.3%）、「地方自治体などの行政機関や企業と連携して、リアルで具体的な課題解決に取り組む。このために、世代、業種などの枠を超えたチームを編成し、協力してデータの分析から解決策の提案・実現までを体験的に学ぶ。」（64.2%）と続く。

受験・入学意向については、データサイエンス学科を「受験したいと思う」と答えた人は17.4%（877人）であり、そのうち、大阪工業大学「情報科学部データサイエンス学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、87.1%（764人）で、予定している入学定員70人を10倍以上も上回っていた。

大学の所在地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向は15.1%（3,241人中、490人）、隣接する「兵庫県」の高校在籍者からの入学意向は15.2%（1,174人中、178人）と、この2府県だけでも予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

また、「理系クラス（理系コース）」在籍者からの入学意向は18.1%（3,070人中、557

人) と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

【資料6】大阪工業大学「情報科学部データサイエンス学科」(仮称)設置に関するニーズ調査結果報告書【高校生対象調査】

⑤ 若年人口、18歳人口と大学進学率等の推移推計

(0-14歳人口の長期推計)

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」(出生中位・死亡中位仮定)によれば、我が国の総人口は長期にわたって減少が続くと推計されている。将来的な大学進学者群となる0-14歳人口は、2015年の全国の0-14歳人口1,594.5万人を100%とした場合、2040年は1,193.6万人(74.9%)との推計がなされている。本学の主要な学生募集地域である近畿2府5県(三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2015年の0-14歳人口284.8万人(100%)に対し、2040年は204.9万人(71.9%)と、20年後には約3割の減少となる推計がなされている。

(18歳人口・大学進学率等の長期推計)

中央教育審議会「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」によれば、18歳人口は、2017年の119.8万人(全国)から、2040年には88.2万人(2017年比73.6%)になると推計されている。近畿2府5県(三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2017年の22.2万人が2040年には15.4万人(2017年比69.3%)になる推計となっている。一方で、大学進学率は上昇傾向が続いている。2040年の大学進学率(全国)は57.4%と推計されており、2017年(52.6%)と比較すると4.8ポイント増加することとなっている。なお、近畿地区の大学進学率は他地域と比べて高い府県が多く、京都府が2017年度全国2位(64.7%)、奈良県4位(57.0%)、大阪府5位(55.3%)、兵庫県6位(55.0%)となっている。また、大学進学時の都道府県別流入率で大阪府は9.9%の流入超過となっており、全国で3番目に高い。

本学では、若年人口、18歳人口の減少予測を認識、把握した上で、受験生から選ばれる大学、選ばれる学部学科となるための様々な事業展開や教育改革、就職力の強化などに全学で取り組むとともに、今般のデータサイエンス学科設置にあたっては、情報分野、ことにデータサイエンス分野の人気・期待の高まりを受け、かつ、後述する社会課題、ビジネス課題の解決や新たな価値を創造できる人材養成を踏まえた地域の要請に応える計画として推進するものである。本学科の開設後の中長期的な学生募集は、将来の若年人口、18歳人口の減少の中も、十分に学生を確保できる見込みであると考えている。

### (3) 学生納付金の設定の考え方

情報科学部データサイエンス学科の学生納付金は、下表のとおりとする（情報科学部既設学科と同額）。

（単位：円）

	入学金 (入学時納入)	授業料 (毎年度納入)	教育充実費 (毎年度納入)	諸費 (毎年度納入)
入学初年度	250,000	1,290,000	100,000	13,700
2年次以降	—	1,290,000	200,000	13,200

学生納付金には入学金、授業料のほか、特色ある教育を充実させるための教育充実費を設定している。諸費を含めた4年間の学生納付金合計6,163,300円は、類似する学部・学科等を持つ近隣他大学の令和2（2020）年度入学者の納付金平均額に比べて約7万円低くなっており、学生募集において競争力のある設定であるとともに、継続的な教育研究を可能とする設定としている。

【資料7】 類似する学部・学科等を持つ近隣他大学の学生納付金

## 1-2 学生確保に向けた具体的な取組状況

### (1) 多様な入学選考（選抜）試験の実施

本学では、アドミッションポリシーに沿って、つぎのように多様な入学選考（選抜）試験を実施している（令和2（2020）年度入試実績）。

- ・公募制推薦入試
- ・一般入試前期 A 日程（均等配点方式）
- ・一般入試前期 B 日程（高得点重視方式）
- ・一般入試後期 D 日程（高得点2教科方式）
- ・一般入試前期 AC・BC、後期 DC 日程（大学入試センター試験併用入試）
- ・一般入試前期 C・後期 C 日程（大学入試センター試験利用入試）
- ・普通科高校特別推薦入試
- ・専門高校特別推薦入試
- ・ものづくり・調査研究 AO 入試、社会人入試、帰国生徒入試、外国人留学生入試、指定校推薦入試など

また、遠隔地の受験生に対して利便性を図り、広く志願者を確保するため、公募制推薦入試では本学大宮校地のほか9会場（南大阪（堺）、京都、神戸、奈良、姫路、和歌山、岡山、徳島、高松）、一般入試前期 A 日程では16会場（南大阪（堺）、京都、神戸、奈良、姫路、和歌山、彦根、津、名古屋、金沢、岡山、広島、徳島、高松、松山、福岡）、一般入試後期 D 日程では3会場（津、岡山、徳島）に試験場を設け、入学選考（選抜）

試験を実施している。

## (2) 広報活動

データサイエンス学科の開設に向けて、つぎのような広報活動を行っている。

- (ア) リーフレット類など広報誌の作成【資料 8】
- (イ) ホームページへの新設学科特設サイト開設【資料 9】
- (ウ) 高校 2 年生（受験初年度対象者）に向けてのダイレクトメール発送【資料 10】
- (エ) 受験情報誌、受験サイトへの広告掲載【資料 11】
- (オ) 高等学校等教員対象入試説明会

受験生の進学先決定には高等学校や塾・予備校教員の指導が大きな影響を与えることから、本学では近畿圏の高等学校等教員を主な対象に入試説明会を開催している。令和元（2019）年度は 176 校から計 180 人の参加があり、データサイエンス学科の開設告知をはじめ、本学の教育研究の特色、入試要項、前年度の入試結果など、本学に関する理解度向上に役立っている【資料 12】。

本学ではこれまでも、つぎのような方策により広報活動を行っており、データサイエンス学科の設置にあわせ、更に活動を強化していく計画である。

### <本学における主な広報活動>

#### (ア) ホームページ上での周知

本学ホームページに「受験生の方」という受験生向けページを設け、受験に関する次のような情報を詳しく提供している。

- ・入試要項及び学費、入試 Q&A など
- ・学部・学科、大学院における「アドミッションポリシー」
- ・進学相談会日程一覧
- ・過去の入試結果

#### (イ) パンフレット類の作成

大学案内や入試ガイドなどのパンフレット類を活用し、本学の概要や特色などを幅広く広報している。

#### (ウ) 高校・予備校訪問

例年延べ 400～450 校程度の高校・予備校訪問において、受入れ方針や入試要項を伝え、進路指導の現状に関する情報収集を行っている。

#### (エ) オープンキャンパス

毎年 3 月・7 月・8 月に計 7 回開催し、令和元（2019）年は過去最高の計 8,593 人の来場者数を記録した。模擬授業や施設見学などを通じて、来場者に本学を知ってもらう機会としている。

【資料 13】 令和元（2019）年度オープンキャンパス来場者数

## 2 人材需要の動向等社会の要請

### (1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

#### データサイエンス学科

データサイエンス学科では、情報処理技術に加えて数理統計に関連する基礎知識と問題解決能力を身につけることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナル人材を養成する。

具体的にはディプロマ・ポリシーに掲げている能力を習得させる。

#### 【データサイエンス学科ディプロマ・ポリシー】

データサイエンス学科では、情報科学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 情報処理技術およびデータの収集・分析から得られた成果の活用が人や社会および自然等に及ぼす影響を理解し、それらの改善に取り組むことができる。〔データサイエンスの活用が社会に与える影響を理解する能力〕
- (B) 社会システムの発展・改良に向け、広い視野および倫理的な視点から判断し、行動できる。〔広い視野および倫理的な視点からの判断力と行動力〕
- (C) 情報処理技術および数理統計に関連する基礎知識を有しており活用できる。〔知識の活用力〕
- (D) 課題の背景を理解する能力を有しており、データの収集・分析に基づいた問題解決ならびに価値創造を提案することができる。〔問題解決や価値創造を提案できる能力〕
- (E) 自分の考えを論理的かつ正確に伝え、かつ、相手を理解するために必要なコミュニケーション能力を有し、他者と協働して活動することができる。〔他者と協働して活動できる能力〕

#### 情報知能学科

情報知能学科では、ソフトウェア技術に加えてハードウェア技術も身につけ、あらゆる先進的情報技術分野で活躍できる人材を養成する。

具体的にはディプロマ・ポリシーに掲げている能力を習得させる。

#### 【情報知能学科ディプロマ・ポリシー】

情報知能学科では、情報科学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 情報システムの社会における位置づけ、様々な分野に及ぼす影響を理解するとともに、それらのシステムに関わる業務の従事者として社会に果たすべき役割と責任を自覚し行動できる。〔情報技術者の位置付けと役割を理解し、行動できる能力〕
- (B) 知能情報技術、組込みシステム技術、コンピュータ基盤技術等に関連す

- る理工学の基礎知識を持ち活用できる。〔知能情報技術などのベースとなる理工学を理解し、活用できる能力〕
- (C) 知能情報技術、組込みシステム技術、コンピュータ基盤技術等の基本を理解し、これらを現実の問題解決に応用できる。〔知能情報技術などの基礎を理解し、応用できる能力〕
- (D) 正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持ち、日本語での文書作成、口頭発表および討論等の対話ができる。〔コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力〕
- (E) 与えられた課題を解決するために、情報を収集・整理・分析して、問題解決のための計画・方策を立案し、継続的かつ協働的に推進できる。〔情報収集・分析および計画立案・遂行による問題解決能力〕

### ネットワークデザイン学科

ネットワークデザイン学科では、システム、ソフトウェア、セキュリティ、テレプレゼンスなど人と社会を結ぶ様々な技術を持ち、時代を的確に捉え社会に貢献できる人材を養成する。

具体的にはディプロマ・ポリシーに掲げている能力を習得させる。

#### 【ネットワークデザイン学科ディプロマ・ポリシー】

ネットワークデザイン学科では、情報科学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学科として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。

- (A) 情報ネットワーク技術が社会に及ぼす影響や技術者の社会的役割、責務などを理解し、適切に判断して行動ができる。〔情報ネットワークの社会的役割の理解力、技術者としての行動力〕
- (B) 情報セキュリティ技術、ネットワークシステム技術、コミュニケーションソフトウェア技術に関連する理工学の基礎知識を持ち活用できる。〔基礎工学知識の活用力〕
- (C) 情報セキュリティ技術、ネットワークシステム技術、コミュニケーションソフトウェア技術を修得し、これらを現実の問題解決に応用できる。〔情報ネットワークの提案・設計・開発能力〕
- (D) 課題を解決するために、情報を収集、整理、分析し、問題解決のための計画、方策を立案して推進できる。〔問題解決のための計画・方策の立案力・実行力〕
- (E) 技術文書の作成、発表、討論において、正確かつ論理的に情報を伝えるコミュニケーション能力を持つとともに、他者と協働して活動できる。〔技術文書作成能力、他者と協働して活動できる能力〕

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

#### ①社会的要請

『第5期科学技術基本計画』（平成28（2016）年1月閣議決定）において、狩猟社会、

農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな社会である Society 5.0 の実現に向けた取組の推進が掲げられた。IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術が進展し、我が国は、これら先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会である Society 5.0 の実現を目指している。『科学技術イノベーション総合戦略 2017』（平成 29（2017）年 6 月閣議決定）では、「Society 5.0 を実現していくには、そのために必要な基盤技術を牽引する人材の育成・確保が不可欠である。特に、必要な基盤技術を支える横断的な科学技術である数理科学や計算科学技術、データサイエンスの振興や人材育成が重要」としている。

実世界で測定され、収集、蓄積されるデータの爆発的増加に伴い、蓄積されたデータを分析し、ビジネスに有用な新たな価値を創造するデータサイエンティストの需要は急増している。経済産業省の『IT 人材需給に関する調査』（平成 31（2019）年 3 月）では、2018 年時点で IT 人材の不足数は 22 万人、2030 年に 45 万人不足すると試算（中位シナリオ）し、さらに「AI やビッグデータ、IoT 等、第 4 次産業革命に対応した新しいビジネスの担い手として、付加価値の創出や革新的な効率化等により生産性向上等に寄与できる IT 人材」と定義される先端 IT 人材は 2030 年に 27～55 万人不足すると試算している。また、「AI を実現する数理モデルについての研究者や AI 機能を搭載したソフトウェアやシステムの開発者、AI を活用した製品・サービスの企画・販売者」とする AI 人材は 2018 年時点で 3.4 万人、2030 年に 12.4 万人不足すると試算（平均シナリオ）。政府の統合イノベーション戦略推進会議は令和元（2019）年 6 月に『AI 戦略 2019』を策定し、年間 25 万人の AI 人材（データサイエンス・AI を理解し、各専門分野で応用できる人材）を育成する目標を掲げた。

このように、本学が養成しようとするデータサイエンティスト、IT 人材、AI 人材に対する需要は将来にわたって見込まれており、社会的要請は大きい。

## ②企業等への採用意向調査

本学情報科学部既設学科卒業生の就職実績を参考に、データサイエンス学科卒業生の就職先として想定される企業の人事採用担当者を対象に調査を実施し、257 社から回答を得た。回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は 23.7%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は 68.1% であり、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できたと考えられる。回答企業の本社所在地は、「東京都」が 42.8% と最も多く、次いで本学の所在地である「大阪府」が 30.7% であった。回答企業の業種としては、「情報通信業」が 61.9% と最も多く、次いで「サービス業」が 10.5%、「金融・保険業」が 8.2% と多い。回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「100 名以上」が 22.2% で最も多く、すべての企業が毎年、1 名以上の正規社員を採用している。

データサイエンス学科の社会的必要性については、99.2%（255 企業）が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学科であると評価している。

データサイエンス学科卒業生に対する採用意向については、「採用したいと思う」と答

えた企業は 95.7% (246 企業) で採用想定人数の合計は 674 名と、予定している入学定員 70 名を大きく上回っている。

また、業種別に見ると、「採用したいと思う」と答えた割合は、製造業 95.0%、情報通信業 98.1%、金融・保険業 90.5%、複合サービス事業／サービス業 93.3%で、「その他」(左記以外)でも 88.9%であった。業種に関係なく採用意向が高いことがわかる。

**【資料 14】** 大阪工業大学「情報科学部データサイエンス学科」(仮称) 設置に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】

### ③情報科学部既設学科の求人状況、就職状況

本学の令和元(2019)年度情報科学部就職希望学生に寄せられた企業等からの求人件数は総計で、延べ 12,583 件に達している(令和 2(2020)年 3 月 1 日現在)。これは一過性のものではなく毎年度、高水準を保持している。また、昨今求人がインターネットに移行した状況に鑑みれば、この数字を超えるニーズがあると考えられる。

**【資料 15】** 情報科学部既設学科の求人状況

また、令和元(2019)年 8 月の『サンデー毎日』の記事にもあるように、平成 30(2018)年度 1,000 人以上の卒業生を輩出している大学の中で、本学の実就職率が全国 3 位であったことは、本学の教育に対する社会的な評価の一端を示すものであると考える。

以上のように、情報科学部既設学科卒業生の就業に関しても十分な社会的な需要があると判断される。

**【資料 16】** 「全国 240 大学実就職率ランキング」卒業生数 1,000 人以上(『サンデー毎日』2019 年 8 月 4 日号)

## 「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料目次

- 【資料 1】 情報分野の志願者数等の推移（河合塾『ガイドライン』2019年10月号）
- 【資料 2】 情報科学部既設学科の志願者数、合格者数、入学者数、定員超過率の推移
- 【資料 3】 オープンキャンパス来場者数の推移（枚方キャンパス）
- 【資料 4】 類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学一覧
- 【資料 5】 類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学の志願状況
- 【資料 6】 大阪工業大学「情報科学部データサイエンス学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書【高校生対象調査】
- 【資料 7】 類似する学部・学科等を持つ近隣他大学の学生納付金
- 【資料 8】 情報科学部データサイエンス学科 広報用リーフレット
- 【資料 9】 情報科学部データサイエンス学科 特設サイト
- 【資料10】 高校2年生（受験初年度対象者）向けダイレクトメール
- 【資料11】 受験情報誌への掲載広告
- 【資料12】 令和元（2019）年度大阪工業大学入試説明会 実施報告
- 【資料13】 令和元（2019）年度オープンキャンパス来場者数
- 【資料14】 大阪工業大学「情報科学部データサイエンス学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書【企業対象調査】
- 【資料 15】 情報科学部既設学科の求人状況
- 【資料 16】 「全国 240 大学実就職率ランキング」卒業者数 1,000 人以上（『サンデー毎日』2019 年 8 月 4 日号）

1. 書類等の題名

本文 2 ページ

定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

【資料1】 情報分野の志願者数等の推移（河合塾『ガイドライン』2019年10月号）

2. 出典

雑誌名：Guideline（ガイドライン）

出版元：河合塾

号数等：2019年10月号

<https://www.keinet.ne.jp/magazine/guideline/backnumber/19/10/gaku.pdf>

3. 引用範囲

注目の学部・学科 数理・データサイエンス

P46 <図表2> 情報分野の志願者数・倍率の推移

4. その他の説明

なし

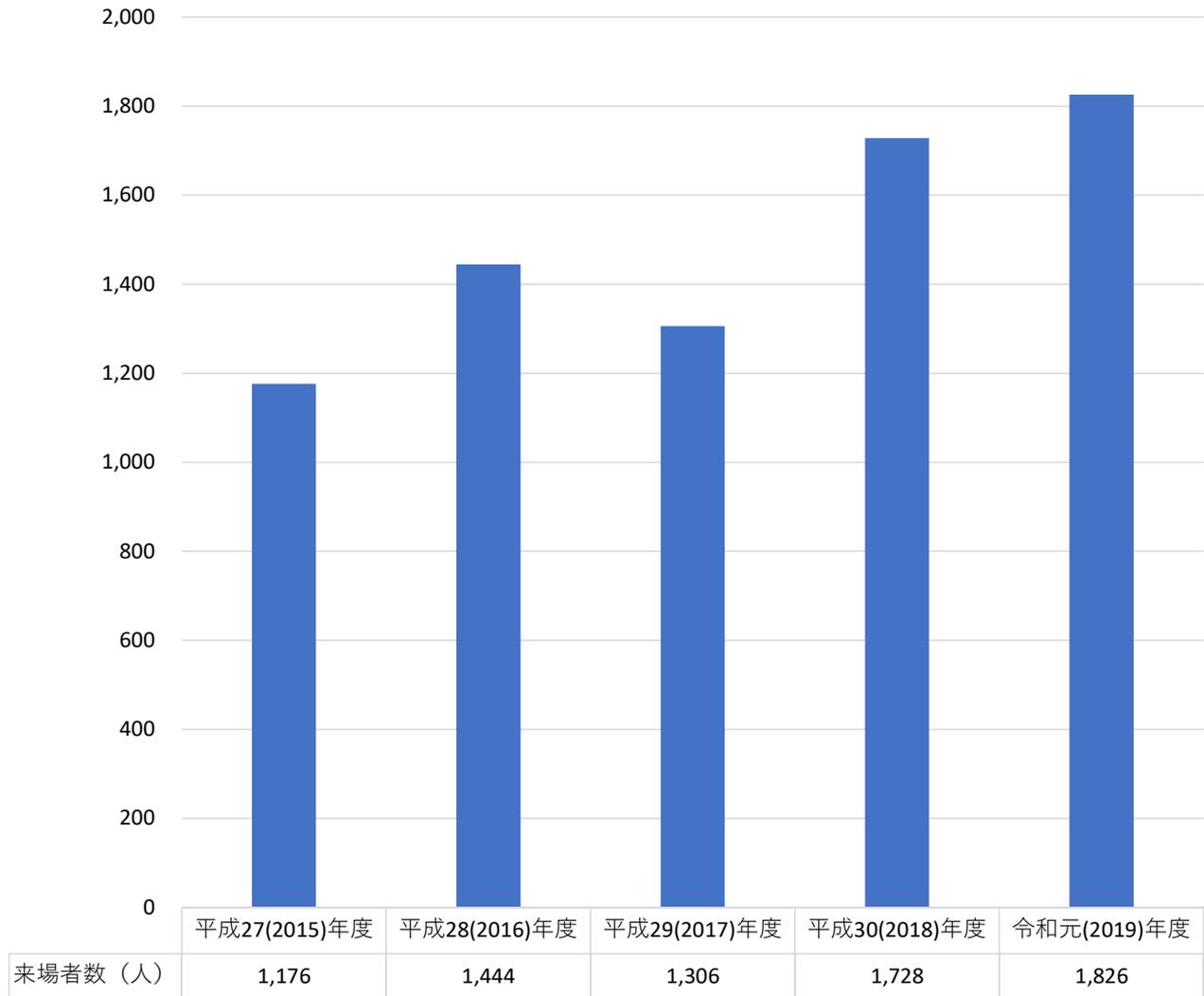
【資料2】 情報科学部既設学科の志願者数、合格者数、入学者数、定員超過率の推移

年度	情報科学部既設4学科	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数	定員超過率
平成27 (2015) 年度	コンピュータ科学科	95	834	331	102	1.07
	情報システム学科	95	1,157	349	109	1.15
	情報メディア学科	95	871	337	106	1.12
	情報ネットワーク学科	95	545	287	105	1.11
	合計	380	3,407	1,304	422	1.11
平成28 (2016) 年度	コンピュータ科学科	95	845	273	110	1.16
	情報システム学科	95	1,163	291	101	1.06
	情報メディア学科	95	1,185	304	103	1.08
	情報ネットワーク学科	95	599	284	106	1.12
	合計	380	3,792	1,152	420	1.11
平成29 (2017) 年度	コンピュータ科学科	105	579	281	103	0.98
	情報システム学科	105	1,568	268	99	0.94
	情報メディア学科	105	966	300	111	1.06
	情報ネットワーク学科	105	551	245	107	1.02
	合計	420	3,664	1,094	420	1.00
平成30 (2018) 年度	コンピュータ科学科	105	703	279	97	0.92
	情報システム学科	105	1,964	256	92	0.88
	情報メディア学科	105	1,120	248	102	0.97
	情報ネットワーク学科	105	597	237	96	0.91
	合計	420	4,384	1,020	387	0.92
令和元 (2019) 年度	情報知能学科※	105	1,176	370	98	0.93
	情報システム学科	105	2,357	312	115	1.10
	情報メディア学科	105	1,935	290	106	1.01
	ネットワークデザイン学科※	105	676	330	116	1.10
	合計	420	6,144	1,302	435	1.04

※令和元（2019）年度、学科名称変更

以上

【資料3】オープンキャンパス来場者数の推移（枚方キャンパス）



【資料4】 類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学一覧

大学・学部・学科			コース等	所在地	開設年
滋賀大学	データサイエンス学部	データサイエンス学科		滋賀県彦根市	平成29 (2017) 年
立命館大学	情報理工学部	情報理工学科	先端社会デザイン コース	滋賀県草津市	平成29 (2017) 年
	理工学部	数理科学科	データサイエンス コース		令和2 (2020) 年
龍谷大学	先端理工学部	数理・情報科学課程		滋賀県大津市	令和2 (2020) 年
京都産業大学	情報理工学部	情報理工学科	データサイエンス コース	京都府京都市	平成30 (2018) 年
関西大学	総合情報学部	総合情報学科	社会情報システム系	大阪府高槻市	平成19 (2007) 年
大和大学	理工学部	理工学科	数理科学専攻	大阪府吹田市	令和2 (2020) 年
兵庫県立大学	社会情報科学部	社会情報科学科		兵庫県神戸市	平成31 令和元 (2019) 年

以上

【資料5】類似する学部・学科・コース等を持つ近隣他大学の志願状況（一般入試・センター利用）

大学・学部・学科	年度	入試日程等	志願者数 (a)	募集定員 (b)	a/b
滋賀大学 データサイエンス学部 データサイエンス学科 平成29（2017）年開設	平成29 （2017） 年度※1	前期日程	203	80	4.9
		後期日程	186		
		計	389		
	平成30 （2018） 年度※1	前期日程	156	80	3.7
		後期日程	140		
		計	296		
	平成31/令和 元（2019） 年度※1	前期日程	209	70	6.0
		後期日程	209		
		計	418		
兵庫県立大学 社会情報科学部 社会情報学科 平成31/令和元（2019年）開設	平成31/令和 元（2019） 年度※2	前期	180	80	10.7
		中期	674		
		計	854		
京都産業大学 情報理工学部 情報理工学科 平成30（2018）年開設	平成30 （2018） 年度※3	前期スタンダード3科目	937	89	47.3
		前期高得点重視3科目	734		
		前期スタンダード2科目	230		
		前期高得点重視2科目	181		
		前期センタープラス	689		
		センター前期4科目	288		
		センター前期5科目	256		
		中期スタンダード3科目	282		
		中期高得点重視3科目	229		
		中期センタープラス	143		
		後期	182		
		センター後期	59		
	計	4,210			
	平成31 令和元 （2019） 年度※3	前期スタンダード3科目	896	87	47.5
		前期高得点重視3科目	700		
		前期スタンダード2科目	199		
		前期高得点重視2科目	162		
		前期センタープラス	675		
		センター前期4科目	278		
		センター前期5科目	246		
		中期スタンダード3科目	286		
		中期高得点重視3科目	241		
		中期センタープラス	149		
		後期	228		
センター後期		73			
計	4,133				

大学・学部・学科	年度	入試日程等	志願者数 (a)	募集定員 (b)	a/b
立命館大学 情報理工学部 情報理工学科 平成29 (2017) 年開設	平成29 (2017) 年度 ※4	全学統一	1,648	266	17.7
		学部個別配点方式	492		
		センター併用 情報理工学部型	430		
		センター+面接	4		
		後期分割	312		
		センター7科目	730		
		センター5科目	559		
		センター3科目	480		
		センター後期	66		
		<b>計</b>	<b>4,721</b>		
		平成30 (2018) 年度 ※4	全学統一		
	学部個別配点方式		628		
	センター併用 情報理工学部型		542		
	センター+面接		4		
	後期分割		224		
	センター7科目		794		
	センター5科目		687		
	センター3科目		469		
	センター後期		24		
	<b>計</b>		<b>5,384</b>		
	平成31/ 令和元 (2019) 年度 ※5		全学統一	1,722	266
		学部個別配点方式	533		
		センター併用 情報理工学部型	459		
		センター+面接	4		
		後期分割	180		
		センター7科目	600		
		センター5科目	458		
		センター3科目	555		
		センター後期	25		
		<b>計</b>	<b>4,536</b>		

大学・学部・学科	年度	入試日程等	志願者数 (a)	募集定員 (b)	a/b
関西大学 総合情報学部 総合情報学科	平成29 (2017) 年度 ※6	学部個別日程・全学部日程	3,270	280	18.8
		後期日程	868		
		センター前期	607		
		センター中期	450		
		センター後期	78		
		計	5,273		
	平成30 (2018) 年度 ※6	学部個別日程・全学部日程	3,418	280	19.1
		後期日程	959		
		センター前期	475		
		センター中期	434		
		センター後期	48		
		計	5,334		
	平成31/ 令和元 (2019) 年度 ※6	学部個別日程・全学部日程	4,413	280	23.2
		後期日程	672		
		センター前期	682		
		センター中期	671		
		センター後期	45		
		計	6,483		

出典

- ※1 滋賀大学公式ホームページ (入学者選抜資料 平成29年度、30年度、31年度)
- ※2 兵庫県立大学公式ホームページ (入学者選抜実施結果\_平成31年度)
- ※3 京都産業大学入試ガイド2018、2019
- ※4 各入試年度入試調査結果調査 (ベネッセコーポレーション調べ)
- ※5 立命館大学入試ガイド2019
- ※6 関西大学入試ガイド2017、2018、2019

以上

---

---

大阪工業大学  
「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【高校生対象調査】

---

---

令和1年12月  
株式会社 進研アド

# 高校生対象 調査概要

## 1. 調査目的

2021年4月開設予定の大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	7,537人(52校)
	有効回収数 (回収校数)	5,034人(41校) 有効回収率:66.8%
調査時期		2019年10月2日(水)～2019年11月15日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・性別</li><li>・高校種別</li><li>・高校所在地</li><li>・所属クラス</li><li>・高校卒業後の希望進路</li><li>・興味のある学問系統</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への受験意向</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への入学意向</li></ul>

## 高校生対象 調査結果まとめ



# 高校生対象 調査結果まとめ

## 回答者の属性

※本調査は、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」に対する需要を確認するための調査として設計。大阪工業大学の主な学生募集エリアと想定される三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、5,034人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が72.8%、「女性」が26.7%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が43.9%、「私立」が56.1%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、大阪工業大学の所在地である「大阪府」が64.4%を占め、最も高い。次に「兵庫県」が23.3%、「京都府」が6.7%と続く。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が61.0%を占め、最も高い。次に「文系クラス(文系コース)」が16.8%、「その他」が15.7%と続く。

## 高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」が60.3%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が42.4%、「就職」が13.0%と続く。私立大学への進学志望者が多いことから、大阪工業大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の学びと関連する「工学」が39.9%で最も高い。次いで、「理学」が24.4%、「経済・経営・商学」が15.8%と続く。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において6割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「B. データの分析結果から課題を見つけ、その有効な解決策や新たな知識を見出すことで、製造・販売・流通・教育・健康・スポーツ・防災・農業・食などのさまざまな分野の企業や社会に貢献する。」(72.2%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も27.9%で最も高い。

次いで魅力度が高いのは、「A. 社会や企業で得られた膨大(ぼうだい)で多様なデータを教材にして、AI(人工知能)やアプリを使った実践的なデータ分析を学ぶ。」(71.1%)である。以下、「D. 経営や仕事の現場において、AIをはじめとするIT(情報技術)とデータ分析を駆使して、データサイエンスに裏付けられた改善を推進したり、新たな価値を生み出すことができる人材を育成する。」(67.3%)、「C. 地方自治体などの行政機関や企業と連携して、リアルで具体的な課題解決に取り組む。このために、世代、業種などの枠を超えたチームを編成し、協力してデータの分析から解決策の提案・実現までを体験的に学ぶ。」(64.2%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への受験意向／入学意向

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」を「受験したいと思う」と答えた人は、17.4% (877人)である。
- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」を「受験したいと思う」と答えた877人のうち、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」に「入学したいと思う」と回答した人は、87.1% (764人)である。

# 高校生対象 調査結果まとめ

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への 入学意向者数

※ここからは、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向は、15.2% (5,034人中、**764人**)。予定している入学定員数70名を大きく上回っている。

### <属性別>

#### ◇性別

- 「男性」の入学意向は18.2% (3,663人中、**668人**)で、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。また、「女性」の入学意向についても6.6% (1,342人中、**89人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

#### ◇高校所在地別

- 大阪工業大学の所在地である「大阪府」の高校在籍者からの入学意向は15.1% (3,241人中、**490人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。また、隣接する「兵庫県」の高校在籍者からの入学意向は15.2% (1,174人中、**178人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

#### ◇所属クラス別

- 「理系クラス(理系コース)」在籍者からの入学意向は18.1% (3,070人中、**557人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

# 高校生対象 調査結果まとめ

---

## ◇高校卒業後の希望進路別

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は18.1% (3,035人中、**550人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

## ◇興味のある学問系統別

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の学問内容と関連する「工学」に興味がある回答者の入学意向は25.2% (2,009人中、**507人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。また、「経済・経営・商学」に興味がある回答者の入学意向は17.0% (796人中、**135人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

## ◇大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度別

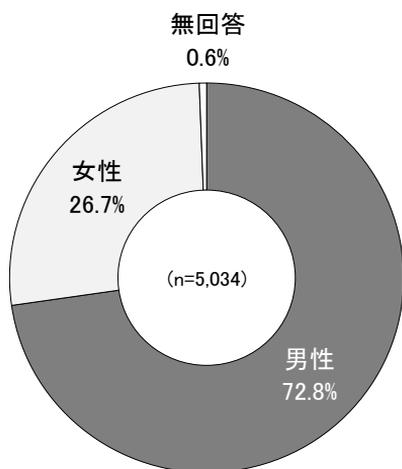
- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも20%程度みられ、新学科の特色に魅力を感じた人からの入学意向が高い傾向がうかがえる。

## 高校生対象 調査結果

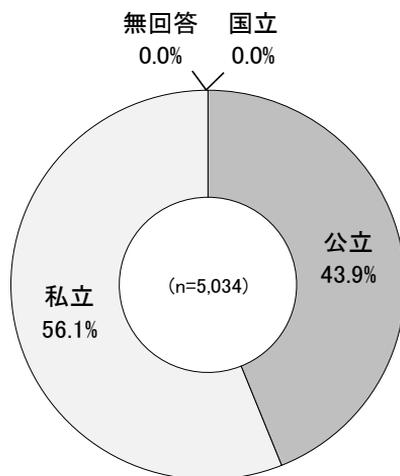


# 回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

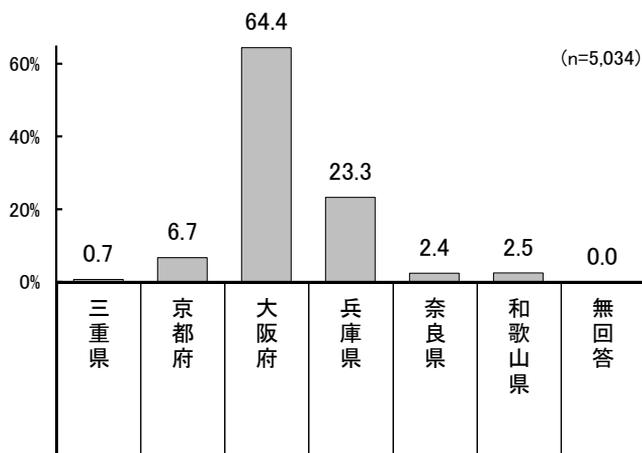
## ■性別



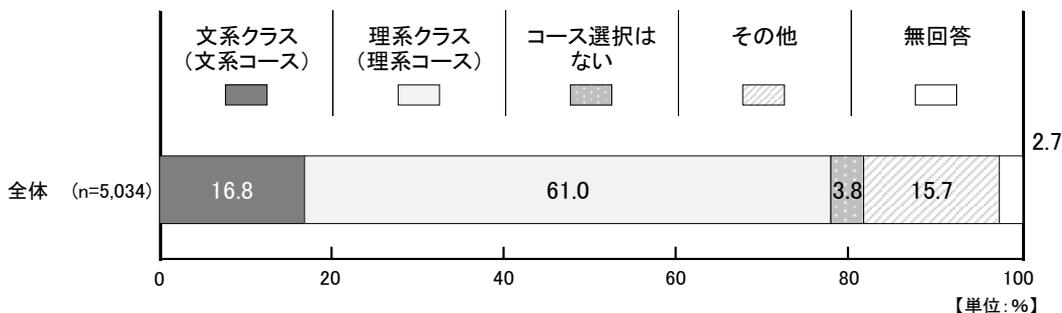
## ■高校種別



## ■高校所在地



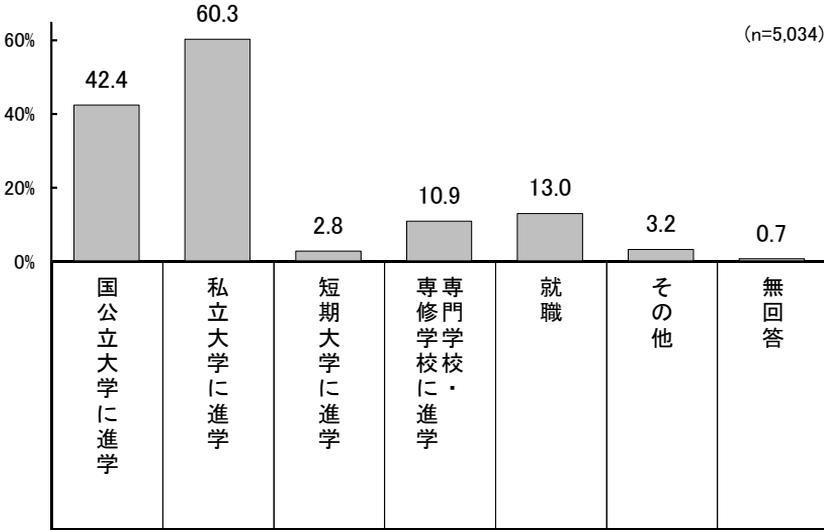
## ■所属クラス



# 高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

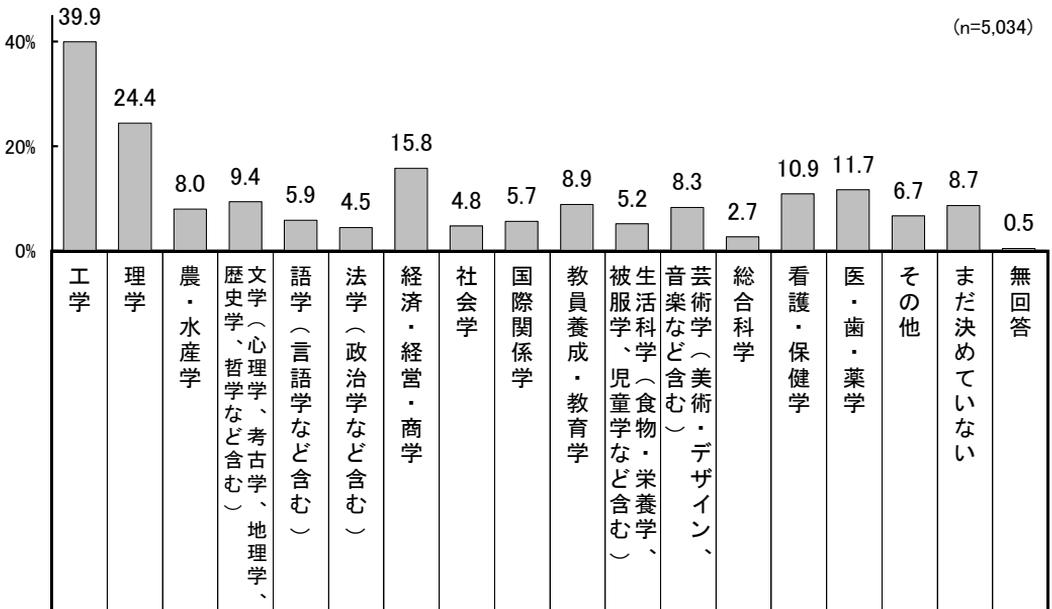
## ■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



## ■興味のある学問系統

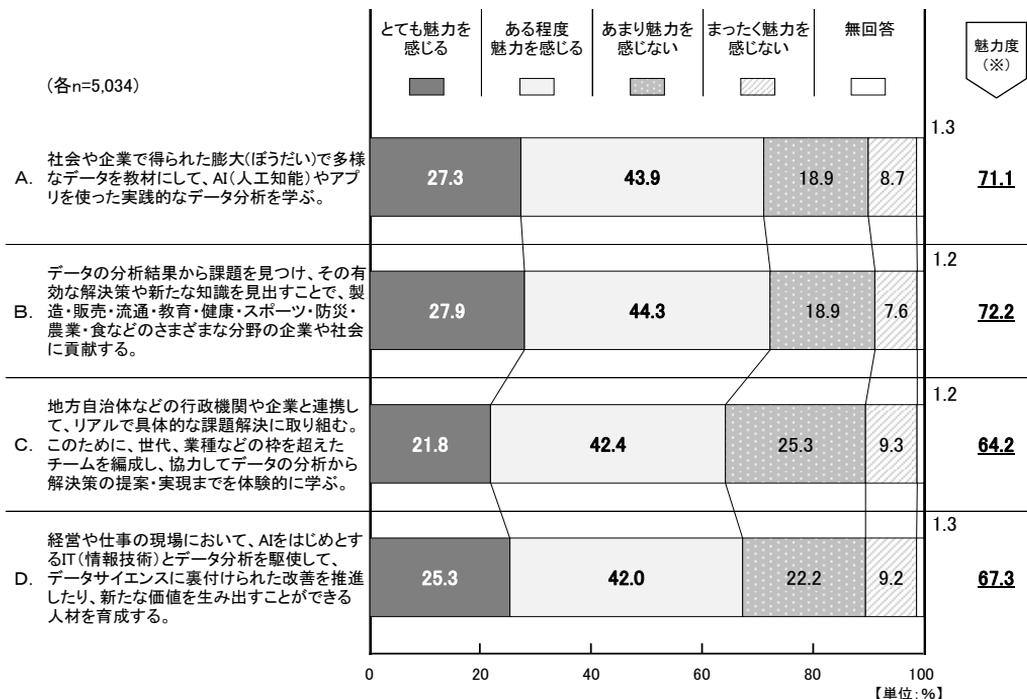
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。  
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)  
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



# 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度

Q3. 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



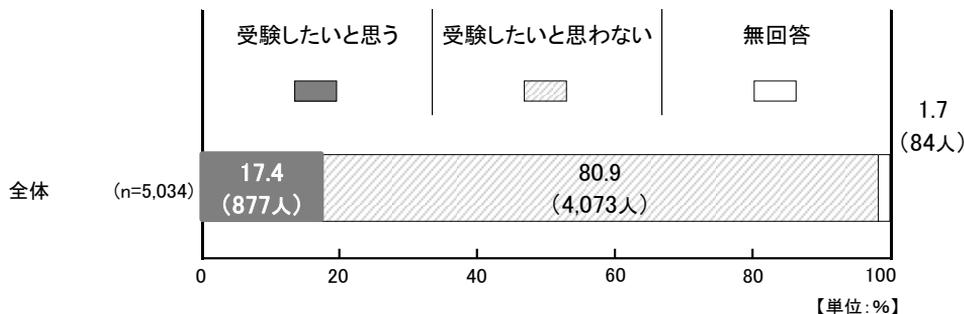
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への 受験意向／入学意向

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への受験意向

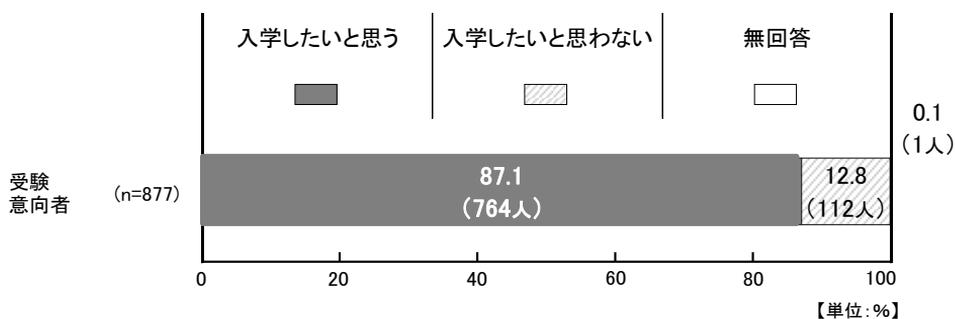
Q4. あなたは、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた877人のみ抽出

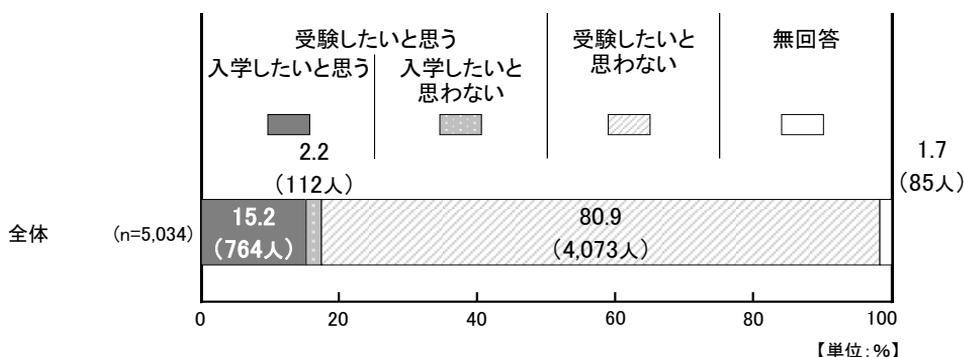
## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への入学意向

Q5. あなたは、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)に合格したら、入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を  
かけあわせて集計(母数は全回答者)

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への受験意向別入学意向

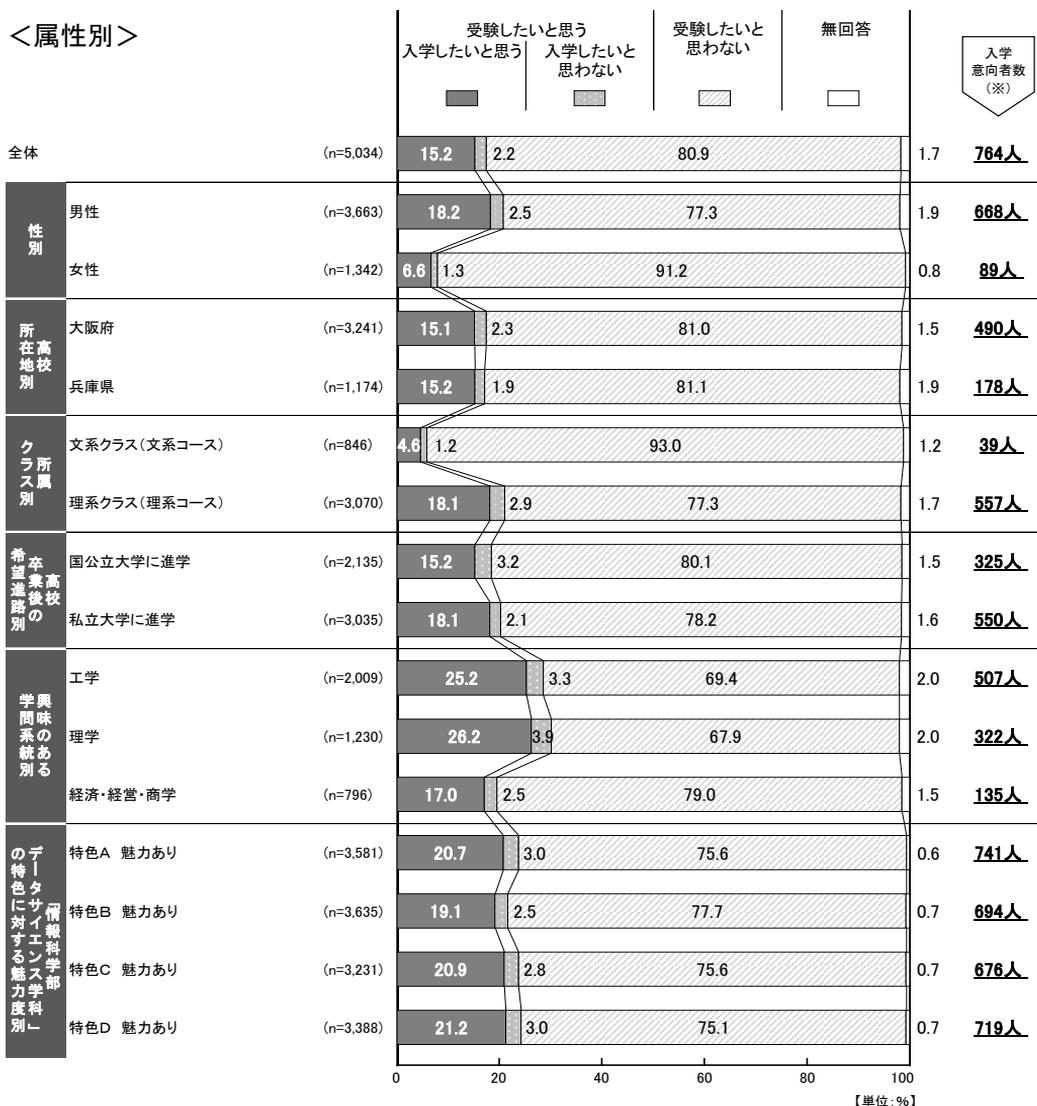


# 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への 受験意向別入学意向<属性別>

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」への受験意向別入学意向 <属性別>

※大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「入学したいと思う」と回答した人を入学意向者と定義し、分析を行う。

### <属性別>



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「入学したいと思う」と回答した人の人数

## 卷末資料 調查票



# 調査票

## 大阪工業大学 情報科学部 データサイエンス学科（仮称、設置構想中） に関するアンケート

大阪工業大学では2021年(令和3年)4月より、「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称)を新設することを構想しています。

このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見を伺いし、大阪工業大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

記入の際は、あてはまる番号に「○」印をつけてください。  
 この用紙は、複製処理しますので汚さないようにしてください。  
 記入にあたっては、必ず鉛筆又はシャープペンシルで書くようにしてください。  
 下記の【正しい記入例】にしたがって記入してください。特に、重複丸印がはみ出さないように「○」印をつけてください。

【正しい記入例】

あなたは、どのような学問に興味がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

正しい記入例

○ 文学 ○ 法学 ○ 社会学 ○ 心理学 ○ 教育学 ○ 国際関係

### ◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	1. 男性	2. 女性	学年 (1つに○)	1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [ ] 都・道・府・県 国立・公立・私立 (←1つに○) [ ] 高等学校					
所属クラス (1つに○)	1. 文系クラス (文系コース)		3. コース選択はない			
	2. 理系クラス (理系コース)		4. その他			

### ◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きします。

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。  
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- |            |                 |        |
|------------|-----------------|--------|
| 1. 国立大学に進学 | 3. 短期大学に進学      | 5. 就職  |
| 2. 私立大学に進学 | 4. 専門学校・専修学校に進学 | 6. その他 |

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。

以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)  
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- |                                       |                                      |              |
|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------|
| 1. 工学                                 | 7. 経済・経営・商学                          | 13. 総合科学     |
| 2. 理学                                 | 8. 社会学                               | 14. 看護・保健学   |
| 3. 農・水産学                              | 9. 国際関係学                             | 15. 医・歯・薬学   |
| 4. 文学<br>(心理学、考古学、地理学、<br>歴史学、哲学など含む) | 10. 教員養成・教育学                         | 16. その他      |
| 5. 語学(言語学など含む)                        | 11. 生活科学<br>(食物・栄養学、被服学、<br>児童学など含む) | 17. まだ決めていない |
| 6. 法学(政治学など含む)                        | 12. 芸術学(美術・デザイン、音楽など含む)              |              |

裏面へ続く→



【資料7】 類似する学部・学科等を持つ近隣他大学の学生納付金

大学	学部	学科等	1年次				2年次			3年次			4年次			合計
			入学金	授業料	教育充実費 ／実験実習 費／施設費	諸費										
大阪工業大学	情報科学部	データサイエンス学科	250,000	1,290,000	100,000	13,700	1,290,000	200,000	13,200	1,290,000	200,000	13,200	1,290,000	200,000	13,200	6,163,300
立命館大学	情報理工学部	情報理工学科	200,000	1,566,200	-	23,000	1,566,200	-	15,000	1,566,200	-	15,000	1,566,200	-	15,000	6,532,800
立命館大学	理工学部	数理工学科	200,000	1,509,400	-	23,000	1,509,400	-	15,000	1,509,400	-	15,000	1,509,400	-	15,000	6,305,600
龍谷大学	先端理工学部	数理・情報科学課程	260,000	1,029,000	223,600	33,000	1,029,000	483,600	13,500	1,029,000	483,600	13,500	1,029,000	483,600	43,500	6,153,900
京都産業大学	情報理工学部	情報理工学科	270,000	989,000	245,000	19,500	992,000	510,000	6,500	992,000	510,000	6,500	992,000	510,000	16,500	6,059,000
関西大学	総合情報学部	総合情報学科	260,000	1,302,000	-	27,000	1,432,000	-	27,000	1,432,000	-	7,000	1,432,000	-	7,000	5,926,000
大和大学	理工学部	理工学科	180,000	1,430,000	-	50,000	1,560,000	-	35,000	1,560,000	-	35,000	1,560,000	-	35,000	6,445,000

※他大学の学生納付金は各大学のHPより（令和2(2020)年度入学者の学生納付金）

# データを使い、 世界を動かせ。



情報科学部 DEPARTMENT OF DATA SCIENCE

## データサイエンス学科 (仮称)

2021年4月開設予定 (設置構想中)

※学科の編成等は予定であり、今後変更になる場合があります。

 OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY  
大阪工業大学  
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

時代のニーズが高まる分野、  
データサイエンス。  
あふれるデータを分析し、  
新たな価値を生み出す  
プロになる。

### ❖ データサイエンスとは？

データサイエンスとは、多種多様なデータをもとに新たな価値を創造するための学問。情報処理や統計学、AIなどを駆使してデータを研究・分析することで、膨大なデータから新たな価値を生み出し、社会の発展に役立てます。

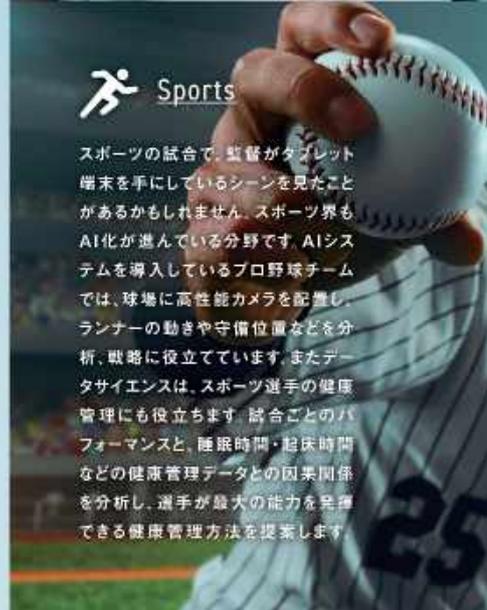
### ❖ ICT(情報通信技術)に強い大阪工業大学 だからできる、文理融合の新たな学び。

データサイエンスのプロフェッショナルをめざすには、情報技術や数理統計、経営システムなど、文系・理系の枠を超えた多様な知識が必要です。本学情報科学部は、既存の理系4学科\*との有機的に連携した学びを展開。既存4学科がICTを「作る人」をめざすのに対し、価値創造マインドや課題解決能力、コミュニケーション能力を備えたICTを「使いこなす人」をめざします。1922年の開学以来「現場で活躍できる知的専門職業人」を育成してきた大阪工業大学。未来のデータサイエンティストを育成する環境が整っています。

\* 既存の理系4学科：情報科学部 情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科



**CASE.1**  
SNSの書き込みから  
AIが好みのファッション  
をキャッチ。



### 🏃 Sports

スポーツの試合で、監督がタブレット端末を手にしているシーンを見たことがあるかもしれませんが、スポーツ界もAI化が進んでいる分野です。AIシステムを導入しているプロ野球チームでは、球場に高性能カメラを配置し、ランナーの動きや守備位置などを分析、戦略に役立てています。またデータサイエンスは、スポーツ選手の健康管理にも役立ちます。試合ごとのパフォーマンスと、睡眠時間・起床時間などの健康管理データとの因果関係を分析し、選手が最大の能力を発揮できる健康管理方法を提案します。

## 情報科学部 データサイエンス学科(仮称) 2021年4月開設予定

本学科では、社会や企業などで得られる膨大で多様なデータを、AIやアプリを使って実践的に分析する手法を学びます。それらの分析結果から課題を見つけ、有効な解決策や新たな価値を見出すことで、製造・販売・流通・教育・健康・スポーツ・防災・農業・食などのさまざまな分野の企業や社会で活躍できる人材を育成します。

### POINT 1 データ分析→課題発見→解決。 情報を使いこなす文理融合の学び。

実在するデータを使用し、アプリやプログラミングなどのITスキルを高め、分析力を磨きます。シミュレーションや演習、プロジェクト等を通じて、意思決定力やコミュニケーション力を鍛え、経営システムも学ぶことで価値創造マインドを身に付けます。ITスキル・データ分析力・価値創造マインドを育成する文理融合の学びが、データサイエンティストとして活躍できる力を伸ばします。

### POINT 2 情報技術で機器やシステムを作る、既存4学科と連携。

情報科学部の既存4学科とチームを組み、AI・IoTを基盤としたシステム開発など、課題解決のためのデータ分析から実装までを一貫して学びます。他学科には最新の情報通信技術を修得する学生たちが集います。本学科では、データサイエンス的アプローチを学ぶだけでなく、AI・IoTやICTの技術を身に付け、データ分析や問題解決能力を養います。



### Social Networking Service

SNSに上がってくる広告が、欲しいものや気になる商品だったこと、ありませんか？実はそれ、SNSに書き込んだ言葉やアップした写真をAIが検知して、関連する広告を表示しているのです。「○○(ブランド名)のスカートめっちゃかわいい」などと書き込んだ文章から、ブランド名や好みのデザインなどをAIがデータとして検知、検索履歴やよく見るサイト・画像などもデータとして検知され、SNSやインターネットの広告表示、企業のブランディング・マーケティングに利用されています。

実はこんなところにも！  
『データサイエンスのなせる技』

## CASE.2

選手のあらゆる動きをAIで分析。監督の采配を支える。

## CASE.3

レーンを回る寿司の鮮度や売上状況のビッグデータを分析。



### Food

回転寿司の大手チェーンでは、レーンを回る寿司の鮮度や売上状況を管理しています。いつ、どこの店舗で、どんな寿司がレーンに流れ、いつ食べられたか等のデータを、寿司皿につけたICタグで把握。年間10万件以上にもなるビッグデータで需要予測し、レーンに流す寿司の種類や量をコントロールしています。他にもデータサイエンスは、健康年齢を改善する食生活の提案にも役立ちます。定期健診データから将来の健康状態を予測し、摂取カロリーなどから食生活を分析、その人に適した「健康レシピ」の推薦に活用されています。

ビジネスシーンや暮らしの中に、さまざまなかたちでデータサイエンスが活用されており、社会が発展していくためにも欠かせないこの学問には、無量の可能性が広がっています。大塚工業大学でデータサイエンティストを一緒にめざしませんか？

### (設置構想中)

POINT

### 3 企業・行政と連携した実践的PBL教育。

大阪の地で約100年の歴史を刻んできた本学は、公的機関と連携した「地域産業支援プラットフォーム」などの産官学連携に数多く取り組んでいます。本学科では企業・行政との連携を生かし、現場のデータで演習を行う実践的PBL教育(問題解決型学習)や共同研究でスキルを磨きます。

連携先の例 金融・保険会社 / メーカー / IT企業 / 病院 / 製薬会社 / ヘルスケア企業 / 小売・物流会社 / 建設会社 / 食品会社 / 農家 / 行政(防災・減災・防災・福祉・福祉など)

### めざす進路(具体的な活躍分野)

データサイエンティストとして、さまざまな産業や官公庁・地方自治体においてデータ解析能力を活かした価値創造が期待されます。どのような分野においても、データに基づく意思決定は必須のものとなっています。以下にデータサイエンティストが活躍できる具体的な例を挙げます。

- 製造業(製品開発・企画、マーケティング、品質管理、イノベーション)
- 金融・保険業(商品開発・企画、クウォンツ、ビッグデータ解析、データコンサルタント)
- ITを中心とした広告・流通企業(商品開発・企画、世論調査・社会調査、データマイニング)
- 官公庁・地方自治体(公的データの作成、データに基づく政策決定)
- 中学・高校を含む教育機関(数学および情報の教員、教育効果の分析、教育コンテンツの開発)
- IT企業(付加価値を創造するSE、データアナリスト)
- 経営コンサルタント

## ※ 本学科の目的、養成する人材像

情報処理技術に加えて数理統計に関連する基礎知識と問題解決能力を身につけることで、新たな価値を創造できるデータサイエンスのプロフェッショナル人材を養成します。具体的には右記に掲げる能力の習得を目指します。

- 情報処理技術およびデータの収集・分析から得られた成果の活用が人や社会および自然等に及ぼす影響を理解し、それらの改善に取り組むことができる。
- 社会システムの発展・改良に向け、広い視野および倫理的な視点から判断し、行動できる。
- 情報処理技術および数理統計に関連する基礎知識を有しており適用できる。
- 課題の背景を理解する能力を有しており、データの収集・分析に基づいた問題解決ならびに価値創造を提案することができる。
- 自分の考えを論理的かつ正確に伝え、かつ、相手を理解するために必要なコミュニケーション能力を有し、他者と協働して活動することができる。

## ※ 開設予定科目

データサイエンス実践演習I・II / プログラミング基礎 / 人工知能 / 価値創造演習 / データマイニング / IoT概論 / 統計解析 / モデリングとシミュレーション / マーケティング論 / 発想法と問題解決 / データ構造とアルゴリズム など

入学定員 70名

学費

初年次納付金 1,640,000円 / 2年次以降 1,490,000円

※学費は情報科学部の2020年度入学生の学費に基づいており、変更となる場合があります。正式な学費は、2021年度学生募集要項等で公表します。

## ※ 情報科学部 データサイエンス学科(仮称)で身に付ける能力



## 類似する学部学科(他大学)

- 滋賀大学 / データサイエンス学部 データサイエンス学科
- 兵庫県立大学 / 社会情報科学部 社会情報科学科
- 京都産業大学 / 情報理工学部 情報理工学科(データサイエンスコース)
- 立命館大学 / 情報理工学部 情報理工学科(先端社会デザインコース)
- 鎌倉大学 / 先端理工学部 数理・情報科学課程
- 関西大学 / 総合情報学部 総合情報学科(社会情報システム系)
- 大和大学 / 理工学部 理工学科(数理学専攻)

## 交通アクセス

枚方キャンパス 〒573-0196 大阪府枚方市北山1丁目79-1

- JR学研都市線長尾駅から、京阪バス「北山中央」「大阪工大前」下車すぐ  
※授業期間内の平日には直通便も運行
- 京阪本線線業(くずは)駅、枚方市駅から、京阪バス「北山中央」「大阪工大前」下車すぐ
- JR京橋駅から 31分(JR快速・京阪バス) □ 京阪祇園四条駅から 42分(京阪特急・京阪バス)

[入試部(大宮キャンパス)]

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1  
TEL:06-6954-4086

<https://www.oit.ac.jp>



データサイエンス学科(仮称)の詳細は随時更新中。詳しくはwebをチェック!

大阪工業大学 データサイエンス学科 検索

<https://www.oit.ac.jp/is/datascience/>



- 枚方キャンパス 【情報科学部】 データサイエンス学科(2021年4月開設予定・設置構想中) / 情報知能学科 / 情報システム学科 / 情報メディア学科 / ネットワークデザイン学科
- 大宮キャンパス 【工学部】 都市デザイン工学科 / 建築学科 / 機械工学科 / 電気電子システム工学科 / 電子情報システム工学科 / 応用化学科 / 環境工学科 / 生命工学科
- 知財財産学部 知的財産学科
- 毎日キャンパス 【ロボティクス&デザイン工学部】 ロボット工学科 / システムデザイン工学科 / 空間デザイン学科

発行:2019年10月

大阪工業大学 情報科学部 データサイエンス学科  
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

データサイエンスとは | 教育の特色 | 新学科の位置づけ

## データサイエンス学科 (2021年 開設予定 (設置構想中))

設置計画は現在構想中です。  
また、設置計画は予定であり、内容に変更があり得ます。

今後、さまざまなビジネス分野で戦略的にデータを扱うために、  
数理的思考をもち、データを分析・活用できる人材が求められています。  
本学科は、さまざまなデータから新たな価値を創造できる人材(データサイエンティスト)の育成を目指します。

CASE 01	CASE 02	CASE 03	CASE 04
<p><b>Sport</b> スポーツ</p>	<p><b>Health care</b> 健康</p>	<p>野球やサッカーの試合ごとのパフォーマンスと、睡眠時間・起床時間などの健康管理データとの因果関係を分析し、プレーヤーにとって最大の運動能力を発揮できる最適な健康管理方法を提案してくれます。</p>	

本学科での学びは、次のような考えの人にマッチします。

- ・ 時代の変化から生まれるリアルな課題解決に興味がある
- ・ 人や社会にかかわる課題解決に挑戦したい
- ・ ビックデータ処理やデータマイニングなどにより新しい発見を目指したい
- ・ 課題の背景を理解し、データを基にした解決方法を検討する能力を身に付けたい
- ・ 情報システムの企画・設計から開発までを体得したい
- ・ AIやデータ分析のアプリを使って仕事を進めたいと考えている

## ✦ データサイエンス学科における教育の特色 ✦

アプリを使ってデータ分析を学ぶのか!!  
これなら僕にもできそ  
うだ。



### ITスキル



大量のデータを収集・保管・活用だけ  
でなく、価値創造を実現するためにも、  
情報技術は欠かせません。

社会や企業に価値ある  
知恵を提供するという  
視点が大切なのです  
ね。



### データ分析力



データ分析のための基礎理論を  
学びます。そして、AIやアプリを  
使って分析する能力を磨きます。

### 価値創造力

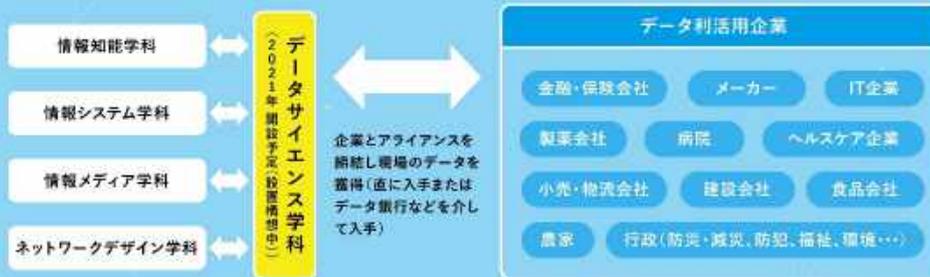


課題の背景を理解するための知  
識を身につけます。また、チーム  
で問題解決を図るための演習も  
あります。

- ・ 社会や企業の課題に対するデータサイエンス的アプローチを学ぶだけではありません。既設4学科とチームになりAI/IT(情報技術)を基盤としたシステム開発も含んでいます。課題解決のために分析から実装までの一貫した問題解決に挑戦する機会があります。
- ・ 1年次ではアプリの使い方やプログラミングの基礎を学び、2年次からは社会や企業のデータとアプリを使って分析力を磨きます。

- ・シミュレーションや演習、プロジェクト等を通して、**意思決定力**や**コミュニケーション力**を鍛えます。
- ・情報科学部において培われた**教育プログラム**により、**ITスキル**を高めます。
- ・ジョイントした企業と、**PBL**や**共同研究**などを介して、**価値創造力**を実践的に学びます。

## ✦ データサイエンス学科の位置づけ ✦



- ・企業や地方自治体などの行政機関と連携することで**実際のデータ**を獲得し、その分析を通じて**新しい価値**を生み出すための研究を推進します。
- ・情報科学部の**開設4学科**の有する**情報技術**と**データ活用企業**の課題解決を適合させる役割を果たします。
- ・AI/IT(情報技術)の開発よりも**AI/ITを使いこなせる人材**を育成します。



プレビューイメージ（配信予定日：2019/11/29）

タイトル

【**京都産業大学**と一緒に検討したい大学情報】社会が求める新しい分野の学びにチャレンジ!

本文

こんにちは。Benesse編集室のアキモトです。

皆さんはまだ2年生ですが、そろそろ進路について本格的に考え始める季節になりました。来年をイメージして早めに受験の準備に入りましょう。

今回は、滋賀県の高校に通うあなたに、**京都産業大学**と一緒に志望校登録されることが多い**大阪工業大学**の情報をお届けします！  
ぜひ、大学研究の参考にしてください。

「/ご紹介する大学/」

[大阪工業大学](#)

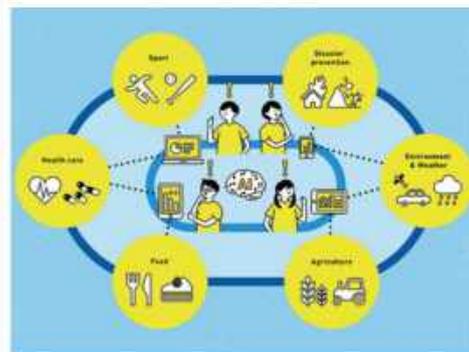
==INDEX=====

●[今注目の「データサイエンス」って何だろう？](#)

●[文理融合で学ぶ新しいデータサイエンス](#)

=====

今注目の「データサイエンス」って何だろう？



工学系に興味のあるあなたは、時代のニーズが高まる分野である「データサイエンス」を知っていますか？

「データサイエンス」とは、多種多様なデータをもとに新たな価値を創造するための学問。情報処理や統計学、AIなどを駆使してデータを研究・分析することで、膨大なデータから新たな価値を生み出し、社会の発展に役立てるものです。

日本政府もデータサイエンスに注目しており、「情報社会」(Society4.0)のさらに先を行く「超スマート社会」(Society5.0)の基盤的技術としてAIを位置づけています。内閣府を中心としたAI戦略の一つとして本分野の人材育成が急がれており、文系・理系にかかわらずデータサイエンス教育の展開が求められています。そのためさまざまな大学で、データサイエンス教育に向けた環境整備が進んでおり、今後

ますます重要になる分野なのです。

では、このデータサイエンスが活用されているシーンの一例を紹介しましょう。

**CASE1.】 SNSの書き込みからAIが好みのファッションをキャッチ**

SNSに上がってくる広告が、欲しいものや気になる商品だったこと、ありませんか？ 実はそれ、SNSに書き込んだ言葉やアップした写真をAIが検知して、関連する広告を表示しているのです。検索履歴やよく見るサイト・画像などもデータとして検知され、SNSやインターネットの広告表示、企業のブランディング・マーケティングに利用されています。

**CASE2.】 選手のあらゆる動きをAIで分析、監督の采配を支える**

スポーツ界もAI化が進んでいる分野です。AIシステムを導入しているプロ野球チームでは、球場に高性能カメラを配置し、ランナーの動きや守備位置などを分析、戦略に役立てています。また、試合ごとのパフォーマンスと、睡眠時間・起床時間などのデータとの因果関係を分析し、選手が最大の能力を発揮できるよう健康管理のサポートにも役立てています。

**CASE3.】 鮮度や売り上げ状況などから、寿司の種類や量をコントロール**

回転寿司の大手チェーンでは、レーンを回る寿司の鮮度や売り上げ状況を管理しています。いつ、どの店舗でどんな寿司がレーンに流れ、いつ食べられたか等のデータを寿司皿につけたICタグで把握。これらのデータを活用して、レーンに流す寿司の種類や量をコントロールしています。

このように、ビジネスシーンや暮らしの中に、さまざまななかたちでデータサイエンスが活用されています。社会のニーズに応えるべく、データサイエンス分野のプロを育てる新しい学部・学科がどんどん設置されています。

**文理融合で学ぶ新しいデータサイエンス**



「データサイエンス」の分野を学ぶ学部・学科がさまざまな大学に設置されるなか、2021年4月には、大阪工業大学情報科学部にデータサイエンス学科（※）が新設される予定です。

※仮称・設置構想中。設置計画は予定であり、内容等変更

なる場合があります。

データサイエンスのプロをめざすには、情報技術や数理統計、経営システムなど、文系・理系の枠を超えた多様な知識が必要です。大阪工業大学 情報科学部には現在、情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科があり、ICT（情報通信技術）を「作る人」をめざす教育が展開されています。このように「ICTに強い大学」だからこそ、未来のデータサイエンティストを育成する環境が整っているといえるでしょう。

・めざす進路

- 新たな価値創造を行えるSE（金融系、流通系、製造系、教育系、公共系）
- ITを中心とした広告・流通企業（ECサイト運営会社）
- 製造業（製品開発・企画、インダストリアルエンジニア）
- 金融・保険業（商品開発・企画）
- 官公庁・地方自治体（公開データに基づくアナリスト）
- 中学・高校を含む教育機関（数学および情報の教員、教育効果の分析、教育用コンテンツの開発）
- 経営コンサルタント

[>>データサイエンス学科（※）の詳細はこちら](#)

[▲TOPに戻る](#)



2021年度開設予定 新しい大学・学部・学科情報

大阪工業大学

新しい  
学科

●情報科学部  
データサイエンス学科\*

\*学科名等、記述内容は変更になる場合があります。  
\*設置構想中

設置予定地 大阪府枚方市北山1-79-1

問い合わせ先 入試部(大宮キャンパス)  
TEL (06) 6954-4086(歳)

アクセス

●枚方キャンパス(情報科学部) 京阪本線「樟葉」駅、JR学研都市線「長尾」駅からバスで「北山中央」「大阪工大」下車すぐ ※JR「長尾」駅からは直通バスも運行

大学パンフを取り寄せる

「普通のはがきをお送り」/ スマートフォン・PCから  
アクセス

大学パンフコード  
3633



[送付先] 大学案内など  
[発送時期] 随時  
[料金] 無料

manavision.jp

情報科学部

データサイエンス学科

設立のねらい

多様なデータを分析し  
新たな価値を生み出す

情報化がますます進展する近年、ビジネスのあらゆる現場で大量の情報(ビッグデータ)を活用することが増え、「データサイエンス」へのニーズが高まっています。データサイエンスとは、情報処理や統計学、AIなどを駆使して多種多様なデータを研究・分析することで、膨大なデータから新たな価値を生み出し、社会の発展に役立てるといふものです。

データサイエンスのプロフェッショナルをめざすには、情報処理技術に加え、数理統計、経営システムなど、文系・理系の枠を超えた多様な知識が必要です。本学の情報科学部は、既存の理系4学科

(情報知能学科、情報システム学科、情報メディア学科、ネットワークデザイン学科)と有機的な連携により、『データサイエンティスト』を育成する環境を整えています。

何を学ぶか

情報科学部既存4学科と連携し、文理融合の学びを展開

情報科学部の既存4学科と連携し、AI・IoTをベースとしたシステム開発など、課題解決のためのデータ分析から実装までを一貫して学びます。他学科ではICT(情報通信技術)を「作る人」をめざすのに対し、同学科では価値創造マインドや課題解決能力、コミュニケーション能力を備えたICTを「使いこなす人」をめざします。データサイエンス的アプローチを学ぶだけでなく、AI・IoTやICTの技術を身に付け、『データサイエンティスト』として必要な能力を身に付けます。

卒業後の進路

ニーズの高いスキルを生かし  
社会の多様な場で活躍

『データサイエンティスト』の能力を身に付けることにより、さまざまな分野や企業で活躍することができます。

【めざす進路】

- 製造業(製品開発・企画、マーケティング、品質管理、イノベーション)
- 金融・保険業(商品開発・企画、クウォンツ、ビッグデータ解析、データコンサルタント)
- ITを中心とした広告・流通企業(商品開発・企画、世論調査・社会調査、データマイニング)
- 官公庁・地方自治体(公的データの作成、データに基づく政策決定)
- 中学・高校を含む教育機関(数学および情報の教員、教育効果の分析、教育コンテンツの開発)
- IT企業(付加価値を創造するSE、データアナリスト)
- 経営コンサルタント



文理融合の学びを展開する。



既存の理系4学科との有機的な連携により、データサイエンティスト育成の環境を整備。

【資料12】

令和元(2019)年度大阪工業大学入試説明会 実施報告について

1. 実施概要

開催地	開催日	会場	出席数		
			2019年度	2018年度	2017年度
梅田	6月3日(月)	梅田キャンパス	74校77人	61校62人	52校53人
京都	6月13日(木)	TKPガーデンシティ京都	28校28人	27校29人	26校27人
神戸	6月14日(金)	神戸三宮東急REIホテル	14校14人	29校29人	16校16人
大宮	6月18日(火)	大宮キャンパス	40校41人	地震の影響により中止 (申込数:33校34人)	59校63人※1
姫路	6月21日(金)	ホテル日航姫路	20校20人	7校7人※2	15校16人※2

合計 176校180人 157校161人※3 168校175人

(対象:高校・予備校等教員)

※1 梅田会場(2回目)実績 ※2 奈良会場実績 ※3 未開催の大阪会場の申込数含む

2. 実施内容

開催地	実施内容
梅田	【挨拶】 本学の取り組みについて
	【新学科紹介】 情報科学部 データサイエンス学科について
	【入試説明】 2019年度入試結果総括 2020年度入試概要 2021年度入試について
	【トピック紹介】 ロボティクス&デザイン工学部のめざす教育
	【キャンパス見学】 ・20階 デザイン演習室(空間デザイン学科) ・15階 学生実験室(ロボット工学科) ・14階 研究フロア(システムデザイン工学科) ・6階 ラーニングコモンズ
	個別懇談

開催地	実施内容
大阪 (大宮)	<p align="center"><b>【挨拶】</b> 本学の取り組みについて</p>
	<p align="center"><b>【新学科紹介】</b> 情報科学部 データサイエンス学科について</p>
	<p align="center"><b>【入試説明】</b> 2019年度入試結果総括 2020年度入試概要 2021年度入試について</p>
	<p align="center"><b>【キャンパス見学】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10号館1～3階 ものづくりセンター</li> <li>・1号館1階 モノラボアネックス</li> <li>・2号館1～5階 建築学科新拠点</li> </ul>
	<p align="center">個別懇談</p>
京都 神戸 姫路	<p align="center"><b>【挨拶】</b> 本学の取り組みについて</p>
	<p align="center"><b>【新学科紹介】</b> 情報科学部 データサイエンス学科について</p>
	<p align="center"><b>【入試説明】</b> 2019年度入試結果総括 2020年度入試概要 2021年度入試について</p>
	<p align="center">学生活動報告</p>
	<p align="center">個別懇談</p>

以上

## 令和元(2019)年度 オープンキャンパス 来場者数

開催日・キャンパス	男	女	保護者等 (その他子供含む)	計
3/17(日)・梅田キャンパス ※全学部対象、2019年初実施	472	104	286	862
7/14(日)・枚方キャンパス	445	56	222	723
※前年度と比較	413 108%	55 102%	206 108%	674 107%
7/21(日)・梅田キャンパス	440	111	316	867
※前年度と比較	470 94%	157 71%	306 103%	933 93%
8/3(土)・大宮キャンパス	1,305	212	632	2,149
※前年度と比較	1,406 93%	195 109%	547 116%	2,148 100%
8/4(日)・梅田キャンパス	611	195	427	1,233
※前年度と比較	676 90%	203 96%	501 85%	1,380 89%
8/12(月・休)・枚方キャンパス	651	99	353	1,103
※前年度と比較	651 100%	91 109%	312 113%	1,054 105%
8/25(日)・大宮キャンパス	945	162	549	1,656
※前年度と比較	834 113%	151 107%	625 88%	1,610 103%
計	4,397	835	2,499	8,593
	4,450 99%	852 98%	2,497 100%	7,799 110%

---

---

大阪工業大学  
「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称)  
設置に関するニーズ調査  
結果報告書  
【企業対象調査】

---

---

令和1年12月  
株式会社 進研アド

# 企業対象 調査概要

## 1. 調査目的

2021年4月開設予定の大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

## 2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業・団体の採用担当者
調査エリア		青森県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、福井県、長野県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	600社
	回収数(回収率)	257社(42.8%)
調査時期		2019年10月2日(水)～2019年10月25日(金)
調査実施機関		株式会社 進研アド

## 3. 調査項目

企業対象調査
<ul style="list-style-type: none"><li>・人事採用への関与度</li><li>・本社所在地</li><li>・勤務先の主な業種</li><li>・従業員数</li><li>・正規社員の平均採用人数</li><li>・本年度の採用予定数</li><li>・採用したい学問分野</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の社会的必要性</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生に対する採用意向</li><li>・大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生の毎年の採用想定人数</li></ul>

## 企業対象 調査結果まとめ



# 企業対象 調査結果まとめ

## 回答企業(回答者)の属性

※本調査は、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、257企業から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は23.7%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人は68.1%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、「東京都」が42.8%で最も高い。次いで大阪工業大学の所在地である「大阪府」が30.7%、「愛知県」が5.4%である。
- 回答企業の業種としては「情報通信業」が61.9%で最も高い。次いで「サービス業」が10.5%、「金融・保険業」が8.2%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が38.1%で最も高い。次いで「1,000名～5,000名未満」が29.6%、「500名～1,000名未満」が17.1%である。

## 回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「100名以上」が22.2%で最も高い。次いで「10名～20名未満」が18.7%、「50名～100名未満」が17.1%である。すべての企業が毎年、1名以上の正規社員を採用している。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が57.6%で最も高い。次いで「増やす」が28.4%である。回答企業の多くで昨年と同等かそれ以上の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「工学分野」が55.3%で最も高い。次いで「理学分野」が41.2%、「学んだ学問分野にはこだわらない」が40.5%である。

# 企業対象 調査結果まとめ

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で9割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「A. 社会や企業で得られた膨大(ぼうだい)で多様なデータを教材にして、AI(人工知能)やアプリを使った実践的なデータ分析を学ぶ。」  
「B. データの分析結果から課題を見つけ、その有効な解決策や新たな知識を見出すことで、製造・販売・流通・教育・健康・スポーツ・防災・農業・食などのさまざまな分野の企業や社会に貢献する。」が同率で並び、いずれも96.9%である。

次に魅力度が高いのは「C. 地方自治体などの行政機関や企業と連携して、リアルで具体的な課題解決に取り組む。このために、世代、業種などの枠を超えたチームを編成し、協力してデータの分析から解決策の提案・実現までを体験的に学ぶ。」(95.7%)、「D. 経営や仕事の現場において、AIをはじめとするIT(情報技術)とデータ分析を駆使して、データサイエンスに裏付けられた改善を推進したり、新たな価値を生み出すことができる人材を育成する。」(95.3%)である。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の社会的必要性

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の社会的必要性については、99.2% (255企業)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業からこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価されていることがうかがえる。

# 企業対象 調査結果まとめ

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、95.7% (**246企業**)である。
- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた246企業へ、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**674名**で、予定している入学定員数70名を大きく上回っている。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

### <属性別>

#### ◇本社所在地別

- 「西日本」エリアに本社がある企業からの採用意向は、93.4% (121企業中、**113企業**)。採用想定人数の合計は**261人**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。「大阪府」に本社がある企業からの採用意向は、93.7% (79企業中、**74企業**)。採用想定人数の合計は**197人**で、予定している入学定員数を2倍以上上回っている。

#### ◇業種別

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の学問内容と関連する「情報通信業」の企業からの採用意向は、98.1% (159企業中、**156企業**)。採用想定人数の合計は**420人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。また、「製造業」「金融・保険業」では、採用意向の割合が90%以上、「その他(上記以外)」でも80%以上と高く、多様な業種で安定した人材需要がうかがえる。

# 企業対象 調査結果まとめ

---

## ◇本年度の採用予定数別

- 本年度の採用予定数を「採用予定あり(増やす・昨年度並み・減らす)」と回答した企業からの採用意向は、96.2%(235企業中、**226企業**)。採用想定人数の合計は**633人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

## ◇採用したい学問分野別

- 「工学分野」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、96.5%(142企業中、**137企業**)。採用想定人数の合計は**395人**で、予定している入学定員数を大きく上回っている。

## ◇大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度別

- 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に魅力を感じている企業からの採用意向は、いずれの特色でも9割を超えており、また、採用人数の合計も同様に、予定している入学定員数をすべて大きく上回っている。

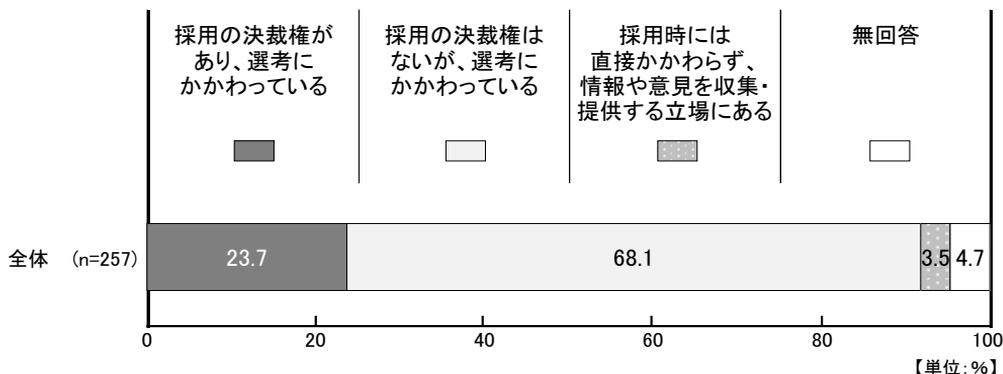
## 企業対象 調査結果



# 回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

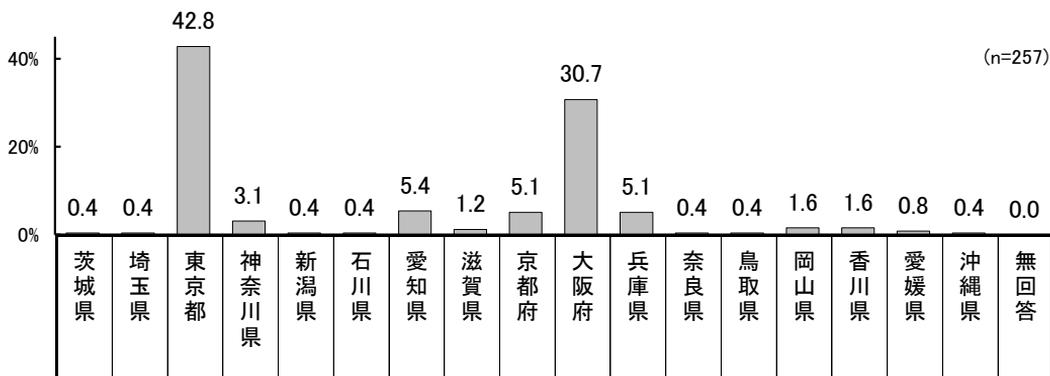
## ■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本社所在地

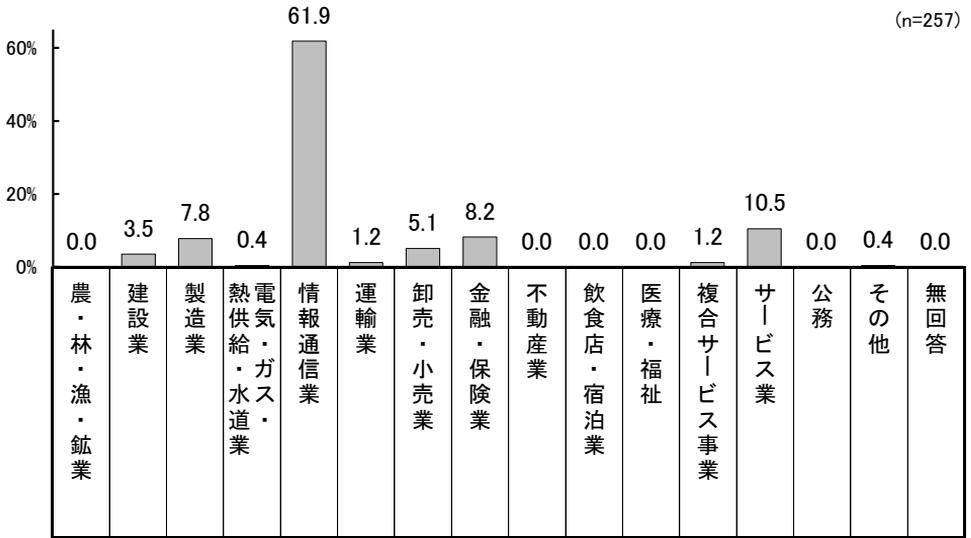
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



# 回答企業(回答者)の属性(勤務先の主な業種/従業員数)

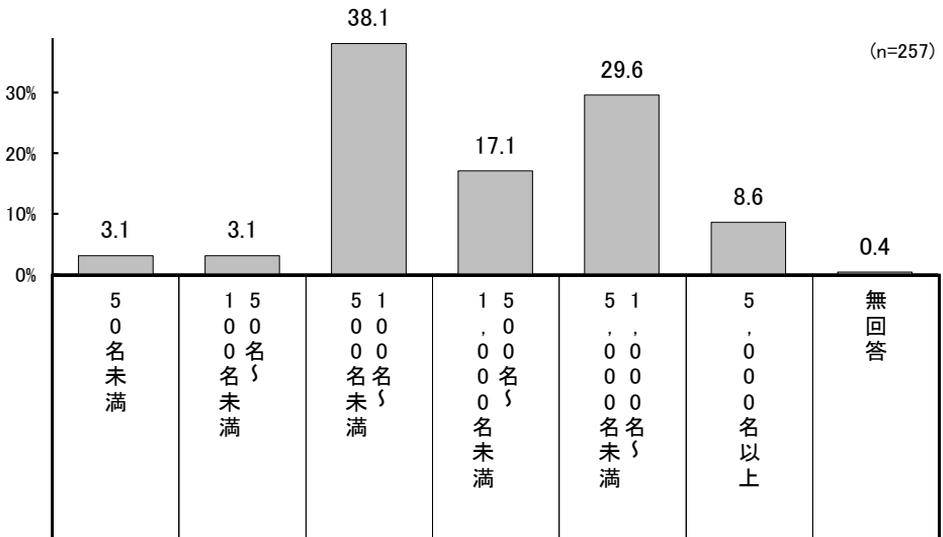
## ■勤務先の主な業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



## ■従業員数

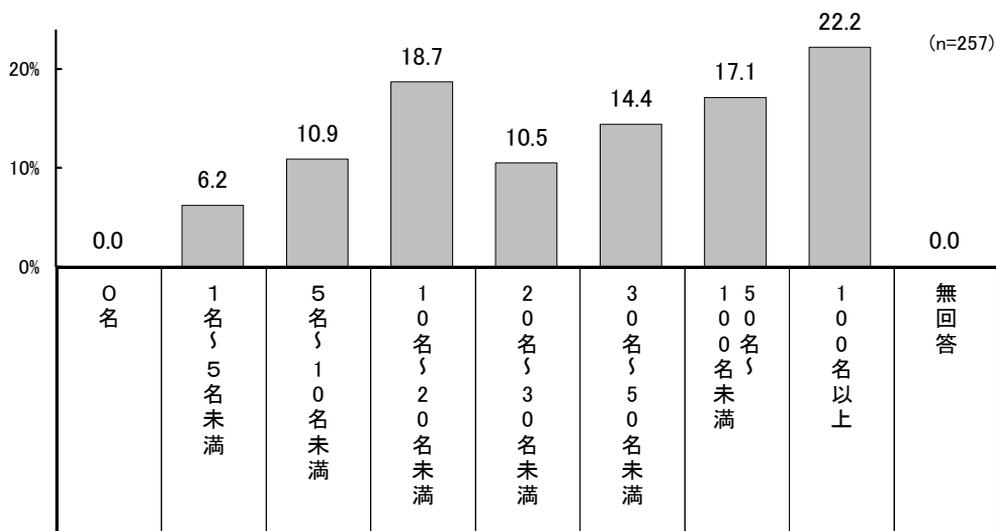
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



# 正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

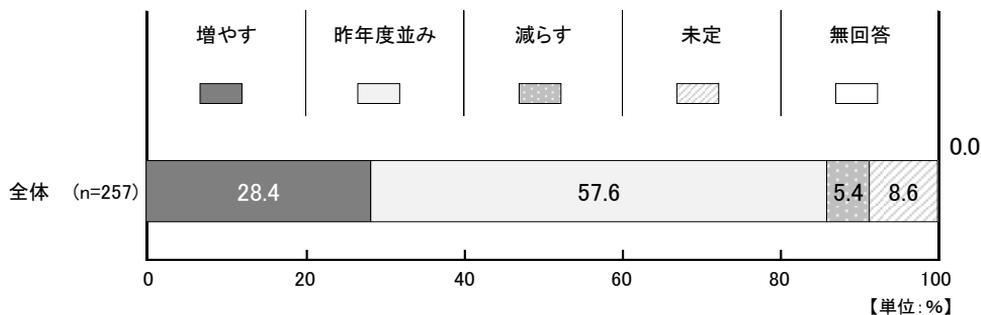
## ■正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



## ■本年度の採用予定数

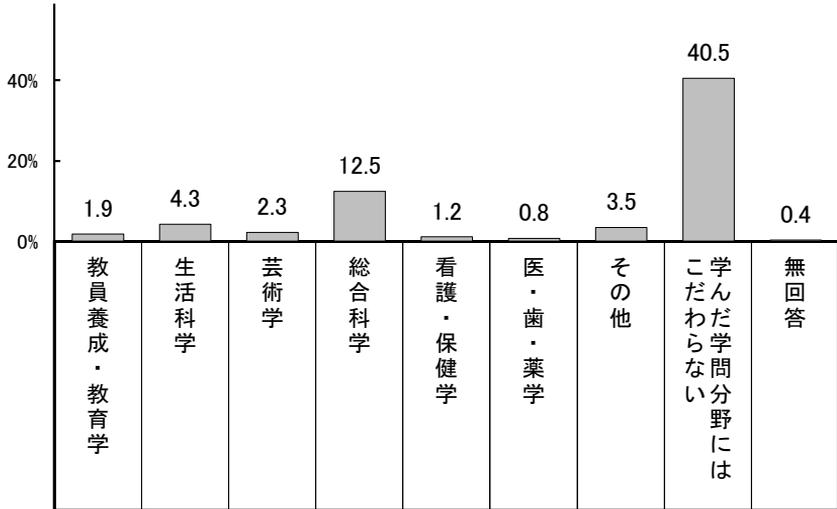
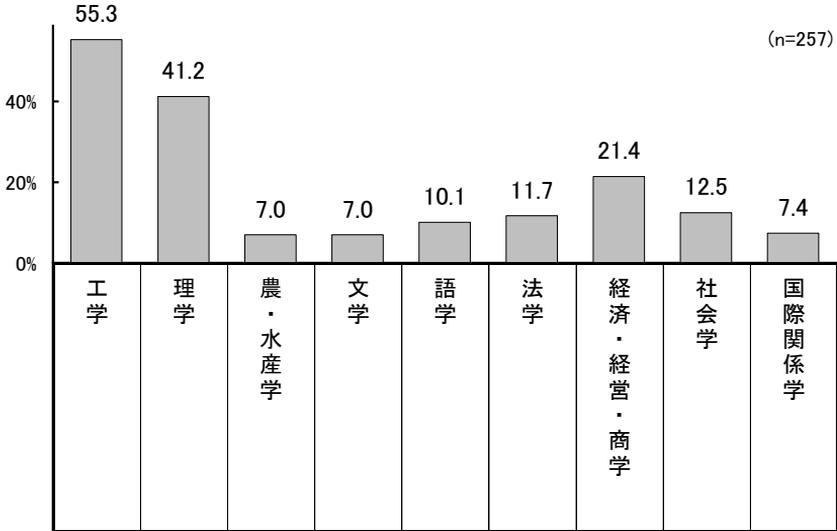
Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



# 採用したい学問分野

## ■採用したい学問分野

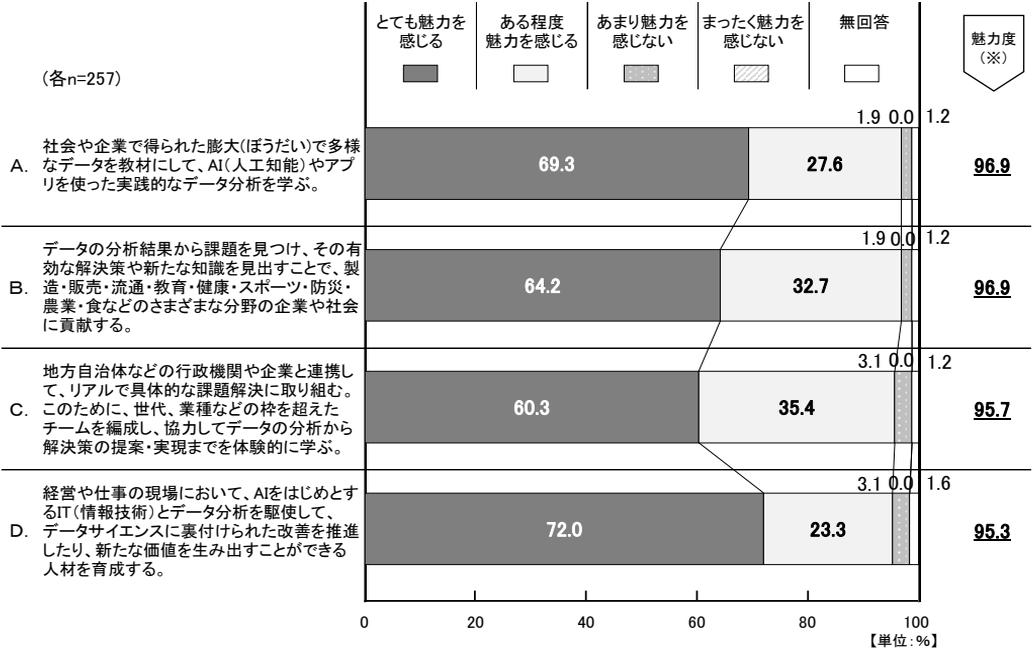
Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。  
 (あてはまる番号すべてに○)



# 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の特色に対する魅力度

Q8. 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



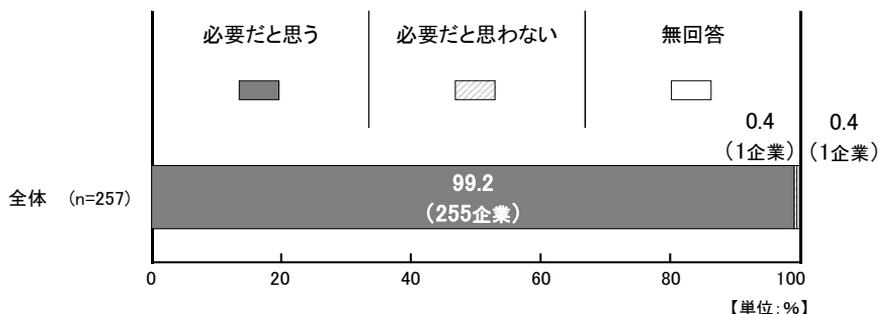
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

# 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

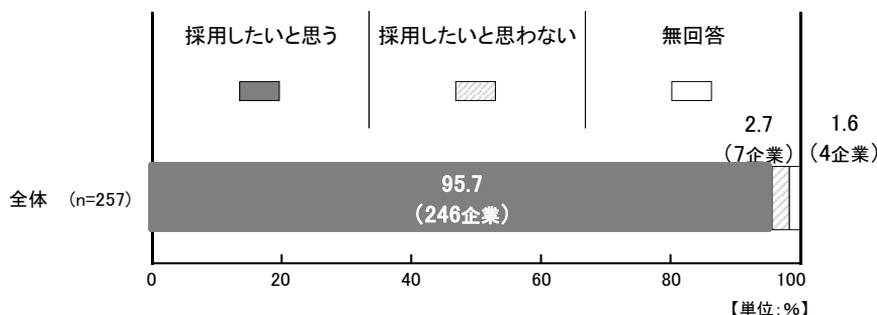
## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた246企業のみ抽出

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。

採用を考える場合、大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、毎年何名程度の採用を想定されますか。(あてはまる番号1つに○)

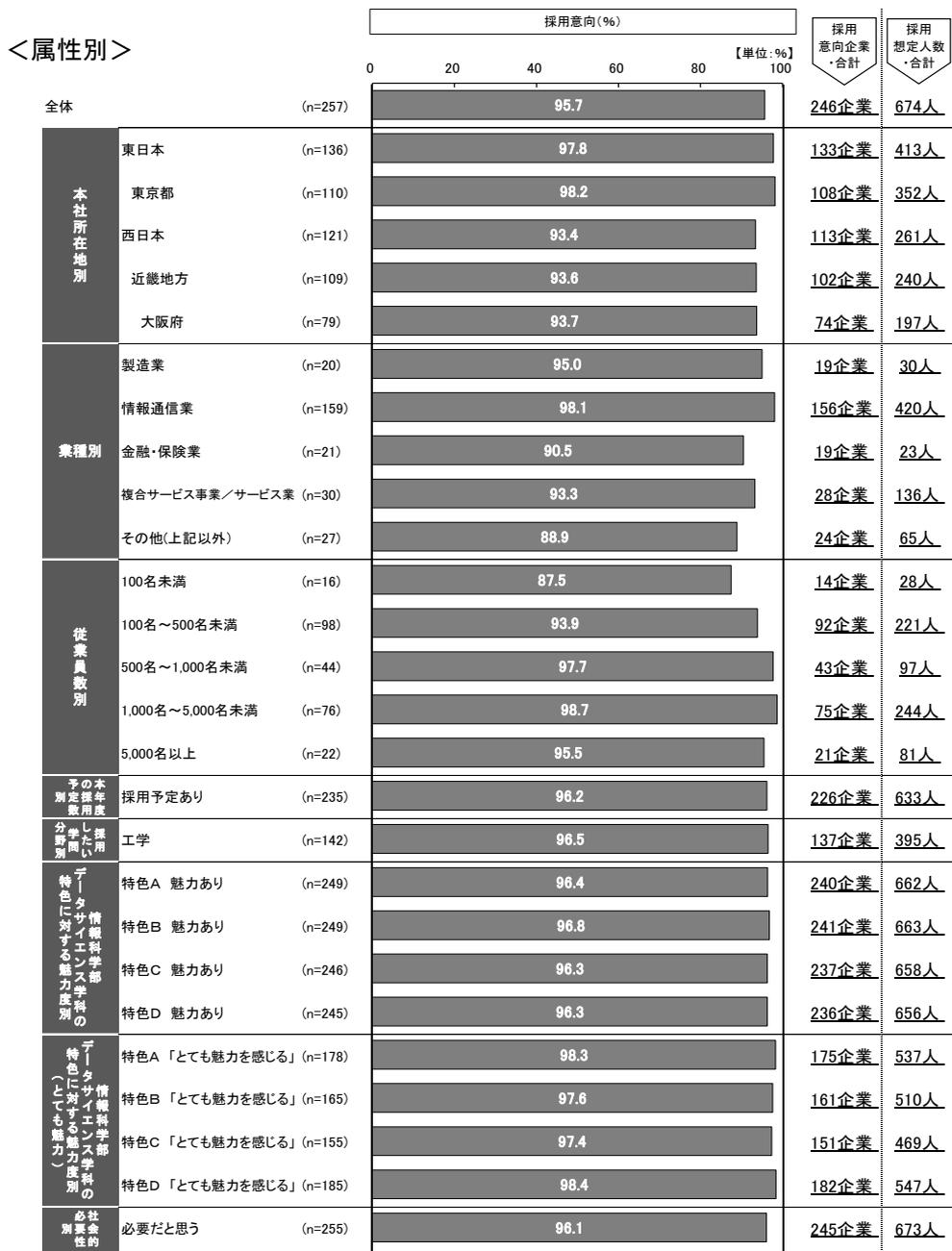
標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 5 9名	10名 以上	計 (※びたの採 用企業 想定人 数・計 人数を )	
		全体	246	% 27.6%	25.2%	24.0%	2.0%		11.8%
		企業数	68	62	59	5	29	14	
		名	68	124	177	20	145	140	

※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

# 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数<属性別>

## ■大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」卒業生に対する採用意向／採用想定人数 <属性別>

※大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で具体的な人数を回答した企業の採用想定人数の合計を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

## 卷末資料 調查票



# 調査票

## 大阪工業大学「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称)に関するアンケート

大阪工業大学では2021年(令和3年)4月に、「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称)を新設することを構想しています。  
このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。  
このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料に記載されている「情報科学部 データサイエンス学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集・提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |                  |             |              |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業      | 6. 運輸業      | 11. 医療・福祉    |
| 2. 建設業           | 7. 卸売・小売業   | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業           | 8. 金融・保険業   | 13. サービス業    |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業     | 14. 公務       |
| 5. 情報通信業         | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他      |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- |               |                  |                    |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満      | 3. 100名～500名未満   | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上        |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名       | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満  | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上     |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 |               |

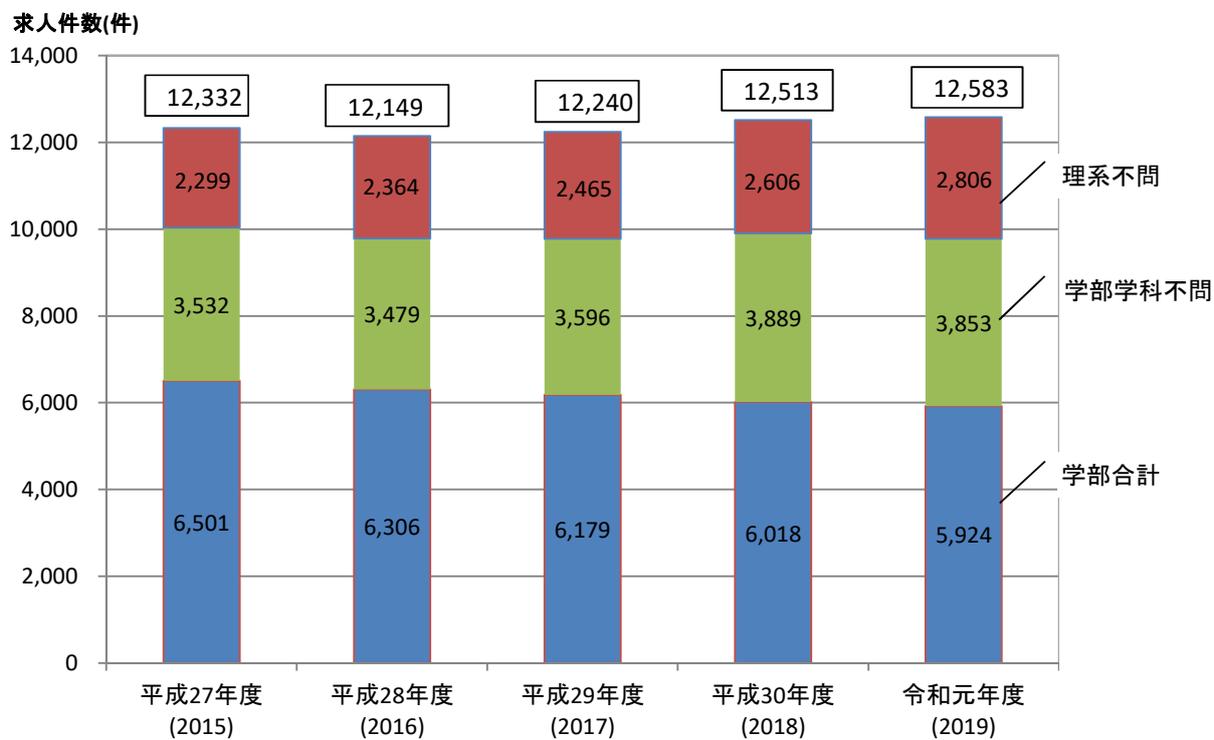
Q6. 貴社・貴団体の本年年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- |          |        |
|----------|--------|
| 1. 増やす   | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定  |

裏面へ続←→



## 情報科学部既設学科の求人状況



学部学科/年度		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)
情報科学部	情報知能学科	1,623	1,576	1,540	1,504	1,477
	情報システム学科	1,634	1,586	1,555	1,515	1,492
	情報メディア学科	1,620	1,569	1,540	1,499	1,474
	ネットワークデザイン学科	1,624	1,575	1,544	1,500	1,481
情報科学部合計		6,501	6,306	6,179	6,018	5,924
理系不問		2,299	2,364	2,465	2,606	2,806
学部学科不問		3,532	3,479	3,596	3,889	3,853
総計		12,332	12,149	12,240	12,513	12,583

1. 書類等の題名

本文 10 ページ

【資料16】「全国 240 大学実就職率ランキング」卒業生数 1,000 人以上（『サンデー毎日』2019 年 8 月 4 日号）

2. 出典

雑誌名：サンデー毎日

出版元：毎日新聞出版

号数等：2019 年 8 月 4 日号

3. 引用範囲

P68 全国 240 大学 実就職率ランキング

4. その他の説明

- ・卒業生 1000 人以上の実就職率ランキングの表において、本学の順位部分（3 位）に矢印を付けた。

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	マシヤマ アツキ 益山 新樹 <令和元年11月>		工学博士		大阪工業大学 学長 (令和元.11~令和3.10)